

群馬県立近代美術館年報 令和5年度

THE MUSEUM OF MODERN ART, GUNMA Annual Report

群馬県立近代美術館年報 令和5年度 [2023.4-2024.3]

群馬県
立近代
美術館

群馬県立近代美術館年報

令和 5 年度

目 次

展覧会	令和5年度 展覧会一覧 ……………	3
	展覧会の記録 ……………	4
	1 杉浦非水 時代をひらくデザイン ……………	4
	2 ディーン・ポーエン展 オーストラリアの大地と空と そこに生きる私たち ……………	16
	3 創作において自由なる競創 - 19、20世紀の芸術家とポスター ……………	22
	4 第74回群馬県美術展 ……………	28
	5 第74回群馬県書道展 ……………	29
	特別展示の記録 ……………	30
	1 鈴木ヒラク 今日の発掘 ……………	30
	2 長谷川潔 銅版画の世界 自然をみつめるまなざし ……	33
	コレクション展示の記録 ……………	38
	令和5年度 入館者数等一覧 ……………	52
教育普及	アート・イベントの記録 ……………	54
	1 講演会、対談等 ……………	54
	2 解説会 ……………	54
	3 ワークショップ等 ……………	55
	4 その他のイベント ……………	55
	学校教育・社会教育との連携の記録 ……………	56
	1 学校教育との連携事業 ……………	56
	2 大学との連携事業 ……………	57
	3 研修等の受入れ ……………	57
	4 教材の貸出し ……………	57
	5 団体観覧者への解説 ……………	57
	6 社会教育との連携事業 ……………	58
	刊行物の記録 ……………	59
	ボランティアの記録 ……………	61
	1 令和5年度活動者データ ……………	61
	2 令和5年度ボランティア連絡会組織図 ……………	61
	3 会議等の記録 ……………	61
	4 活動の種類および記録 ……………	61
	友の会の記録 ……………	64
	1 会議の記録 ……………	64
	2 美術館協力支援事業 ……………	64
	3 会員対象事業 ……………	64
	4 会員数 ……………	65
所蔵資料	美術作品 ……………	66
	1 作品収蔵状況 ……………	66
	2 令和5年度 収蔵作品 ……………	66
	3 寄託作品収蔵状況 ……………	73
	4 令和5年度 寄託作品 ……………	73
	5 令和5年度 作品貸出状況 ……………	75
	6 保存・修復 ……………	76
	図書資料その他 ……………	76
職員名簿	……………	77

展覧会

令和5年度 展覧会一覧

展覧会

No.	展覧会名	会 期	展示内容
1	杉浦非水 時代をひらくデザイン	令和5年 4月22日～6月18日	愛媛県美術館のコレクションを中心に、ポスターや図案、装丁の仕事、スケッチ、『非水百花譜』などの作品とインスピレーションの源となった資料、全300点以上から杉浦非水(1876-1965)の功績を紹介。
2	ディーン・ポーエン展 オーストラリアの大地と空とそこに 生きる私たち	7月8日～8月27日	メルボルンで活躍するディーン・ポーエン(1957-)による、オーストラリアの風土と自然を、その自由な想像力とユーモアで素朴ながら力強く表現した作品150点を展示。
3	創作において自由なる競創 -19、20世紀の芸術家とポスター	9月16日～11月12日	主に20世紀の西洋の画家たち、ピカソ、マティス、シャガール、ミロなど約100名による色鮮やかで心躍るポスター作品約160点を展示。
4	第74回群馬県美術展	11月24日～12月3日	日本画、洋画、彫刻、工芸部門による全837点を展示。
5	第74回群馬県書道展	12月9日～12月19日	漢字、かな、墨象、大字・詩文書、篆刻部門による全1,666点を2期に分けて展示。

特別展示

No.	展覧会名	会 期	展示内容
1	鈴木ヒラク 今日の発掘	令和5年 9月16日～12月19日	ドローイングの概念を拡張するアーティスト、鈴木ヒラク(1978-)による、〈隕石が書く〉シリーズの新作40点と現地制作の壁画、近年の代表作をインスタレーションとして組み合わせ、近年の活動を集約させた大規模な個展。
2	長谷川潔 銅版画の世界 自然をみつめるまなざし	令和6年 3月2日～4月7日	新たに当館に寄託された、鉛筆デッサンや制作段階の試し刷り、渡仏前の木版画など貴重な作品を含む個人コレクションと、館蔵品から、長谷川潔(1891-1980)の詩情豊かなモノクロームの世界を紹介。

休館について

・特定天井改修・受変電設備更新工事等のため、令和5年12月20日から令和6年3月1日まで休館した。

展覧会の記録

1 杉浦非水 時代をひらくデザイン

会 期 令和5年4月22日(土)～6月18日(日)
会 場 展示室1
主 催 群馬県立近代美術館／毎日新聞社
協 賛 ニューカラー写真印刷株式会社
特別協力 株式会社三越伊勢丹ホールディングス／東京国立近代美術館
企画協力 愛媛県美術館
観 覧 料 一般900(720)円／大高生450(360)円
()内は20名以上の団体料金

杉浦非水(1876-1965)は明治から昭和にかけて活躍した日本のグラフィックデザインの第一人者である。愛媛県松山市に生まれた非水は、東京美術学校日本画選科在学中に洋画家の黒田清輝と知り合い、黒田がフランスから持ち帰った書籍や資料を目にしたことから図案家の道へ進んだ。書籍や雑誌の装丁をはじめ、当時、流行の発信地であった三越呉服店の図案部で宣伝ポスターやPR誌のデザインを手がけ、そのブランドイメージ創出に貢献した。さらに、図案集の出版やデザイン雑誌の刊行などを通して、日本におけるデザイン意識の普及や教育に大きな役割を果たした。

日本人の美的感覚に、アール・ヌーヴォーやウィーン分離派といった西洋の造形要素を取り入れた非水のデザインは、レトロな魅力とともに時を経ても古びない新鮮さをあわせ持ち、現代の私たちの目をとらえる。

本展は、ポスターや図案、装丁を中心としたデザインの仕事、スケッチや『非水百花譜』などの作品、そしてデザインの源となった資料までも含めた約300点により、非水の生涯にわたる功績を紹介した。



ポスター



図録

出 品 目 録

前期：4月22日(土)～5月21日(日)
後期：5月23日(火)～6月18日(日)
展示期間の記載のない作品は通期展示。
杉浦非水の作品は、作家名を省略して空欄とした。

No.	作家名	作品名	発行者等	制作年(発行年)	形状・技法・材質	所蔵	展示期間
第1章 図案との出会い							
(1)日本画を学ぶ							
1-1		日本画科写生教室 五月三日		1897-1901 (明治30-34)	墨、水彩・紙	愛媛県美術館	
1-2a		象 三月九日上野動物園			墨・紙	愛媛県美術館	
1-2b		模本(人物)		1890年代	墨、水彩・紙	愛媛県美術館	
1-2c		模本(正倉院宝物)		1890年代	墨、水彩・紙	愛媛県美術館	
1-2d		松村呉春先生野菜之巻		1897-1901 (明治30-34)	墨、水彩・紙	愛媛県美術館	
1-3		臨模帖「縮図 芳章」		1898(明治31)	墨、水彩・紙	愛媛県美術館	
1-4		画帖(寝ている男性)		1899(明治32)	墨、水彩・紙	愛媛県美術館	
1-5		孔雀		1901(明治34)	絹本着色	東京藝術大学	前
(2)図案へのめざめ							
1-6	アルフォンス・ミュシャ	ジョブ		1898年	カラーリグラフ・紙	三重県立美術館	後
1-7	黒田清輝	杉浦非水像		1915(大正4)	鉛筆・紙	東京国立 近代美術館	前
1-9	杉浦非水編	『黒田清輝先生 遺作展覧会目録』		1924(大正13)	印刷・紙	三重県立美術館	
1-10	中澤弘光監督	白馬会絵画研究所 仏語ノ部出席簿			墨・紙	三重県立美術館	
1-12	岡田三郎助	スフィンクス (『中央新聞』8000号記念挿絵原画)		1907(明治40)	鉛筆、水彩・紙	愛媛県美術館	
1-13	中澤弘光	非水像		1901(明治34)	油彩・カンヴァス	東京国立 近代美術館	
1-14	杉浦朝武 中澤弘光	みだれ髪歌がるた		1901(明治34)	墨、水彩・紙、 千代紙	三重県立美術館	前
1-15		『明星』辰歳第一号		1904(明治37)	雑誌	三重県立美術館	
1-16		中澤弘光宛葉書 明治36年11月3日付		1903(明治36)	葉書	個人蔵	
1-17		画帖〔大阪時代〕		1902-04(明治35-37)	墨、鉛筆、水 彩・紙	愛媛県美術館	
1-18		『三十六年』第五号	六々社	1902(明治35)9月	印刷・紙 (表紙校正刷?)	東京国立 近代美術館	後
1-19		大阪商船株式会社絵葉書		1902(明治35)頃	葉書	三重県立美術館	
1-20		画帖〔島根時代〕		1904-05(明治37-38)	鉛筆、色鉛筆、 水彩・紙	愛媛県美術館	
1-21		露兵の漂着の実況(二)『軍国画報』 第二年第八号	富山房	1905(明治38)7月	印刷・紙	島根県立石見 美術館	
1-22	森脇 忠	裸婦			油彩・板	愛媛県美術館	
1-23		『中央新聞週報 ホーム』第二十一号	中央新聞社	1907(明治40)3月	新聞付録冊子 (表紙)	宇都宮美術館	
1-24		『中央新聞週報 ホーム』第二十五号	中央新聞社	1907(明治40)4月	新聞付録冊子 (表紙)	宇都宮美術館	
1-25		画帖〔富士山他〕		1907(明治40)	鉛筆、色鉛筆、 水彩・紙	愛媛県美術館	
1-26		『富士山スケッチ』	金尾文淵堂	1907(明治40)	書籍(装丁)	愛媛県美術館	
第2章 図案の開拓者							
(1)ブックデザイナー・非水							
2-1		饗庭篁村著『文学叢書 巢林子撰註』	東京専門学校 出版部	1902(明治35)	書籍(装丁)	愛媛県美術館	
2-2		あやめ会著『あやめ草』	如山堂書店	1906(明治39)	書籍(装丁)	愛媛県美術館	
2-3		与謝野晶子著『夢の華』	金尾文淵堂	1906(明治39)	書籍(装丁)	愛媛県美術館	

No.	作家名	作品名	発行者等	制作年(発行年)	形状・技法・材質	所蔵	展示期間
2-4		巖谷小波著『小波お伽百話』	博文館	1924(大正13)(13版) 初版:1911(明治44)	書籍(装丁)	個人蔵	
2-5		河岡潮風著『五五の春』	博文館	1912(明治45)(7版) 初版:同年	書籍(装丁)	個人蔵	
2-6		川崎克編『木堂政論集』	文会堂書店	1913(大正2)(2版) 初版:同年	書籍(装丁)	個人蔵	
2-7		巖谷小波編『日本一ノ画噺』(復刻)	ほるぷ出版 (原品:中西屋 書店)	1978(昭和53) 原品:1911-15 (明治44-大正4)	書籍(装丁)	愛媛県美術館	
2-8		『タングラム』	平安堂書店	1913(大正2)	書籍(装丁)	愛媛県美術館	
2-9		渋沢栄一著『縮刷 青淵百話』	同文社	1913(大正2)(6版) 初版:同年	書籍(装丁)	個人蔵	
2-10		徳富蘆花著(アーサー・ロイド、フォン・フ ァーロット、小野秀太郎英訳) 『NATURE AND MAN 英訳 自然と人生』	弘学館書店	1913(大正2)(3版) 初版:同年	書籍(装丁)	個人蔵	
2-11		シュニツレル著(森鷗外訳) 『近代脚本叢書第一編 恋愛三昧』	現代社	1913(大正2)	書籍(装丁)	個人蔵	
2-12		ホフマンスタール著(松居松葉訳) 『エレクトラ』	鈴木書店	1913(大正2)(2版) 初版:同年	書籍(装丁)	個人蔵	
2-13		柳川春葉著『生さぬなか』中・下	金尾文淵堂	中巻 1913(大正2)(2版) 初版:同年 下巻 1913(大正2)	書籍(装丁)	愛媛県美術館	
2-14		菊池幽芳著『百合子』上・中・下	金尾文淵堂	1913(大正2)	書籍(装丁)	愛媛県美術館	
2-15		菊池幽芳、鏑木清方著 『百合子画集』上	金尾文淵堂	1914(大正3)	書籍(装丁)	愛媛県美術館	
2-16		湯浅観明著 『通人物語 趣味の東京』	鈴木書店	1913(大正2)	書籍(装丁)	個人蔵	
2-17		菊池幽芳著『うき世』一・二	至誠堂	一卷 1915(大正4)(3版) 初版:同年 二巻 1916(大正5)	書籍(装丁)	個人蔵	
2-18		渡邊霞亭著『小説 渦巻』上・中	隆文堂	上巻 1914(大正3)(31版) 初版:1913(大正2) 中巻 1914(大正3)(18版) 初版:1913(大正2)	書籍(装丁)	個人蔵	
2-19		黒田朋信著 『趣味叢書 第二編 趣味雑話』	趣味叢書発行所	1914(大正3)	書籍(装丁)	個人蔵	
2-20		ペスタロッツ著(野田豊実訳) 『教育小説 愛と操』上	隆文堂	1914(大正3)	書籍(装丁)	個人蔵	
2-21		モーパッサン著(小野秀雄訳) 『ベラミー』	以文館	1914(大正3)	書籍(装丁)	個人蔵	
2-22		北原鉄雄著『次の一戦』	金尾文淵堂	1914(大正3)	書籍(装丁)	個人蔵	
2-23		高峰博著『夢学』	有文堂書店	1917(大正6)	書籍(装丁)	愛媛県美術館	
2-24		尾崎徳太郎原著 (アーサー・ロイド英訳) 『合本 英訳金色夜叉』	誠文館	1918(大正7)(4版) 初版:1917(大正6)	書籍(装丁)	個人蔵	
2-25		桜井忠温著『十字路』	新橋堂	1915(大正4)	書籍(装丁)	愛媛県美術館	
2-26		村松梢風著『梢風物語』	天佑社	1919(大正8)	書籍(装丁)	個人蔵	
2-27		池田林儀著『改造の独逸より』	東京堂書店	1922(大正11)	書籍(装丁)	個人蔵	
2-28		佐佐木信綱著『常盤木』	東京堂書店	1922(大正11)	書籍(装丁)	個人蔵	
2-29		黒田鵬心著『人生と趣味』	誠文堂書店	1920(大正9)	書籍(装丁)	個人蔵	
2-30		吉丸一昌作『新作唱歌』第六集	敬文館	1918(大正7)(5版) 初版:1913(大正2)	楽譜(表紙)	個人蔵	
2-31		『中学世界』第十五巻第七号	博文館	1912(明治45)6月	雑誌(表紙)	東京国立近代 美術館	前
2-32		『中学世界』第十七巻第三号	博文館	1914(大正3)3月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館	
2-33		『お伽世界』第一巻第一号(原画)			着色・紙	愛媛県美術館	

No.	作家名	作品名	発行者等	制作年(発行年)	形状・技法・材質	所蔵	展示期間
2-34		『日曜画報』第一巻第一号	博文館	1910(明治43)12月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館	
2-35		『日曜画報』第一巻第三十九号	博文館	1911(明治44)9月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館	
2-36		『少年世界』第十八巻第十号	博文館	1912(明治45)7月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館	
2-37		『少年世界 競争双六』	博文館	1919(大正8)	オフセット・紙	島根県立石見美術館	
2-38		『リーガルタイムス』第一巻第二号		1909(明治42)3月	雑誌(表紙)	東京国立近代美術館	前
2-39		『劇と詩』第七号	劇と詩社	1910(明治43)10月	雑誌(表紙)	東京国立近代美術館	後
2-40		『実業倶楽部』第一巻第八号	博文館	1911(明治44)7月	雑誌(表紙)	東京国立近代美術館	後
2-41		『台湾愛国婦人』第四十五巻	愛国婦人台湾支部	1912(明治45)8月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館	
2-42		『文章世界』三月号	博文館	1913(大正2)3月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館	
2-43		『演芸画報』第七年第一号	東京演劇画報社	1913(大正2)1月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館	
2-44		『女子文壇』第十巻第六号	夫人文藝社	1914(大正3)6月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館	
2-45		『ダイヤモンド』第三巻第八号	ダイヤモンド社	1915(大正4)8月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館	
2-46		『家庭と玩具』第二巻第一号	家庭倶楽部	1916(大正5)1月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館	
2-47		『家庭』二月号	家庭社	1917(大正6)2月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館	
2-48		『月刊楽譜』第七巻第一号	山野楽器店	1918(大正7)1月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館	
2-49		『新女界』第十巻第七号	新人社	1918(大正7)7月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館	
2-50		『婦人倶楽部』第二巻第九号	大日本雄弁会	1921(大正10)9月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館	
2-51		『現代』第二巻第四号	大日本雄弁会	1921(大正10)4月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館	
2-52		『現代』第二巻第六号	大日本雄弁会	1921(大正10)6月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館	
(2)三越での活動I							
2-53		三越呉服店 春の新柄陳列会	三越呉服店	1914(大正3)	リトグラフ・紙	愛媛県美術館	
2-54	岡田三郎助	三越呉服店(むらさきしらべ)	三越呉服店	1909(明治42)	リトグラフ・紙	アドミュージアム東京	
2-56		三越呉服店 新館落成	三越呉服店	1914(大正3)	リトグラフ・紙	愛媛県美術館	
2-57		三越呉服店(エンゼル)	三越呉服店	1915(大正4)	リトグラフ・紙	愛媛県美術館	
2-58		『三越』	三越呉服店、三越	明治-大正時代	雑誌(表紙)		
		第一巻第六号				株式会社三越伊勢丹	前
		第二巻第二号				愛媛県美術館	後
		第二巻第四号				株式会社三越伊勢丹	前
		第三巻第八号				株式会社三越伊勢丹	前
		第五巻第二号				株式会社三越伊勢丹	後
		第七巻第二号				愛媛県美術館	後
		第八巻第六号				株式会社三越伊勢丹	前
		第九巻第六号				株式会社三越伊勢丹	後
		第十二巻七号				株式会社三越伊勢丹	後
2-64		『みつこしタイムス』	三越呉服店	明治-大正時代	雑誌(表紙)		
		第七巻第七号				愛媛県美術館	前
		第八巻第五号				愛媛県美術館	後
		第八巻第九号				株式会社三越伊勢丹	前
		第八巻第十二号				株式会社三越伊勢丹	後
		第九巻第四号				愛媛県美術館	前
		第九巻第八号				愛媛県美術館	後

No.	作家名	作品名	発行者等	制作年(発行年)	形状・技法・材質	所蔵	展示期間
		第九卷第十一号				株式会社三越伊勢丹	前
		第十卷第十号				株式会社三越伊勢丹	後
		第十一卷第六号				株式会社三越伊勢丹	前
		第十二卷第四号				株式会社三越伊勢丹	後
2-65		新案家庭衣裳あはせ (['みつこしタイムス'] 附録)	三越呉服店	1910(明治43)	雑誌(付録)	株式会社三越伊勢丹	前
2-66		『ごちうもの栞』(['みつこしタイムス'] 臨時増刊 第十卷第五号)	三越呉服店	1912(明治45)4月	パンフレット	個人蔵	
2-67		『三越のショール』	三越呉服店	1910年代(大正初期)	パンフレット	愛媛県美術館	
2-68		巖谷季雄編 『子宝』	三越呉服店	1912(明治45)(2版) 初版:1909(明治42)	書籍(装丁)	愛媛県美術館	
2-69		第二回児童博覧会	三越呉服店	1910(明治43)	リトグラフ・紙	愛媛県美術館	
(3)多様な活動							
2-70		光風会洋画図按展覧会	光風会	1912(明治45)	木版・紙	愛媛県美術館	
2-71		光風会第二回絵画展覧会	光風会	1913(大正2)	木版・紙	愛媛県美術館	
2-73		南満州鉄道株式会社	南満州鉄道	1917(大正6)頃	リトグラフ、 オフセット・紙	愛媛県美術館	
2-74		星製菓	星製菓株式会社	1914(大正3)	リトグラフ、 オフセット・紙	アドミュージア ム東京	
2-75		勸業債券売出 九月一日より十日まで	日本勸業銀行	1915(大正4)頃	リトグラフ、 オフセット・紙	愛媛県美術館	
2-76		勸業債券売だし 十一月廿日より十二月五日まで	日本勸業銀行	1920(大正9)	リトグラフ・紙	愛媛県美術館	
2-77		『ツーリスト』第十八号	ジャパン・ツー リスト・ビュー ロー	1916(大正5)	雑誌(表紙)	愛媛県美術館	
2-78		『THE TOURIST』Vol.XII No.3	ジャパン・ツー リスト・ビュー ロー	1924(大正13)5月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館	
2-79		Guide to Kongo-San	ジャパン・ツー リスト・ビュー ロー	1915(大正4)	パンフレット	東京国立近代 美術館	前
2-80		SHANTUNG RAILWAY	ジャパン・ツー リスト・ビュー ロー	1910-20年代	パンフレット	東京国立近代 美術館	後
2-81		MAP OF KEIJYŌ	ジャパン・ツー リスト・ビュー ロー	1913(大正2)	パンフレット	東京国立近代 美術館	後
トピック展示(1)【妻・翠子】							
2-83		翠子宛書簡 明治36年11月28日-12月3日付		1903(明治36)	墨、水彩・紙	愛媛県美術館	
2-84		〔非水と翠子〕			写真	愛媛県美術館	
2-85		スケッチ			水彩、鉛筆・紙	愛媛県美術館	
2-86		杉浦翠子著『寒紅集』	平安堂書店	1917(大正6)	書籍(装丁)	三重県立美術館	
2-87		杉浦翠子著『愛しき歌人の群』	福永書店	1927(昭和2)	書籍(装丁)	愛媛県美術館	
2-88		杉浦翠子著『朝の呼吸』	福永書店	1928(昭和3)	書籍(装丁)	個人蔵	
2-89		杉浦翠子著『浅間の表情』	藤浪会	1937(昭和12)	書籍(装丁)	個人蔵	
2-90		杉浦朝武編『行雲流水 追悼歌文集』	藤浪短歌会	1961(昭和36)	書籍(装丁)	個人蔵	
2-91		婦人帯(翠子所用)		大正-昭和初期	絹	株式会社三越伊勢丹	
2-93	杉浦非水、翠子	合作色紙		昭和時代	紙本着色	愛媛県美術館	
2-94		非水図案年賀状		明治-昭和時代	葉書	愛媛県美術館	

No.	作家名	作品名	発行者等	制作年(発行年)	形状・技法・材質	所蔵	展示期間
第3章 自然に学ぶ—写生と図案							
(1)写生のやしない							
3-2		植物写生帖 夏之部			墨、水彩、鉛筆・紙	東京国立近代美術館	前
3-4		蟲類写生帖			墨、水彩、鉛筆・紙	東京国立近代美術館	後
3-5		スケッチ			水彩、鉛筆・紙	愛媛県美術館	
3-6		貯蓄は根の如く 平和は花の如し	逓信省	1917(大正6)頃	リトグラフ、オフセット・紙	愛媛県美術館	
3-7		貯蓄は根の如く 平和は花の如し(原画)		1917(大正6)頃	着色・紙	愛媛県美術館	
3-8		爽快 美味滋強飲料 カルビス	ラクトー株式会社	1919-23(大正8-12)	リトグラフ・紙	愛媛県美術館	
3-9		星名刺	櫻井大二郎商店	1929(昭和4)頃	リトグラフ・紙	愛媛県美術館	
3-10		柳川春葉著『かたおもひ』一・二・三巻	金尾文淵堂	1914(大正3)	書籍(装丁)	愛媛県美術館	
3-11		田口掬丁著『ふたおもて』前	新潮社	1915(大正4)	書籍(装丁)	愛媛県美術館	
3-12		『三越』第一巻第十号	三越呉服店	1911(明治44)11月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館	
3-13		『雄弁』第十五巻第五号	大日本雄弁会	1924(大正13)5月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館	
3-14		金井紫雲著『花と芸術』	芸艸堂	1934(昭和9)(2版) 初版:1929(昭和4)	書籍(装丁)	個人蔵	
3-15		桜井忠温著『大将白川』	松獄会	1933(昭和8)	書籍(装丁)	個人蔵	
3-16		グノー作曲『夜のしらべ』	セノオ音楽出版	1916(大正5)(2版) 初版:1915(大正4)	楽譜(表紙)	個人蔵	
3-17		『たかね』第十九号	少女読書会	1918(大正7)4月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館	
3-18		『たかね』第十九号(原画)		1918(大正7)	着色・紙	愛媛県美術館	
(2)図案集と『非水百花譜』							
3-19		非水図案絵葉書	上方屋平和堂 ほか	1915-16(大正4-5)頃	葉書	愛媛県美術館	
3-20		『非水図案集 第一輯』	金尾文淵堂	1915(大正4)	印刷・紙	宇都宮美術館	一部 展示替
3-21		『非水の図案』	星文館	1916(大正5)	印刷・紙	愛媛県美術館	
3-22		『非水一般応用図案集』	平安堂書店	1921(大正10)	印刷・紙	愛媛県美術館	
3-23		『非水百花譜』(大正版)	春陽堂	1920-22(大正9-11)	木版・紙	鳥根県立石見美術館	
3-24		『非水百花譜』(昭和版)	春陽堂	1929-34(昭和4-9)	木版・紙	愛媛県美術館	
3-25		スケッチ〔『非水百花譜』関連下絵〕		大正-昭和時代	鉛筆、水彩・紙	愛媛県美術館	
3-26		スケッチ〔植物〕		大正-昭和時代	鉛筆、水彩・紙	愛媛県美術館	
トピック展示(2)【写真と小型映画】							
3-27		『アマチュア』第一巻第一号	金星堂	1922(大正11)7月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館	
3-28		熱砂(『芸術写真選集』第一輯所収)	上方屋出版部	1923(大正12)	印刷・紙	愛媛県美術館	
3-29		絵本(『芸術写真選集』第一輯所収)	上方屋出版部	1923(大正12)	印刷・紙	愛媛県美術館	
3-30		二月堂(『芸術写真選集』第一輯所収)	上方屋出版部	1923(大正12)	印刷・紙	愛媛県美術館	
3-31		『家の光』第三巻第五号	産業組合中央会	1927(昭和2)5月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館	
3-32		『写真機が旅をする』 (『新家庭』夏季臨時増刊)	玄文社	1922(大正11)7月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館	
3-33		水景			写真	愛媛県美術館	
3-34		川			写真	愛媛県美術館	
3-35		奥多摩一景		1934(昭和9)	写真	愛媛県美術館	
3-36		土管の雪		1934(昭和9)	写真	愛媛県美術館	
3-37		大仏		1934(昭和9)	写真	愛媛県美術館	
3-38		ペットのまどろみ		1934(昭和9)	写真	愛媛県美術館	
3-39		くらげ			写真	愛媛県美術館	
3-40		樹氷			写真	愛媛県美術館	
3-41		旧蔵フィルム(画家の顔、白熊、ピクニック)		1920年代後半	9.5ミリ・16ミリ フィルム、白黒、 無声	国立映画アーカイブ	

No.	作家名	作品名	発行者等	制作年(発行年)	形状・技法・材質	所蔵	展示期間
3-42		日立電気冷蔵庫	日立製作所	1933(昭和8)	パンフレット	愛媛県美術館	
3-43		浅間山噴火		1959(昭和34)	写真	愛媛県美術館	
3-44		昭和九年十一月廿四日 新雪の浅間		1934(昭和9)	水彩、鉛筆・紙	愛媛県美術館	
3-45		昭和二十二年八月十四日十二時二十五分位噴火		1947(昭和22)	水彩、鉛筆・紙	愛媛県美術館	
3-46		杉浦翠子著『生命の波動』	藤浪会	1952(昭和27)	書籍(装丁)	愛媛県美術館	
3-47		『短歌至上主義』第三卷第二号	藤浪会	1935(昭和10)2月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館	
3-48		潮干狩り			写真	愛媛県美術館	
3-51		岐阜長良川鵜飼と納涼	岐阜市、名古屋鉄道局	1929(昭和4)	オフセット・紙	愛媛県美術館	
3-52		佐渡まで海上二時間	佐渡汽船	1934(昭和9)	リトグラフ、オフセット・紙	愛媛県美術館	
3-53		『家の光』第二卷第八号	産業組合中央会	1926(大正15)8月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館	
3-54		『現代』第八卷第十二号	大日本雄弁会講談社	1927(昭和2)12月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館	
3-55		『科学知識』第十三卷第六号	科学知識普及会	1933(昭和8)6月	印刷・紙	愛媛県美術館	
3-56		『科学知識』第十五卷第四号	科学知識普及会	1935(昭和10)4月	印刷・紙	愛媛県美術館	
3-57		湊邦三著『距離零』	輝文堂書房	1944(昭和19)	書籍(装丁)	個人蔵	

第4章 非水が目指したもの、のこしたもの

(1)ヨーロッパ遊学

4-1		爽快美味滋強飲料 カルピス	カルピス製造株式会社	1926(大正15)	リトグラフ・紙	愛媛県美術館	
4-2		「カルピス」徳用壘包紙(青、赤)	カルピス製造株式会社	1922(大正11) (商品発売年)	印刷・紙	愛媛県美術館	
4-3		「カルピス」壘ラベル	ラクター株式会社		印刷・紙	愛媛県美術館	
4-4		「カルピス」発売70周年記念復刻版化粧箱付壘		1989(平成元)(1919年発売当時のデザインがモデル)	パッケージ	アサヒ飲料株式会社	
4-5	藤田嗣治	自画像		1929(昭和4)	墨・絹	愛媛県美術館	
4-7		藤田嗣治肖像写真		撮影:1927(昭和2)	印刷、墨・紙	愛媛県美術館	
4-8		旅行鞆			木 ほか	愛媛県美術館	
4-9		ヨーロッパ日記		1922-24(大正11-13)	ノート	愛媛県美術館	
4-10		フランス語ノート		1922-24(大正11-13)	ノート	愛媛県美術館	
4-11		スケッチ		1922-24(大正11-13)	水彩、鉛筆・紙	愛媛県美術館	
4-12		アルバム(フランス留学時代)		1922-24(大正11-13)	アルバム	愛媛県美術館	
4-13		ヨーロッパ遊学中に撮影した写真		1922-24(大正11-13)	写真	愛媛県美術館	
トピック展示(3)【コレクター／アーキビストとしての非水】							
4-14		非水アルバム帖		明治-昭和時代	アルバム	愛媛県美術館	
4-15		アルバム			アルバム	愛媛県美術館	
4-16		蔵書票(人魚、飛天)(原画)			鉛筆、インク、ホワイトによる修正・紙	愛媛県美術館	入替
4-17		収集物(工芸品、郷土玩具他)				愛媛県美術館	
4-18		『外国文字集』			スクラップブック	愛媛県美術館	
4-19		『名物控帳』		1937-53 (昭和12-28)頃	スクラップブック	愛媛県美術館	
4-20		スクラップブック(招待券、入場券他)		明治-昭和時代	スクラップブック	愛媛県美術館	
4-21		スクラップ			封筒、冊子	東京国立近代美術館	入替
4-22		メニュー			印刷・紙	愛媛県美術館	
4-23		ホテルラベル			印刷・紙	愛媛県美術館	
4-24		非水宛年賀状		明治-昭和時代	葉書	愛媛県美術館	

No.	作家名	作品名	発行者等	制作年(発行年)	形状・技法・材質	所蔵	展示期間
(2)三越での活動II							
4-26		銀座三越 四月十日開店	三越	1930(昭和5)	オフセット・紙	愛媛県美術館	
4-27		新宿三越落成 十月十日開店	三越	1930(昭和5)	オフセット・紙	愛媛県美術館	
4-29		『三越』	三越呉服店、 三越	大正-昭和時代	雑誌(表紙)		
		第十五巻第五号				愛媛県美術館	前
		第十五巻第六号				愛媛県美術館	後
		第十六巻第一号				株式会社三越 伊勢丹	前
		第十六巻第七号				株式会社三越 伊勢丹	後
		第十七巻第七号				愛媛県美術館	前
		第十七巻第十一号				株式会社三越 伊勢丹	後
		第十八巻第四号				愛媛県美術館	前
		第二十二巻第五号				愛媛県美術館	後
		第二十二巻第七号				愛媛県美術館	前
		第二十二巻第十一号				愛媛県美術館	後
4-33		『大阪の三越』	三越大阪本店	大正-昭和時代	雑誌(表紙)		
		第二年第七号				株式会社三越 伊勢丹	前
		第二年第十一号				株式会社三越 伊勢丹	後
		第四年第一号				愛媛県美術館	前
		第五年第一号				島田安彦 コレクションアー カイブ	後
		第五年第五号				愛媛県美術館	前
		第六年第五号				愛媛県美術館	後
		第六年十一号				愛媛県美術館	後
4-34		LETTER TABLET(孔雀)	三越	1920年代	便箋(表紙)	愛媛県美術館	後
4-35		LETTER TABLET(女性)	三越	1920年代	便箋(表紙)	東京国立近代 美術館	前
4-36		団扇(青い花)	三越		印刷・紙	愛媛県美術館	
4-37		団扇(海景)	三越		印刷・紙	愛媛県美術館	
4-38		大阪こども研究会編『わが子の歴史』	三越大阪支店	1928(昭和3)	書籍(装丁)	個人蔵	
(3)図案を普及する							
4-41		七人社第二回創作ポスター展覧会	七人社	1927(昭和2)	リトグラフ・紙	愛媛県美術館	
4-42		七人社第三回創作ポスター展覧会	七人社	1928(昭和3)	リトグラフ・紙	愛媛県美術館	
4-43		SHICHININSHA		1933(昭和8)	水彩・紙	愛媛県美術館	
4-45		『アフイッシュ』第一年第一号	七人社	1927(昭和2)7月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館	
4-46		『アフイッシュ』第一年第二号	七人社	1927(昭和2)8月	雑誌(表紙)	東京国立近代 美術館	後
						アドミュージア ム東京	前
4-47		『アフイッシュ』第一年第三号	七人社	1927(昭和2)9月	雑誌(表紙)	東京国立近代 美術館	前
4-48		『アフイッシュ』第一年第四号	七人社	1927(昭和2)10月	雑誌(表紙)	東京国立近代 美術館	後
						アドミュージア ム東京	前
4-49		杉浦非水図案生活三十年記念 聯合展覧会	七人社	1936(昭和11)	オフセット・紙	愛媛県美術館	
4-50	野村 昇	七人社第十回創作図案展	七人社	1936(昭和11)	オフセット・紙	愛媛県美術館	
4-51	青井辰雄	多摩帝国美術学校 第I回図案科会 展覧会	七人社	1936(昭和11)	オフセット・紙	愛媛県美術館	

No.	作家名	作品名	発行者等	制作年(発行年)	形状・技法・材質	所蔵	展示期間
4-52		『デセグノ』1	多摩帝国美術 学校図案科会	1936(昭和11)	雑誌	愛媛県美術館	
4-53	濱田増治、 渡邊素舟、 田附與一郎、 仲田定之助、 宮下孝雄、 杉浦非水編	『現代商業美術全集 1 世界各国ポスター集』	アルス	1929(昭和14)	書籍	個人蔵	
4-54	濱田増治、 渡邊素舟、 田附與一郎、 仲田定之助、 宮下孝雄、 杉浦非水編	『現代商業美術全集 2 実用ポスター図案集』	アルス	1928(昭和3)	書籍	個人蔵	
4-55	杉浦非水 渡邊素舟共著	『図案の美学』	アトリエ社	1933(昭和8)	書籍	愛媛県美術館	
4-56	杉浦非水 渡邊素舟編	『実用図案資料大成 植物資料図案集』 上巻	アトリエ社	1933(昭和8)	書籍	愛媛県美術館	
4-57	杉浦非水 渡邊素舟編	『世界植物図案資料集成』	技報社	1959(昭和34)	書籍	愛媛県美術館	
4-58	杉浦非水 渡邊素舟編	『世界人物図案資料集成』	技報社	1957(昭和32)	書籍	愛媛県美術館	
4-59		巻一男女共通 幾何学的単独充填模様(原画)			鉛筆、着色・紙	愛媛県美術館	
4-60		巻三男子巻四女子 風景の図案的表現(原画)			鉛筆、着色・紙	愛媛県美術館	
(4)モダンデザインの華—ヨーロッパ遊学後の仕事							
4-62		ヤマサ醤油	ヤマサ醤油株 式会社、濱口 儀兵衛商店	1920年代	オフセット・紙	愛媛県美術館	
4-63		銅化塗料ノーワン	東亜ペイント製造	1920年代	リトグラフ、 オフセット・紙	島根県立石見 美術館	
4-64		古河コッパーペイント	東亜ペイント製造	1920年代	リトグラフ、 オフセット・紙	愛媛県美術館	
4-65		東洋唯一の地下鉄道上野浅草間開通	東京地下鉄道 株式会社	1927(昭和2)	リトグラフ、 オフセット・紙	愛媛県美術館	
4-66		東洋唯一の地下鉄道上野浅草間開通 (原画)		1927(昭和2)	着色・紙	地下鉄博物館	
4-67		科学の粋をあつめた地下鉄道上野浅 草間開通	東京地下鉄道 株式会社	1927(昭和2)	リトグラフ、 オフセット・紙	愛媛県美術館	
4-68		萬世橋まで延長開通 東京地下鉄道	東京地下鉄道 株式会社	1929(昭和14)頃	リトグラフ、 オフセット・紙	愛媛県美術館	
4-69		『上野浅草間建設工事概要』	東京地下鉄道 株式会社	1927(昭和2)	パンフレット	東京国立近代 美術館	前
						地下鉄博物館	後
4-69b		『上野浅草間開通記念』	東京地下鉄道 株式会社	1927(昭和2)	アルバム	地下鉄博物館	
4-70		『東京地下鉄道広告案内』	アングラ社	1928(昭和3)	パンフレット	愛媛県美術館	
4-71		アサヒグラフ臨時増刊 明治大正名作展号	朝日新聞社	1927(昭和2)	リトグラフ、 オフセット・紙	愛媛県美術館	
4-72		明治大正名作展覧会	東京府美術館、 東京朝日新聞社	1927(昭和2)	印刷・紙	東京国立近代 美術館	前
4-74		科学の力に魂の叫び	産業組合中央会	1927(昭和2)	リトグラフ、 オフセット・紙	愛媛県美術館	
4-75		第二次産業組合拡充三ヶ年計画	産業組合中央会	1937(昭和12)	リトグラフ、 オフセット・紙	島根県立石見 美術館	
4-76		国の文化は道路から	東京市道路祭	1928(昭和3)頃	リトグラフ、 オフセット・紙	愛媛県美術館	
4-77		画帖[ポスターラフスケッチ他]		1928(昭和3)頃	鉛筆・紙	愛媛県美術館	
4-78		日向の早熟蔬菜と果実	宮崎県	1928(昭和3)頃	オフセット・紙	島根県立石見 美術館	
4-79		『非水創作図案集』	文雅堂	1926(大正15)	印刷・紙	愛媛県美術館	
4-80		アグネス・アルウィン著 『美味しい洋食の拵しらへ方』	実業之日本社	1924(大正13)	書籍(装丁)	個人蔵	

No.	作家名	作品名	発行者等	制作年(発行年)	形状・技法・材質	所蔵	展示期間
4-81		フェレンク・モルナー著(鈴木善太郎訳) 『白鳥』	金星堂	1924(大正13)	書籍(装丁)	個人蔵	
4-82		佐藤紅緑著『第一步』	大日本雄弁会	1927(昭和2)(9版) 初版:1926(大正15)	書籍(装丁)	愛媛県美術館	
4-83		エクトル・マロー著(片岡鉄平訳) 『あゝ故郷』	文洋社	1927(昭和2)	書籍(装丁)	愛媛県美術館	
4-84		菊池寛編『小学生全集 2 太閤記物語』	興文社	1930(昭和5)	書籍(装丁)	個人蔵	
4-85		『現代日本文学全集 第十一編 正岡 子規集』(並装版)	改造社	1928(昭和3)	書籍(装丁)	個人蔵	
4-86		『現代日本文学全集 第一編 明治開 化期文学集』(布装版)	改造社	1931(昭和6)	書籍(装丁)	個人蔵	
4-87		『英文世界名著全集 第二十五卷 天 路歷程』	英文学社	1928(昭和3)	書籍(装丁)	個人蔵	
4-88		高田義一郎著『世相表裏の医学的研究』	実業之日本社	1929(昭和4)(2版) 初版:1928(昭和3)	書籍(装丁)	個人蔵	
4-89		『嫁入叢書 婦人衛生編』	実業之日本社	1929(昭和4)	書籍(装丁)	個人蔵	
4-90		越町幸二編『モダン用語辞典』	実業之日本社	1930(昭和5)(11版) 初版:同年	書籍(装丁)	個人蔵	
4-91		沖野岩三郎著『救し得ぬ悩み』	福永書店	1928(昭和3)	書籍(装丁)	愛媛県美術館	
4-92		伊藤重治郎著『新会社員学』	実業之日本社	1930(昭和5)	書籍(装丁)	個人蔵	
4-93		原田三夫、松山思水著『世界探検全集 第5巻 アフリカ探検 上』	萬里閣書房	1930(昭和5)	書籍(装丁)	個人蔵	
4-94		仁科春彦著『人を笑はせる小話集』	実業之日本社	1933(昭和8)	書籍(装丁)	個人蔵	
4-95		宮寺俊雄著 『財界の鬼才 福澤桃介の生涯』	四季社	1953(昭和28)	書籍(装丁)	個人蔵	
4-96		『新曲童謡 大風小風』	京文社	1925(大正14)	楽譜(表紙)	愛媛県美術館	
4-97		『現代』第六巻第六号	大日本雄弁会 講談社	1925(大正14)6月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館	
4-99		『科学』創刊号	成海堂	1924(大正13)11月	雑誌(表紙)	東京国立近代 美術館	前
4-100		『科学』第二巻第三号	成海堂	1925(大正14)3月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館	
4-101		『雄弁』第十五巻第十号	大日本雄弁会	1924(大正13)10月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館	
4-102		『東京』第一巻第二号	実業之日本社	1924(大正13)10月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館	
4-103		『東京』第二巻第一号	実業之日本社	1925(大正14)1月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館	
4-104		『実業界』第三十四巻第四号	実業界社	1927(昭和2)4月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館	
4-105		『処女の友』第十巻第五号	財団法人社会 教育協会	1927(昭和2)5月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館	
4-106		『街』第一巻第二月号(原画)		1927(昭和2)	着色・紙	愛媛県美術館	
4-107		『むれ星』第八巻第七号	むれ星会	1935(昭和10)7月	雑誌(表紙)	東京国立近代 美術館	前
4-108		『むれ星』第十三巻第八号	むれ星会	1940(昭和15)8月	雑誌(表紙)	東京国立近代 美術館	後
4-109		『図画と手工』第一五三号	錦菴会	1932(昭和7)1月	雑誌(表紙)	東京国立近代 美術館	後
4-110		『科学知識』第十一巻第七号	科学知識普及会	1931(昭和6)7月	雑誌(表紙)	東京国立近代 美術館	前
4-111		『科学知識』第十二巻第十二号	科学知識普及会	1932(昭和7)12月	雑誌(表紙)	東京国立近代 美術館	後
4-112		新製口付 紙巻煙草みのり	専売局	1930(昭和5)	リトグラフ、 オフセット・紙	たばこと塩の 博物館	
4-113		響	専売局	1932(昭和7) (商品発売年)	印刷・紙	たばこと塩の 博物館	
4-114		PALOMA	専売局	1933(昭和8) (商品発売年)	印刷・紙	たばこと塩の 博物館	
4-115		Momoyama	専売局	1934(昭和9) (商品発売年)	印刷・紙、金属	たばこと塩の 博物館	
4-116		光	専売局	1936(昭和11) (商品発売年)	印刷・紙	たばこと塩の 博物館	

No.	作家名	作品名	発行者等	制作年(発行年)	形状・技法・材質	所蔵	展示期間
4-117		扶桑	専売局	1938(昭和13) (商品発売年)	印刷・紙	たばこと塩の博物館	
4-118		NIKKO	専売局	1949(昭和24) (商品発売年)	印刷・紙	たばこと塩の博物館	
4-119		エスケーコナ石鹸	倉橋三平商会		印刷・紙	愛媛県美術館	
4-120		「琥珀ワニス」ラベル	日本琥珀工業所		印刷・紙	愛媛県美術館	
4-121		FORMOSA TAIWAN	ジャパン・ツーリスト・ビューロー	1928(昭和13)	パンフレット	東京国立近代美術館	後
4-122		THE TRAVEL BULLETIN	N.Y.K. LINE	1935(昭和10)	パンフレット	東京国立近代美術館	前
4-123		台湾	台湾総督府交通局鉄道部	1920-30年代	パンフレット	東京国立近代美術館	後
4-124		電話番号簿		1920-30年代	印刷・紙	東京国立近代美術館	
4-127		黎明無風 浅間連作の内		1959(昭和34)	水彩・紙	愛媛県美術館	
4-128		雨		1965(昭和40)	絹本着色	愛媛県美術館	

■図録 A4判 295頁

内容：主催者あいさつ

杉浦非水が目指したもの、残したもの
—揺籃期の日本の広告・グラフィックデザインと社会
(同志社大学社会学部教授 竹内幸絵)

第1章 図案との出会い

杉浦非水の島根時代 (島根県立石見美術館 川西由里)

第2章 図案の開拓者

杉浦非水と同時代の作家たちとの繋がり(愛媛県美術館 青木朋子)

第3章 自然に学ぶ—写生と図案

第4章 非水が目指したもの、のこしたのもの

郷土玩具と非水(愛媛県美術館 五味俊晶)
「純正絵画」と「商業美術」の壁—非水と日本画(五味俊晶)

中澤弘光旧所蔵資料にみる杉浦非水(三重県立美術館 高曾由子)

杉浦非水と岡田三郎助—アーティストコロニーとしての
「渋谷の絵かき村」に着目して

(福岡県立美術館 高山百合)

杉浦非水と大蔵省専売局—非水が手がけたたばこパッケージを中心に

(たばこと塩の博物館 鎮目良文)

雅号「非水」とサインの変遷(愛媛県美術館 長井健)

略年譜

主要参考文献

作品リスト

編集：愛媛県美術館、毎日新聞社

デザイン：辻恵里子(ニューカラー写真印刷)

発行：毎日新聞社

■ポスター B2

■ちらし A4

■パネル 挨拶パネル(120×90cm)1枚、章解説パネル(180×60cm)4枚、テーマ(節)解説パネル(60×45cm)11枚、トピック展示解説パネル(60×45cm)3枚、

年譜パネル大小各1枚、みだれ髪・子宝パネル(B2)2枚、作品解説(小)(5×12cm)12枚、写真バナー(240×300cm)1枚、写真パネル(B3)1枚、愛媛県美術館紹介パネル(B3)1枚、グッズ・図録紹介パネル大小各1枚、百花譜パネル(145×103cm)1枚、参考図版(B3)パネル6枚、フォトスポット

■主要関連記事

【新聞等】

上毛新聞 5.4.14 「デザインの草分け 杉浦非水の功績」
5.29 「杉浦非水の功績紹介」
毎日新聞 4.21 「杉浦非水の足跡 資料300点で紹介」

【連載記事】

毎日新聞 杉浦非水 時代をひらくデザイン
作品解説(定松晶子)
5.6 「上」《三越呉服店(エンゼル)》大正4年(1915)愛媛県美術館蔵
5.7 「中」与謝野晶子著『夢の華』明治39年(1906)愛媛県美術館蔵
5.8 「下」《爽快美味滋強飲料 カルビス》大正15年(1926)愛媛県美術館蔵

【定期刊行物等】

美術館ニュースNo.191 1.1 〈次回展覧会案内〉
美術館ニュースNo.192 4.1 〈展覧会紹介〉

■放送

ラジオ高崎 5.4.26 〈群馬県からのお知らせ〉

■関連事業

講演会 5.5.27 「図案家・杉浦非水と日本の消費文化」
講師：神野由紀(関東学院大学人間共生学部教授)

学芸員による作品解説会

5.5.10、6.3



2 ディーン・ボーエン展 オーストラリアの大地と空とそこに生きる私たち

会 期 令和5年7月8日(土)～8月27日(日)
 会 場 展示室1
 主 催 群馬県立近代美術館
 特別協力 ギャラリー宮脇
 企画協力 アートプランニングレイ
 後 援 オーストラリア大使館
 助 成 オーストラリア・カウンシル・フォー・ジ・アーツ
 協 力 日本航空
 観 覧 料 一般800(640)円／大高生400(320)円
 ()内は20名以上の団体料金

本展は、オーストラリアのメルボルンを活動の拠点とするディーン・ボーエン(1957-)の日本初の本格的な個展である。オーストラリアの風土と自然、そして宇宙やそこに生きる大きなものと小さなものたちを、さまざまな表現方法とその自由な想像力、ユーモアによって、素朴ながら力強く表現した作品、版画80点と、油彩や水彩、ブロンズ彫刻、アサンブラージュ、アーティストブックなど70点からなる150点を展示した。なお、表現されたモチーフごとに大きく4つの章立てと、10のテーマで構成している。

ボーエンの作品は、画題として人や生き物、自動車、飛行機といった親しみを覚えるモチーフをはっきりとした色彩で表現する作品が多く、幾何学的な形や極端に丸みをもたせたフォルムなど、ユーモアと想像力にあふれた作風などから、観覧者に非常に可愛い印象を与え、親しみを覚えやすい内容であったといえる。日本ではほとんど知られていない作家であるが、本展の観覧者数は1万人を超え、多くのお客様にご鑑賞いただくことができた。また、関連イベントについても総じて多くの方に参加いただいた。なお、アンケート結果から、来館者の属性として「県内から」(62.7%)、そして「10代以下」(24.5%)が比較的多かったことが分かったが、小中学生の夏期休暇中であったこともあって、地元の家族連れ、子供連れを中心とした層に強く広報効果があったことが実感できた。また、ポスターに掲載された作品に興味を惹かれ来館したというコメントもあり、作品そのものや企画の魅力とともに印刷物デザインによる効果を感じられた。展覧会の満足度としても98.0%もの方から好意的な評価を得ることができ、さらには来館回数では「初めて」が47.6%であったことから、当館として新たな客層を開拓できたものになったといえよう。



ポスター



図録

出 品 目 録

No.	作品名	製作年	製作：ギャラリー宮脇 アニメーター：佐々木あゆみ
1	アニメーション・プロジェクト 「Dean Bowen」	2005-2009	

第Ⅰ章 テイーン・ポーエンの作品世界へ旅立つ

アーティストブックを展開

No.	作品名	制作年	寸法 (縦×横×奥行)cm	技法・素材	所蔵先
2	『壮大な旅』	1993刊	21.5×16.0×5.8	50枚のリトグラフ (うち6点が見開き) より	ギャラリー宮脇蔵
3	『モーターワークス版画集』	1994刊	26.5×20.0×4.5	21枚のエッチング	ギャラリー宮脇蔵
4	『人物と動物』	1996刊	26.5×19.5×4.2	24枚のエッチング	ギャラリー宮脇蔵
5	『小さな肖像』	1999刊	26.5×19.5×4.2	10枚のエッチング	ギャラリー宮脇蔵

第Ⅱ章 人間像～町の風景～私たちの暮らし

顔

6	風景になった頭部 II	1995	67.0×88.0	モノタイプ、紙	作家蔵
7	風景になった頭部 IV	1995	67.0×88.0	モノタイプ、紙	作家蔵
8	トーテミック・ヘッド II	1996	88.0×67.0	モノタイプ、紙	作家蔵
9	子ども	1997	67.0×88.0	エッチング、アクアテイント、ドライポイント、紙	ギャラリー宮脇蔵
10	小さな耳の男	1997	66.2×88.0	エッチング、アクアテイント、ドライポイント、紙	ギャラリー宮脇蔵
11	ハッピー・マン	1998	67.0×88.0	エッチング、アクアテイント、ドライポイント、紙	ギャラリー宮脇蔵
12	ミスター・アイブロー - 日の出 (第2ステート)	1999	66.8×88.1	エッチング、アクアテイント、ドライポイント、紙	ギャラリー宮脇蔵
13	ムーン・ボーイ	2002	67.0×88.8	エッチング、アクアテイント、ドライポイント、紙	ギャラリー宮脇蔵
14	テクトニック・ヘッド	2002	67.0×89.0	エッチング、アクアテイント、ドライポイント、紙	ギャラリー宮脇蔵

都市と郊外と自動車

15	父と息子	1993	67.0×89.0	エッチング、アクアテイント、ドライポイント、紙	個人蔵
16	都会の喫煙者	1993	42.5×44.5	エッチング、アクアテイント、ドライポイント、紙	個人蔵
17	嫉妬と無邪気	1997	67.0×89.0	エッチング、アクアテイント、ドライポイント、紙	ギャラリー宮脇蔵
18	自動車のカオス	1993	70.0×54.5	リトグラフ、紙	個人蔵
19	オート・ポートレート (自動車像)	1994	67.4×88.6	エッチング、アクアテイント、ドライポイント、紙	ギャラリー宮脇蔵
20	バスの停留所	1994	42.8×44.7	エッチング、アクアテイント、ドライポイント、紙	個人蔵
21	駐車場	1994	89.0×201.0	エッチング、アクアテイント、ドライポイント、紙	ギャラリー宮脇蔵
22	ワイルド・ライド	2004	46.0×68.0	リトグラフ、紙	ギャラリー宮脇蔵
23	ブルースのユート	2004	15.8×22.8	油彩、板	ギャラリー宮脇蔵
24	ヤング・ドライバー	2004	15.8×22.8	油彩、板	ギャラリー宮脇蔵
25	車で待つ犬	1998	37.9×45.5	油彩、カンヴァス	ギャラリー宮脇蔵
26	アーバノロジー II (都会のありさま)	1995	67.0×89.0	エッチング、アクアテイント、ドライポイント、紙	ギャラリー宮脇蔵
27	サブアーバノロジー (郊外のありさま)	1995	44.5×89.0	エッチング、アクアテイント、ドライポイント、紙	ギャラリー宮脇蔵
28	アーバン・バード	1994	43.0×44.0	エッチング、アクアテイント、ドライポイント、紙	ギャラリー宮脇蔵
29	ハイウェイ・バード (小)	1995	43.8×44.0	エッチング、アクアテイント、ドライポイント、紙	ギャラリー宮脇蔵
30	ハイウェイ・バード (大)	1995	67.0×89.0	エッチング、アクアテイント、ドライポイント、紙	ギャラリー宮脇蔵
31	郊外に住む母と子	1997	67.0×89.0	エッチング、アクアテイント、ドライポイント、紙	ギャラリー宮脇蔵
32	町の眺め	2004	91.0×116.6	油彩、カンヴァス	作家蔵
33	住まい	2004	31.9×41.0	油彩、カンヴァス	作家蔵
34	静かな郊外	2004	91.0×116.6	油彩、カンヴァス	作家蔵
35	田舎ぐらし	1995	45.7×44.0	エッチング、アクアテイント、ドライポイント、紙	ギャラリー宮脇蔵
36	家路につく農夫	1995	67.0×89.0	エッチング、アクアテイント、ドライポイント、紙	ギャラリー宮脇蔵
37	家路	1995	67.0×89.0	エッチング、アクアテイント、ドライポイント、紙	ギャラリー宮脇蔵
38	星降る夜	2005	67.0×89.0	エッチング、アクアテイント、ドライポイント、紙	ギャラリー宮脇蔵

アサンブラージュとアール・ブリュットの作用

39	イド・モンスター	1992	45.0×49.0	エッチング、アクアテイント、ドライポイント、紙	個人蔵
40	オーストラリトピテクス人	1993	76.0×56.0	リトグラフ、紙	ギャラリー宮脇蔵

No.	作品名	制作年	寸法 (縦×横×奥行)cm	技法・素材	所蔵先
41	鍼灸男	1993	73.0×55.5	リトグラフ、紙	個人蔵
42	裸で走る男	1995	40.5×35.2	油彩、カンヴァス	個人蔵
43	知りたがり屋	1996	44.0×60.0	アクアテイント、紙	ギャラリー宮脇蔵
44	ミスター・マーヴェラス	1996	44.0×60.0	アクアテイント、紙	ギャラリー宮脇蔵
45	ミスター・ワンダフル	2007	76.0×114.0	アクアテイント、紙	ギャラリー宮脇蔵
46	雨の中の子ども	1997	44.0×59.3	エッチング、アクアテイント、ドライポイント、紙	ギャラリー宮脇蔵
47	走るハート	1998	18.0×28.0	木版、紙	ギャラリー宮脇蔵
48	曲馬師Ⅳ	1998	44.0×59.7	モノタイプ、紙	作家蔵
49	立っている曲馬師	1998	44.0×59.7	モノタイプ、紙	作家蔵
50	スタイリッシュ・レディ	2017	88.0×30.0×4.0	アサンブラージュ（木、鉄、ほか）	作家蔵
51	ブルー・ミヤオ	2018	97.0×119.0×4.0	アサンブラージュ（着色した木、鉄、ゴム）	作家蔵
52	ジェントル・ボーイ	2018	71.0×46.0×3.0	アサンブラージュ（着色した金属、ほか）	作家蔵
53	オレンジ・ドッグ（ハアハア喘ぐ）	2018	103.0×114.0×5.0	アサンブラージュ（着色した木、鉄、ほか）	作家蔵
海と空と家と					
54	海に降る雨	1993	49.0×65.0	エッチング、アクアテイント、ドライポイント、紙	ギャラリー宮脇蔵
55	方舟	2015	48.0×68.0	リトグラフ、紙	ギャラリー宮脇蔵
56	訪問者	1993	49.5×64.5	エッチング、アクアテイント、ドライポイント、 リノカット、紙	個人蔵
57	屋根の上の怪物	1993	64.0×92.3	木版、紙	ギャラリー宮脇蔵
58	丘の上の家	1999	15.8×22.8	油彩、板	ギャラリー宮脇蔵
59	地球の夜	2006	67.0×88.0	エッチング、アクアテイント、ドライポイント、紙	ギャラリー宮脇蔵
60	ピナクル（尖塔）	2016	61.0×24.0	リトグラフ、紙	作家蔵
61	たくさんの窓のある家	2021	137.0×153.0	油彩、カンヴァス	作家蔵
愛の家					
62	愛の家（大）	2016	51.0×69.0×16.0	ブロンズ	作家蔵
63	愛の家（小）	2019	21.5×17.5×9.5	ブロンズ	作家蔵
64	ホーム・オブ・ラヴ	2022	48.0×68.0	リトグラフ、紙	作家蔵
第三章 オーストラリアの大自然（動物たちと鳥たちの大陸）					
人と鳥と昆虫と					
65	贈りもの	1997	67.0×89.0	エッチング、アクアテイント、ドライポイント、紙	ギャラリー宮脇蔵
66	手をふる少女	1997	67.0×89.0	エッチング、アクアテイント、ドライポイント、紙	ギャラリー宮脇蔵
67	座る女性	1997	44.0×59.3	エッチング、アクアテイント、ドライポイント、紙	ギャラリー宮脇蔵
68	手をふる少年	1998	67.0×89.0	エッチング、アクアテイント、ドライポイント、紙	ギャラリー宮脇蔵
69	くしをもつ少年	1998	67.0×89.0	エッチング、アクアテイント、ドライポイント、紙	ギャラリー宮脇蔵
70	ヤング・フィッシャーマン	2001	43.8×59.3	エッチング、アクアテイント、ドライポイント、紙	ギャラリー宮脇蔵
71	少女	2007	38.5×56.5	水彩、紙	作家蔵
72	少年	2007	38.5×56.5	水彩、紙	作家蔵
73	花をもつレディ	1999	56.0×76.0	油彩、板	ギャラリー宮脇蔵
74	手をふる子ども（青の長袖）	2020	15.0×30.0	油彩、板	作家蔵
75	子ども	2006	56.0×57.0×16.0	ブロンズ	作家蔵
76	花をもつ少女	2018	22.0×37.0×12.0	ブロンズ	作家蔵
77	ささやかなよろこび	2019	22.0×46.0×7.0	ブロンズ	作家蔵
78	リトル・マン（第2ステート）	2020	31.5×27.0×7.0	ブロンズ	作家蔵
79	太ったカナリア	1998	56.0×76.0	油彩、カンヴァス	ギャラリー宮脇蔵
80	カモフラージュした鳥	1998	44.0×59.7	モノタイプ、紙	作家蔵
81	マウンテン・バード	2000	66.8×88.3	エッチング、アクアテイント、ドライポイント、紙	ギャラリー宮脇蔵
82	月のマウンテン・バード	2000	67.0×88.5	エッチング、アクアテイント、ドライポイント、紙	ギャラリー宮脇蔵
83	闇夜の赤い鳥	2000	67.0×89.0	エッチング、アクアテイント、ドライポイント、紙	ギャラリー宮脇蔵
84	バランス	2002	68.0×48.2	リトグラフ、紙	個人蔵
85	雨に唄う大きな鳥	2002	49.5×70.2	リトグラフ、紙	個人蔵
86	蛾を見る鳥	2010	45.0×53.0	油彩、カンヴァス	作家蔵

No.	作品名	制作年	寸法 (縦×横×奥行)cm	技法・素材	所蔵先
87	黒いオウムとてんとう虫	2011	48.0×68.0	リトグラフ、紙	ギャラリー-宮脇蔵
88	ほほ笑むオウム	2014	46.0×68.0	リトグラフ、紙	ギャラリー-宮脇蔵
89	黒いカナリア	2015	48.0×68.0	リトグラフ、紙	ギャラリー-宮脇蔵
90	青い鳥	2015	48.0×68.0	リトグラフ、紙	個人蔵
91	オウムとてんとう虫の家族	2016	68.0×48.0	リトグラフ、紙	ギャラリー-宮脇蔵
92	ラブバード (つがいの鳥)	2022	30.0×61.0	油彩、板	作家蔵
93	てんとう虫のいる大きなサボテン	2010	45.0×53.0	油彩、カンヴァス	作家蔵
94	まだらのあるサボテン	2010	45.0×53.0	油彩、カンヴァス	作家蔵
95	てんとう虫の木のぼり	2012	22.5×20.0	油彩、板	作家蔵
96	てんとう虫の風景	2018	122.0×183.0	油彩、カンヴァス	作家蔵
97	バッタの山	2018	122.0×183.0	油彩、カンヴァス	作家蔵
生命の光～イリュミネーション					
98	サン・フェイス (丸)	2007	70.0×90.0	水彩、紙	ギャラリー-宮脇蔵
99	サン・フェイス (四角)	2007	70.0×90.0	水彩、紙	作家蔵
100	空たかく飛ぶ鳥	2007	70.0×90.0	水彩、紙	個人蔵
101	鳥の親子	2007	70.0×90.0	水彩、紙	作家蔵
102	長い犬	2007	70.0×90.0	水彩、紙	ギャラリー-宮脇蔵
103	犬のいる形のない風景	2007	70.0×90.0	水彩、紙	作家蔵
104	飛行機を見るカメ	2007	70.0×90.0	水彩、紙	作家蔵
105	カメたちのいる川	2007	46.0×61.0	水彩、紙	作家蔵
106	カメたちの旅	2007	70.0×90.0	水彩、紙	作家蔵
実在と架空の動物たち					
107	マダラ模様のネコ	1998	67.0×89.0	エッチング、アクアテイント、ドライポイント、紙	ギャラリー-宮脇蔵
108	まっすくな尻尾をもつネコ	1998	36.0×36.0	油彩、カンヴァス	個人蔵
109	ネコ	2004	46.0×68.0	リトグラフ、紙	ギャラリー-宮脇蔵
110	ネコ	2006	44.0×59.5	エッチング、アクアテイント、ドライポイント、紙	個人蔵
111	ムーン・ドッグ	1998	66.7×88.2	エッチング、アクアテイント、ドライポイント、紙	ギャラリー-宮脇蔵
112	ブッシュ・ドッグ	1998	44.0×59.7	モノタイプ、紙	作家蔵
113	赤鼻をもつ動物	1999	20.0×45.0	木版、紙	ギャラリー-宮脇蔵
114	星空の下を歩く犬	1999	57.0×76.0	油彩、カンヴァス	ギャラリー-宮脇蔵
115	犬のいる黄色い風景	2001	37.9×45.5	油彩、カンヴァス	作家蔵
116	でぶちょよ犬と鳥	2001	30.2×44.7	木版、紙	個人蔵
117	うろつきまわる犬	2012	15.5×19.5	油彩、板	作家蔵
118	ヘラジカの道	1999	44.0×59.7	モノタイプ、紙	作家蔵
119	家に帰る牛	1999	44.0×59.7	モノタイプ、紙	作家蔵
120	ハリモグラ	1998	76.0×113.0	エッチング、アクアテイント、ドライポイント、紙	ギャラリー-宮脇蔵
121	夜の風景とハリモグラ	2007	44.0×59.5	エッチング、アクアテイント、ドライポイント、紙	作家蔵
122	ハリモグラとアリ	2007	70.0×90.0	水彩、紙	作家蔵
123	ハリモグラとアリ	2017	48.0×68.0	リトグラフ、紙	作家蔵
124	アンテナの上の鳥	1999	37.9×45.5	油彩、カンヴァス	作家蔵
125	ひと休みするトードー	1999	37.9×45.5	油彩、カンヴァス	ギャラリー-宮脇蔵
126	ジャイアント・トゥーカン (オオハシ=大きな嘴)	2000	44.0×59.3	エッチング、アクアテイント、ドライポイント、紙	ギャラリー-宮脇蔵
127	黄色いトキとハチ	2002	46.0×68.0	リトグラフ、紙	個人蔵
128	小さなハイタカ	2009	45.0×53.0	油彩、カンヴァス	作家蔵
129	得意気な鶴	2010	53.0×45.0	油彩、カンヴァス	ギャラリー-宮脇蔵
130	おとなしいペンギン	2010	45.0×53.0	油彩、カンヴァス	作家蔵
131	ミミズクの子	2011	45.0×53.0	油彩、カンヴァス	作家蔵
132	ミミズク	2012	20.5×25.0	油彩、板	作家蔵
133	夜のミミズク	2013	75.0×106.0	木炭、紙	作家蔵
134	アンテナに留まるカササギフエガラス (西)	2015	30.0×30.0	油彩、板	作家蔵
135	月を見るカササギフエガラス	2016	100.0×100.0	油彩、板	作家蔵

No.	作品名	制作年	寸法 (縦×横×奥行)cm	技法・素材	所蔵先
136	アンテナに留まるカササギフエガラス	2018	48.0×68.0	リトグラフ、紙	作家蔵
137	夜のワライカワセミ	2012	20.5×25.0	油彩、板	ギャラリー宮脇蔵
138	まだら模様のワライカワセミ	2013	21.0×23.5	油彩、板	作家蔵
139	ワライカワセミ (大)	2021	109.0×118.0×43.0	ブロンズ	作家蔵
140	ワライカワセミ (小)	2021	58.0×62.0×23.0	ブロンズ	作家蔵
141	ウォンバット (小)	2019	32.0×63.0×26.0	ブロンズ	作家蔵
142	ウォンバット (マケット)	2020	12.5×14.0×9.5	ブロンズ	作家蔵
143	コアラ	2020	27.0×16.0×20.0	ブロンズ	作家蔵
144	ほくの頭にのるハリモグラ	2006	72.0×26.0×20.0	ブロンズ	作家蔵
145	ハリモグラと鳥	2018	17.0×22.0×10.0	ブロンズ	作家蔵
146	ハリモグラといたずら好きな鳥	2020	20.0×48.0×13.0	ブロンズ	作家蔵
147	ハリモグラの通り道 (ジェイドの森)	2021	122.0×183.0	油彩、カンヴァス	作家蔵
148	ハリモグラと仲良しのワライカワセミ	2022	40.0×75.0×19.0	ブロンズ	作家蔵
149	ハリモグラ	2013	82.0×147.0×30.0	ブロンズ	作家蔵

第IV章 オーストラリアの地平線のなかで

ランドスケープのなかの大型彫刻

150	花をもつレディ	2011	211.0×180.0×133.0	ブロンズ (展示会場においては、本作品の写真画像を原寸大:211.0×180.0×133.0cmに拡大して掲示)	ポイント・レオ・エステート彫刻公園蔵
-----	---------	------	-------------------	--	--------------------

■図録 B6変形 (20×21cm) 144頁

内容: はじめに

第I章	ディーン・ボーエンの作品世界へ旅立つ アーティストブックの展開
第II章	人間像～町の風景～私たちの暮らし 顔 都市と郊外と自動車 アサンブラージュとアール・ブリュットの作用 海と空と家と 愛の家
第III章	オーストラリアの大自然 (動物たちと鳥たちの大陸) 人と鳥と昆虫と 生命の光 イリュミネーション 実在と架空の動物たち
第IV章	オーストラリアの地平線のなかで ランドスケープのなかの大型彫刻
略歴	創造的ひらめきのアサンブラージュ テクスチャをもとめて: ディーン・ボーエンの版画技法 (和南城愛理)
	作家の言葉: 一問一答 作品リスト

特別協力: ディーン・ボーエン 宮脇豊 (ギャラリー宮脇)

執筆: 友井伸一 (徳島県立近代美術館)、和南城愛理 (町田市立国際版画美術館)

装丁・レイアウト: 中村香織 (コパンダ)

企画・編集・翻訳協力: 豊田菜穂子、山崎典子

印刷・製本: ニューカラー写真印刷株式会社

発行: 株式会社アートプランニングレイ

■ポスター	B2	
■ち ら し	A4	
■パ ネ ル	はじめに (挨拶) パネル (B1) 和英2枚、章解説パネル (B1) 4枚、(B2) 6枚、作家作品解説パネル (21×21cm) 5枚、作品解説パネル (A4) 1枚、作家略歴・技法解説パネル (B0) 2枚、解説パネル (「螺旋階段」 B2) 3枚、アニメーションキャプション (A4) 1枚、フォトスポット	
■主要関連記事		
【新聞等】		
TAKATAI	5.7.14	「豪州のボーエン ユニークな作品 来月27日まで近代美術館」
毎日新聞	7.14	遊ナビ紹介
上毛新聞	8.7	「豪州の空気感そのまま 近美ボーエン展」
毎日新聞	8.15	「ディーン・ボーエン展 27日まで 豪州を代表する美術作家 県立近代美術館」
読売新聞	8.15	「豪の自然 独創的に描く 県立近代美術館で企画展」

【定期刊行物等】

美術館ニュースNo.192 4.1 〈展覧会紹介〉
 版画芸術No.200 2023夏号 6.1 「展覧会プレビュー」
 月刊美術7月号 6.20 「夏に訪ねたい美術館展」
 美術館ニュースNo.193 7.1 〈展覧会紹介〉

【WEB】

Fashion Press 5.27 「「ディーン・ポーエン展」群馬県立近代美術館で、“オーストラリアの自然への眼差し” 版画など約150点」
 美術手帖ウェブ版 5.30 「モチーフにこめられた自然や命へのまなざし。「ディーン・ポーエン展 オーストラリアの大地と空とそこに生きる私たち」が群馬県立美術館で開催へ」
 産経新聞ウェブ版 6.14 from学芸員
 美術展ナビ 7.5 「Dean Bowen ディーン・ポーエン展 オーストラリアの大地と空とそこに生きる私たち」
 アートアジェンダ 7.8 「Dean Bowen ディーン・ポーエ

ン展 オーストラリアの大地と空とそこに生きる私たち」

朝日ぐんま 7.21 〈文化紀行〉「初紹介! ディーン・ポーエン展 群馬から巡回」

■放送

群馬テレビ 5.7.18 〈ニュースJUST6〉、〈ニュースeye8〉 展示風景紹介
 ラジオ高崎 7.24 〈群馬県からのお知らせ〉
 8.3 〈群馬県からのお知らせ〉
 NHK 7.30、8.12 〈日曜美術館 アートシーン〉
 エフエム群馬 5.8.12 〈街ネタぼすと〉

■関連事業

トークイベント 5.8.12 「ディーン・ポーエンの魅力」
 登壇者：宮脇豊（ギャラリー宮脇代表）、友井伸一（徳島県立近代美術館学芸員）、太田佳鈴（群馬県立近代美術館学芸員）

学芸員による作品解説会

7.15、8.2



3 創作において自由なる競創 —19、20世紀の芸術家とポスター—

会 期 令和5年9月16日(土)～11月12日(日)
 会 場 展示室1
 主 催 群馬県立近代美術館
 企画協力 創絵社
 観 覧 料 一般800(640)円／大高生400(320)円
 ()内は20名以上の団体料金

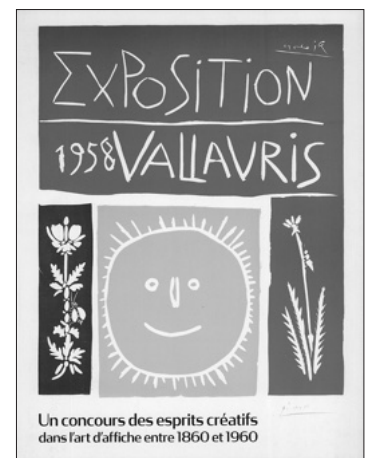
これまで開催されてきた多くのポスターの展覧会は、アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレックやアルフォンス・ミュシャのようなポスター制作において突出した成果を残した芸術家を取りあげるものか、ポスターデザインの歴史をたどるものに大別される。しかし本展は、ポスターを専門に制作していたわけではなかった、画家、彫刻家らが、その魅力に惹きつけられるようにして制作したポスター作品約160点を紹介した展覧会である。

18世紀に登場したポスターに新しい表現の可能性をみいだした芸術家たちは、互いに競うように、観る人の印象に残る、想像力豊かで、ときに遊び心のある作品を創り出し、やがては自らの個展や画集の告知など、自己宣伝にも活用していった。さらに20世紀半ばには、高い技術と芸術性をあわせ持つ印刷所ムルロ工房が、美術館や画廊の展覧会ポスター制作を担い、芸術と広告の領域をさらに融合させる。

本展は4つの章で構成された。第1章では、シェレ、ロートレック、ミュシャ、ピアズリーら19世紀の先駆者たちの試みを紹介し、第2章では20世紀の巨匠たちシャガール、マティス、ピカソ、ミロ、ダリらがポスターの世界で自由に創意をばたかせて制作した作品を一挙に展観した。第3章では、ジャン・デュビュッフエら戦後の前衛作家たちが自身の個展やグループ展のために制作した展覧会ポスターを中心に紹介し、最後の第4章では、ムルロ工房が手がけた芸術家の展覧会ポスターを集め、絵画作品を高度な技術で版画に移し替えた複製ポスターの粋を紹介した。



ポスター



図録

出品目録

I 街の告知物から芸術作品へ — ロートレック、シエレ、ミュシャ他によるポスター芸術の創世記

No.	作家名	作品名	制作年	技法	寸法 (cm)
I-1	オーブリー・ピアズリー	『子供の本』(T.フィッシャー・アンウイン社)の宣伝ポスター	1894	石版画	76×51
I-2		『サヴォイ』全3巻本の宣伝用の小さなポスター	1896	石版画	32.3×25.5
I-3	ピエール・ボナール	『ラ・ルヴュ・ブランシュ』誌	1894	石版画	80×62
I-4		「画家-版画家」展、ヴォラール画廊	1896	石版画	65×48
I-5		美術雑誌『版画とポスター』(予約購買6フラン)	1897	石版画	79.8×60.2
I-6	アドルフ・カッサンドル	北方急行	1927	石版画	105.4×74.9
I-7	ジュール・シエレ	マリアーニ・ワイン	1894	石版画	118×82
I-8		グレヴァン美術館のファントシュ劇場(文字刷り前)	1900	石版画	119.5×82
I-9	ポール・コラン	タバラン	1928	石版画	59.5×39.5
I-10		国際連帯週間	1946頃	石版画	59×39.5
I-11	ジョルジュ・ド・フル	風刺雑誌『小悪魔』	1892	石版画	79.5×60
I-12	アルフレド・エデル	オペラ「ル・マージュ」ポスター	1891	石版画	90.5×65.5
I-13	ウジェーヌ・グラッセ	国立オデオン座のための多色刷り石版ポスター(文字刷り前)	1890	石版画	122×81
I-14	ポール・セザール・エリュール	エドモン・サゴ書店の版画とポスター	1901	石版画	106×75.2
I-15	ルイ・イカール	オリジナル銅版画…何て理想的な装飾!	1935	石版画	49×32
I-16	アルフォンス・ミュシャ	第20回サロン・デ・サン(百選展)	1896	石版画	61.5×40
I-17	パル(ジャン・ド・パレオローグ)	フォリー=ベルジュール「ダンテの素晴らしきワルツ」	1899	石版画	79.5×57.7
I-18	ルネ・ペアン	フォリー=ベルジュール「ヴァランティース・プティ嬢」	1900	石版画	114×78
I-19	フランシス・プールボ	パリ祭 1916年7月14日	1916	石版画	121×80
I-20		映画「廃墟の子供たち」	1918	石版画	121×80
I-21	ジェラルド・スペンサー・プライズ	昨日-塹壕	1923	石版画	101×71
I-22		今日-失業者	1923	石版画	101×71
I-23	リシャール・ランフト	サロン・デ・サン(百選展)	1894	石版画	59.7×40.5
I-24	エドモン・ロッシュ	サロン・デ・サン(百選展)	1895	石版画	61×44
I-25	ガストン・ルレ	第9回サロン・デ・サン(百選展)	1894-95	石版画	60×40
I-26	アレクサンドル・スタンラン	『ジュルナル・デ・デバ』紙、「1894年サロン展」特集号表紙	1894	石版画	31.7×49.5
I-27		ベルギーでは人々が空腹です。	1915	石版画	103×71.6
I-28	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	『警鐘』	1895	石版画	56.7×45.2
I-29	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	『彼女たち』(ポスター版)	1896(第1ステート1895年)	石版画	65×50
I-30	ジグ(ルイ・ゴードン)	カジノ・ド・パリ、ミスタンゲット嬢—輝くパリ	1931	石版画	86.4×38.1

II 画家たちによるポスター芸術の確立 — 20世紀の巨匠たちによるポスター芸術の競創

II-1	ロジェ・ビシエール	パリ国立近代美術館での展覧会	1959	石版画	65×48
II-2	ジョルジュ・ブラック	「四つの壁」展、マール画廊	1958	石版画	71.5×47.5
II-3		「ブラックのアトリエ」展、ルーヴル美術館	1961	石版画	73×49.5
II-4		ルネ・シャール詩、ジョルジュ・ブラック挿画『恋文』刊行記念展ポスター	1963	石版画	64×40
II-5		「ブラックからの寄贈」展、ルーヴル美術館	1965	石版画	59.7×45.1
II-6	ヴィクトル・ブローネル	「動物寓話」展、ル・ボアン・カルディナル画廊	1963	孔版画	63×50
II-7	マルク・シャガール	パリ装飾芸術美術館での展覧会《バラ色の画家》	1959	石版画	94×64
II-8		ニース市の観光宣伝ポスター「ニース-太陽、花々」《天使の湾》	1962	石版画	77.5×56.5
II-9		パリ市の観光宣伝ポスター—オペラ座、シャガールによる天井画(部分)《ロミオとジュリエット》	1964	石版画	65×101
II-10		メトロポリタン・オペラ リンカーン・センター9月開業ポスター《カルメン》	1966	石版画	102×66.5
II-11		メトロポリタン・オペラ「魔笛」	1967	石版画	100×66
II-12		壁画《四季》、シカゴ市への寄贈記念ポスター	1974	石版画	94×64

No.	作家名	作品名	制作年	技法	寸法 (cm)
II-13	ジャン・コクトー	リュシー・ヴェイユ画廊での展覧会《青い背景のアルルカン》	1955	石版画	72×51
II-14		ヴァイルフランシュ=シュル=メールのサン・ピエール礼拝堂	1957	石版画	67.8×48.3
II-15		モナコ公国観光ポスター	1959	石版画	65×49
II-16		「オルフェ」展、リュシー・ヴェイユ画廊《豎琴をひくオルフェ》	1960	石版画	71×47
II-17	サルバドール・ダリ	「メソニエへのオマージュ」展、オテル・ムーリス	1967	石版画	63.5×45
II-18		「第2回国際描画展」、ダルムシュタット市	1967	石版画	104.3×73.3
II-19		フランス国立鉄道会社—ノルマンディー	1969	オフセット・リトグラフ	99×62
II-20		フランス国立鉄道会社—ルシヨン	1969	オフセット・リトグラフ	99×62
II-21	ジョルジョ・デ・キリコ	マルモッタン美術館での展覧会《イル・コンソラトーレ》	1975	石版画	72×50
II-22	ロベール・ドロネー	「エッフェル塔」展、バイエラー画廊（文字刷り前）	1956	石版画	76×46
II-23		パリ国立近代美術館での展覧会	1957	石版画	73×51
II-24	ソニア・ドロネー	20世紀画廊での展覧会	1968	石版画	73×51
II-25	ポール・デルヴォー	「ドロイングと初期リトグラフ」展、パトール・ラヴォワール（洗濯船）画廊	1966	石版画	62×46
II-26	アンドレ・ドラク	パリ国立近代美術館での展覧会	1954	石版画	76×50
II-27		「20世紀の挿画本」、アルジェリア政府宮殿、ピエール・ホルデスの間	1955	石版画	74×62.3
II-28		カンティエニ美術館での展覧会	1964	石版画	81×56.5
II-29	フランソワ・デノワイエ	「セザンヌ以降のフランス絵画の諸相」展 シャルトル、大聖堂前の商工会議所	1959	石版画	76×52.4
II-30	マルセル・デュシャン	「マン・レイ展」、ジュリアン・レヴィ画廊のカタログ	1945	石版画	29.2×22.8
II-31	ラウル・デュフィ	「悲劇、喜劇」マドレーヌ・ルノー=ジャン・ルイ・パロー劇団公演ポスター	1956	石版画	65×49
II-32		「デュフィ傑作選」展 バルネーム=ジュヌ=ドーベル ヴァイル画廊	1959	石版画	67.5×50.5
II-33		パリ市の観光宣伝ポスター—パリ国立近代美術館デュフィ《ドーヴィル競馬場のパドック》	1964	石版画	61.5×101
II-34	マックス・エルンスト	「シュルレアリスム 原点—歴史—テーマ類似性」展 シャルパンティエ画廊	1964	石版画	74×50
II-35		アルフォンス・シャヴェエ画廊での展覧会	1966	石版画	81×55
II-36		ヴォルプスヴェーデ美術館での展覧会	1967	孔版画	62×44
II-37		「アトリエの廃棄物—天才のひらめき」展、アルフォンス・シャヴェエ画廊	1968	石版画	73×47
II-38	リオネル・ファイニンガー	ベルクグリュエン画廊での展覧会	1974	石版画	73×54
II-39	レオナルド・フジタ（藤田嗣治）	「時代の証人の画家たち—青春」展、ガリエラ美術館《三美神》	1960	石版画	74.5×52.6
II-40		フランス国立鉄道会社—ノルマンディー	1958	石版画	72.5×47.6
II-41	アルベルト・ジャコメッティ	マールグ画廊での展覧会	1954	石版画	73.6×52
II-42	ホアン・グリズ	「ホアン・グリズのアトリエ」展 ルイーズ・レリス画廊	1957	石版画	64×47
II-43	フランティセック・クプカ	パリ国立近代美術館での展覧会	1958	石版画	71×50
II-44	マリー・ローランサン	「1898 最初のルノー車」	1936	石版画	34.3×29.3
II-45		「版画展」、版画・素描出版販売組合	1937	石版画	39×32.5
II-46	ル・コルビュジエ	「ル・コルビュジエの新作タペストリー」展、ラ・ドムール画廊	1960	石版画	57×73
II-47	フェルナン・レジェ	「建設労働者と彩色彫刻」展、フランス思想会館	1951	石版画	76×52
II-48		ルイ・カレ画廊での展覧会	1953	石版画	65.5×46.5
II-49		「新作展」、フランス思想会館	1954	石版画	66×49
II-50		リヨン美術館での展覧会	1955	石版画	76.5×52
II-51	ルネ・マグリット	「第21回サロン・ド・メ」、パリ市立近代美術館	1965	石版画	67×45.7
II-52	アルベール・マルケ	「マルケのボルドー紀行」、フランス思想会館	1960	石版画	75×50.5
II-53		「マルケと仲間たち」展 シャルトル、大聖堂前の商工会議所	1961	石版画	77×50
II-54	ルイ・マルクーシ	「マルクーシへのオマージュ」展、クレーゲル画廊	1962	石版画	74×48
II-55	アンドレ・マッソン	「新作展 1962-1968」、ルイーズ・レリス画廊	1968	石版画	65.4×48.2

No.	作家名	作品名	制作年	技法	寸法 (cm)
II-56		カンティーニ美術館での展覧会	1968	石版画	72×50
II-57	アンリ・マティス	「ニース —仕事と喜び」	1948	石版画	100×65
II-58		パリ装飾美術学校の舞踏会《ボンパドール夫人》	1951	石版画	80×60
II-59		「グアッシュ 切り絵」展、パリ装飾芸術美術館	1961	石版画	68×47.5
II-60	ジョアン・ミロ	「スペインを救え」	1937	孔版画	31×24.5
II-61		「高火の土 —ミロとアルティガス」展、マーグ画廊	1956	石版画	68×51
II-62		マタラツソ画廊での展覧会	1957	石版画	67×49
II-63	ジョアン・ミロ	「壁画」展、マーグ画廊	1961	石版画	67×48.5
II-64	ヘンリー・ムーア	ベルクグリューン画廊での展覧会	1957	石版画	63×43
II-65	フランシス・ピカビア	フルスタンバール画廊での展覧会	1956	孔版画	62×48.5
II-66	パブロ・ピカソ	パリ装飾芸術美術館での展覧会	1955	石版画	64×46
II-67		「トロス」展、ヴァローリスでの展覧会	1956	リノカット	100×65
II-68		ヴァローリスでの展覧会	1958	リノカット	100×65
II-69		「エコール・ド・パリの巨匠によるオリジナルポスター展」、フランス思想会館	1959	石版画	65×50
II-70		「平和、軍縮 平和会議の成功のために」	1960	石版画	120×80.5
II-71		コート・ダジュール旅行ポスター	1962	石版画	100×66.5
II-72	マン・レイ	リヴ・ドロワット画廊での展覧会	1959	石版画	55.5×40
II-73		ロサンゼルス・カウンティ美術館での展覧会	1966	オフセット・リトグラフ	54×93.3
II-74	ジョルジュ・ルオー	「国に寄贈された未完成作品」展、ルーヴル美術館	1964	石版画	61×46
II-75		「受難」展、シャルバンティエ画廊	1965	石版画	73×50
II-76	モーリス・ユトリロ	「100の油絵画」展、シャルバンティエ画廊	1959	石版画	73×54
II-77	キース・ヴァン・ドンゲン	「時代の証人の画家たち—愛」展、ガリエラ美術館《ブリジット・バルドー》	1964	石版画	58×44
II-78		リヨン美術館での展覧会	1964	石版画	77.5×50.8
II-79	モーリス・ド・ヴラマンク	「フォーヴィスムから現在までの作品」展、シャルバンティエ画廊	1956	石版画	68×51
II-80	ジャック・ヴィヨン	「時代の証人の画家たち—スポーツ」展、ガリエラ美術館《アクロバット》	1957	石版画	75×50
II-81		「第15回サロン・ド・メ」、パリ市立近代美術館	1959	石版画	61×45
II-82	オシップ・ザッキン	イム・エルカー画廊での展覧会	1961	石版画	85×51

III ポスターアートとして芸術分野へさらなる昇華

— 第二次世界大戦後の新しい芸術家たちが描き出す百花斉放のポスター芸術

III-1	イヴ・ブレイエ	ロマネ画廊での展覧会	1959	石版画	74.8×52.7
III-2	モーリス・ブリアンション	フィンドリー画廊での展覧会	1959	石版画	71.8×47.5
III-3	ベルナール・ビュッフエ	「時代の証人の画家たち—パリジェンヌ」展、ガリエラ美術館	1958	石版画	73.5×47.5
III-4		カンヌの65画廊での展覧会	1960	石版画	77×53.5
III-5	アレクサンダー・カルダー	ムルロ工房、ニューヨーク・オープン記念ポスター	1967	石版画	71×53.3
III-6	ジャン・カルズー	「プロヴァンス」展、ダヴィッド&ガルニエ画廊	1960	石版画	66×48
III-7	アンドレ・コタヴォ	アール・ヴィヴァン画廊での展覧会	1959	石版画	72×52
III-8	ジャン・クーティ	カティア・グラノフ画廊での展覧会	1959	石版画	68×48
III-9	ニコラ・ド・スタール	「17点の絵画 (1946-1947)」展、ルイ・カレ画廊	1964	石版画	77×53.2
III-10	ジャン・デュビュッフエ	パリ装飾芸術美術館での展覧会	1960	石版画	72×50
III-11		「生きている芸術10年記念」展、マーグ財団美術館	1967	石版画	60×37
III-12	イジス・キシユカ	「新作油彩画」展、65画廊での個展	1960	石版画	71×51.7
III-13	イヴ・クライン	「詩人の春 (アルマンの肖像)」展、アレクサンドル・イオラス画廊	1965	孔版画	80×42.5
III-14		「人体測定」展、カール・フリンカー画廊	1973	石版画	92.7×54.6
III-15	ジャック・ラグランジュ	ヴィヤン=ガラニ画廊での展覧会	1959	石版画	66×41
III-16	シャルル・ラピック	ヴィヤン=ガラニ画廊での展覧会	1960	石版画	70×50
III-17	ベルナール・ロルジュ	「ロルジュよりル・バル・デ・フォルへの招待」展、フォブール・サントノーレ140	1959	石版画	75×53

No.	作家名	作品名	制作年	技法	寸法 (cm)
Ⅲ-18	アンドレ・ミノー	H. コンブ 画廊での展覧会	1960	石版画	67×45
Ⅲ-19	イヴォヌス・モテ	「モテ絵画作品展」、フォブール・サントノーレ140	1959	石版画	67×45
Ⅲ-20	棟方志功	「棟方志功-現代日本の版画家」展、国立アジア美術館 (ギメ美術館)	1960	石版画	67×50
Ⅲ-21	ロラン・ワード	アンドレ・ヴェイユ画廊での展覧会	1959	石版画	75×52
Ⅲ-22	セルジュ・ボリアコフ	「油彩画新作展」、ベルクグリュン画廊「グアッシュ新作展」、ノードラー画廊	1959	石版画	67×45
Ⅲ-23		「グアッシュ展」、ディナ・ヴィエルニー画廊での展覧会	1965	石版画	63×48
Ⅲ-24	ジョルジュ・ロネール	アンドレ・ヴェイユ画廊での展覧会	1960	石版画	66×49
Ⅲ-25	リュック・シモン	フラモン画廊での展覧会	1959	石版画	65×48
Ⅲ-26	ジュラル・サンジェ	「新作絵画 Saclay」展、ロランソー画廊	1959	石版画	60×46
Ⅲ-27	ピエール・スーラージュ	「アンタゴニスム」展、パリ装飾芸術美術館	1960	石版画	88×54
Ⅲ-28	ピエール・タル＝コア	「絵画 1928-1968」展、パリの3つの画廊による展覧会	1968	石版画	65.5×47
Ⅲ-29	コンスタンティン・テレシコピッチ	「絵画 1926-1966」展、ポール・ペトリデス画廊	1966	石版画	67×51
Ⅲ-30	クロード・ヴァナル	シャルパンティエ画廊での展覧会	1959	石版画	76×51

Ⅳ ポスター芸術の創造の場、ムルロ工房 — 画家たちを陰で支えたムルロ工房の功績

Ⅳ-1	メアリー・カサット	「画家-版画家」展、アメリカ文化センター、パリ	1959	石版画	65×47.4
Ⅳ-2	ポール・セザンヌ	「油彩画、水彩画、素描」展、グラネ美術館	1953	石版画	66×49
Ⅳ-3		アンリ・ベルシヨ著『セザンヌの生涯』(アシェット社) 刊行ポスター	1956	石版画	65.6×44
Ⅳ-4	エドガー・ドガ	デュラン＝リュエル画廊での展覧会	1960	石版画	73.5×56
Ⅳ-5	ポール・ゴーギャン	「100の作品」展、シャルパンティエ画廊	1960	石版画	78.5×48
Ⅳ-6	ワシリー・カンディンスキー	「版画展」、ベルクグリュン画廊	1954	石版画	64.7×44.5
Ⅳ-7	パウル・クレー	カンティーニ美術館での展覧会	1967	石版画	64.4×47.4
Ⅳ-8	エドゥアル・マネ	カンティーニ美術館での展覧会	1961	石版画	71×48
Ⅳ-9		「フランス美術 100の傑作」展、シャルパンティエ画廊	1961	石版画	75.5×50
Ⅳ-10	ジャン＝フランソワ・ミレー	「肖像画と素描」展、ジャックマール＝アンドレ美術館	1964	石版画	68×45
Ⅳ-11	アメデオ・モディリアーニ	「ボナール以後」展、パリ国立近代美術館	1957	石版画	65.6×44
Ⅳ-12		「100の油彩画」展、シャルパンティエ画廊	1958	石版画	74.5×48.5
Ⅳ-13	ジュール・パスキン	アンドレ・ソーレ編集『パスキン』刊行ポスター	1954	石版画	54×40
Ⅳ-14	オディロン・ルドン	オランジュリー美術館での展覧会	1965	石版画	72×48
Ⅳ-15	ピエール＝オーギュスト・ルノワール	カーニュ＝シュル＝メールのコレット荘での展覧会	1961	石版画	64.3×44
Ⅳ-16		「油彩画と彫刻」展、カンティーニ美術館	1963	石版画	74×50.5
Ⅳ-17	ポール・シニャック	リュシー・ヴェイユ画廊での展覧会	1965	石版画	64×45.5
Ⅳ-18	シャイム・スーティン	フランス思想会館での展覧会	1956	石版画	71.9×43.7
Ⅳ-19	フィンセント・ファン・ゴッホ	ジャックマール＝アンドレ美術館での展覧会	1960	石版画	75×52
Ⅳ-20		「新しい絵画作品」、ジャックマール＝アンドレ美術館	1960	石版画	75.5×49.5
Ⅳ-21	レイ・ヴァルタ	ディエップ美術館での展覧会	1959	石版画	61×45

※作品の材質はすべて紙
 ※すべての作品は個人蔵

■図録 A4判 161頁

内容：ごあいさつ

主催者あいさつ

芸術家たちによるポスター芸術 創生からのながれ (福

井市立美術館副館長 河野泰久)

カタログ

第Ⅰ章 街の告知物から芸術作品へ

第Ⅱ章 画家たちによるポスター芸術の確立

第Ⅲ章 ポスターアートとして芸術分野へさらなる昇華

第Ⅳ章 ポスター芸術の創造の場、ムルロ工房

出品作家解説

関連年表1814-1973

版画技法 (編・イラスト 河野泰久)

出品作品リスト

編集：創絵社

デザイン：梯 耕治

発行：創絵社

- ポスター B2
- ち ら し A4
- パ ネ ル 挨拶パネル1枚、章解説パネル4枚、技法パネル1枚、年表パネル1枚、写真スポットシート1枚

■主要関連記事

【新聞等】

- 上毛新聞 5.10.23 「マティス、ピカソ、シャガール 芸術家制作のポスター」
- 読売新聞 10.18 「巨匠のポスター 160点紹介 近代美術館 ピカソやマティス」

【定期刊行物等】

- 美術館ニュースNo.193 7.1 〈次回展覧会案内〉
- 美術館ニュースNo.194 10.1 〈展覧会紹介〉

【WEB】

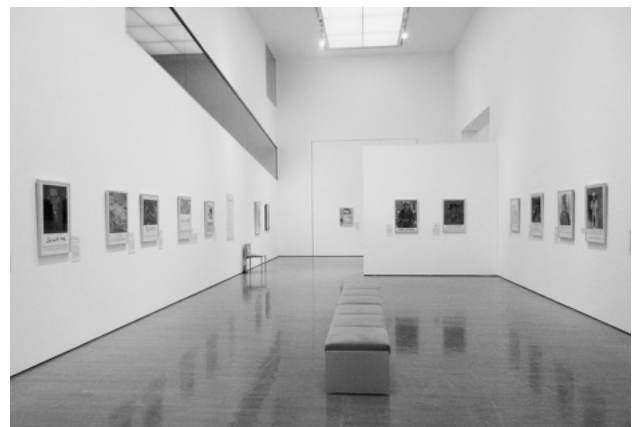
- Fashion Press 5.7.20 〈ニュース アート〉「ポスター芸術に着目した展覧会が群馬県立近代美術館で」

■放送

- エフエム群馬 5.9.12 〈POTLUCK〉
- ラジオ高崎 9.20 〈群馬県からのお知らせ〉
- 11.1 〈群馬県からのお知らせ〉

■関連事業

- 記念講演会 5.10.7
- 特別館長によるスペシャルトーク 10.22
- 学芸員による作品解説会（レクチャー） 11.3
- 学芸員による作品解説会（ギャラリートーク） 9.30、10.18
- ミニリトグラフ・ワークショップ 10.14



4 第74回群馬県美術展

会 期 令和5年11月24日(金)～12月3日(日)
 会 場 展示室1、展示室3、ギャラリー、ホール
 主 催 群馬県美術会／群馬県／公益財団法人群馬県教育文化
 事業団／群馬県立近代美術館
 後 援 第47回県民芸術祭運営委員会／群馬県教育委員会／高
 崎市／高崎市教育委員会／一般財団法人群馬県教育振
 興会／公益社団法人企業メセナ群馬／上毛新聞社／朝
 日新聞前橋総局／毎日新聞社前橋支局／読売新聞社前
 橋支局／産経新聞社前橋支局／東京新聞前橋支局／共
 同通信社／時事通信社前橋支局／NHK前橋放送局／
 群馬テレビ／エフエム群馬

観 覧 料 無料



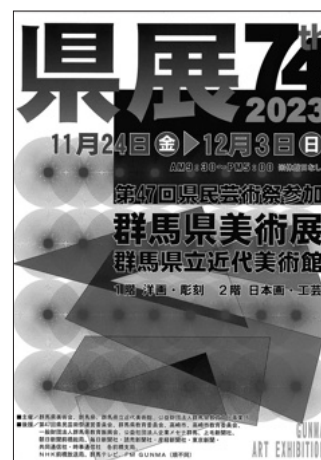
ポスター

部門別応募点数、入選点数及び展示点数等

部門	応募点数	入選	会員	準会員	顧問等	展示点数
日本画	53	53	31	8	0	92
洋画	407	407	140	55	2	604
彫刻	15	15	22	6	0	43
工芸	53	53	29	14	2	98
計	528	528	222	83	4	837

■目録 B5 65頁

■ポスター B3



目録

5 第74回群馬県書道展

会 期 [I 期] 令和5年12月9日(土)～12月13日(水)
 [II 期] 令和5年12月15日(金)～12月19日(火)
 会 場 展示室1、展示室3、ギャラリー、ホール
 主 催 一般社団法人群馬県書道協会／群馬県／公益財団法人
 群馬県教育文化事業団／群馬県立近代美術館
 後 援 第47回県民芸術祭運営委員会／群馬県教育委員会／一
 般財団法人群馬県教育振興会／前橋市／前橋市教育委
 員会／高崎市／高崎市教育委員会／上毛新聞社／朝日
 新聞社前橋総局／毎日新聞社前橋支局／読売新聞社前
 橋支局／東京新聞前橋支局／共同通信社前橋支局／時
 事通信社前橋支局／NHK前橋放送局／群馬テレビ／
 エフエム群馬／公益社団法人企業メセナ群馬／群馬県
 日本中国友好協会／ぐんま女流書道協会
 観 覧 料 無料

ポスター

部門別応募点数、入選点数及び展示点数等

部門	応募点数	入選	委嘱	委員	展示点数
第1部 漢字	356	339	58	88	485
第2部 かな	274	260	42	82	384
第3部 墨象	260	247	46	71	364
第4部 大字・詩文書	312	296	36	49	381
第5部 篆刻	43	41	8	3	52
計	1,245	1,183	190	293	1,666

■図録 A4 64頁(他に写真図版38頁)

■ポスター A2

目録

特別展示の記録

1 鈴木ヒラク 今日の発掘

会 期 令和5年9月16日(土)～12月19日(火)
会 場 展示室4、5
主 催 群馬県立近代美術館
協 賛 株式会社ジズホールディングス／アニエスベージャ
 バン株式会社／株式会社ヤマト
協 力 白井屋ホテル／rin art association
観 覧 料 一般300(240)円／大高生150(120)円
 ()内は20名以上の団体料金

鈴木ヒラクは1978年宮城県生まれ、神奈川県育ち。2008年東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修了後、世界各地で滞在制作。平面・彫刻・映像・パフォーマンス等により制作活動を展開している。16年より国際的なドローイング研究プラットフォーム「Drawing Tube」を主宰。音楽家や詩人らとのコラボレーションやパブリックアートも多数手掛ける。現在、東京藝術大学大学院美術研究科グローバルアートプラクティス准教授。

鈴木にとっての線は、言葉と絵、こちら側とあちら側、自己と他者をつなぎ、相互浸透を促すメディアである。線をかく行為＝ドローイングは、森羅万象にあまねく存在する(見えない)線の発掘であり、さらに線をトンネルのような中空の通路、あるいはチューブ(管)ととらえれば、人間と自然、主体と客体といった二項対立を越え、世界あるいは宇宙と一体化するための手段となる。

この展覧会は、最新シリーズ〈隕石が書く〉(2023年)と、近作である〈Constellation〉(2018-21年)、〈Interexcavation〉(2019年)各シリーズからの作品を組み合わせ、古墳大国、群馬の地において鈴木の近年の活動を集約させる、大規模な個展となった。

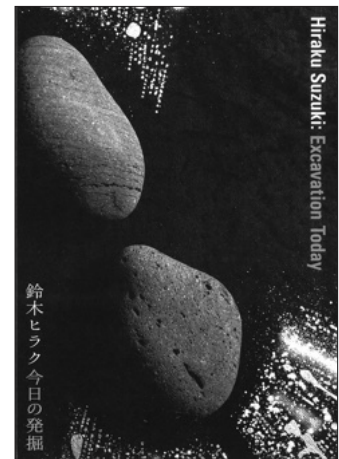
フランスの思想家ロジェ・カイヨワの著書『石が書く』(1970年)を参照したタイトルが示すとおり、〈隕石が書く〉は、宇宙空間を移動する石が反射する光の軌道など様々な記号を集積し、作家が身近な環境で拾った匿名の石が孕む膨大な情報と呼応しながら、人類史を遙かに超えた時間軸において生成され続ける線を新しい言語として画面に刻み込む試みである。

展示室4では〈Interexcavation〉20点を隙間なく壁面に並べ、〈Constellation〉は2点一組で支え合うように自立させ、洞窟のような空間を創出した。一方展示室5では、S、M、Lと3つのサイズでシリーズ展開された〈隕石が書く〉40点を高さ10m超の壁面全体に散在させ、宇宙空間を想起させた。二つの空間を繋ぐのは現地制作された壁画である。展示室4の《岩宿遺跡の印象》はスプレー缶を使った即興ドローイング、展示室5の《観音山古墳の印象》では前方後円墳をかたどった巨大な記号が向き合い、その間にはられたワイヤー上では隕石が飛び交う。展示室を貫き、描くこと／書くことの起源と未来を求めて、人類最古の壁画が残された洞窟から人知を超えて生成と消滅が繰り返される宇宙空間へと線が連なるさまを表現した。ドローイングの概念を拡張し、現代における表現の可能性を更新し続ける鈴木ヒラクの、現在地を示す展示となった。

なお、前橋の白井屋ホテルとの連携により、同ホテルラウンジにも鈴木の作品が展示された。また、まえばしギャラリーで同時期に開催された村田峰紀展と連携し、鈴木と村田のトークショーも開催された(11月4日)。



ポスター



図録

出品目録

No.	作品名	制作年	技法材質	寸法(高さ×幅×奥行き、cm)	所蔵
1	岩宿遺跡の印象	2023	溶岩、シルバーインク・壁	315×865×9	
2	Interexcavation	2019	シルバーインク、土、アクリル、顔料・キャンバス	各194×162×3	
2-1	Interexcavation #1				東京都現代美術館
2-2	Interexcavation #2				東京都現代美術館
2-3	Interexcavation #3				
2-4	Interexcavation #4				個人蔵
2-5	Interexcavation #5				東京都現代美術館
2-6	Interexcavation #6				東京都現代美術館
2-7	Interexcavation #7				家住慧路氏蔵
2-8	Interexcavation #8				
2-9	Interexcavation #9				
2-10	Interexcavation #10				新田安紀芳氏蔵
2-11	Interexcavation #11				
2-12	Interexcavation #13				個人蔵 (群馬県立近代美術館寄託)
2-13	Interexcavation #14				
2-14	Interexcavation #15				
2-15	Interexcavation #16				タグチアートコレクション
2-16	Interexcavation #17				タグチアートコレクション
2-17	Interexcavation #18				タグチアートコレクション
2-18	Interexcavation #19				タグチアートコレクション
2-19	Interexcavation #20				家住慧路氏蔵
2-20	Interexcavation #21				東京都現代美術館
3	Constellation	2018-21	シルバーインク、土、アクリル、墨汁・キャンバス		
3-1	Constellation #23	2018		264×862	個人蔵
3-2	Constellation #41	2020		227.3×181.8×4	高橋龍太郎コレクション
3-3	Constellation #42	2020		227.3×181.8×4	
3-4	Constellation #43	2020		227.3×181.8×4	
3-5	Constellation #44	2020		227.3×181.8×4	rin art association
3-6	Constellation #45	2021		227.3×181.8×4	
3-7	Constellation #52	2021		227.3×181.8×4	
3-8	Constellation #53	2021		227.3×181.8×4	
3-9	Constellation #54	2021		227.3×181.8×4	
4	隕石が書く(S/S) #1～12	2023	溶岩(ボルト止め)、シルバーインク、土、アクリル・キャンバス	各73×73×9	
5	隕石が書く(S/M) #1～22	2023	溶岩(ボルト止め)、シルバーインク、土、アクリル・キャンバス	各117×117×9	
6	隕石が書く(S/L) #1～6	2023	溶岩(ボルト止め)、シルバーインク、土、アクリル・キャンバス	各175×175×9	
7	観音山古墳の印象	2023	溶岩、ワイヤー、シルバーインク・壁	—	
8	自然のマーカ	2023	木の枝、シルバーインク・紙	—	
9	白老セッション	2022	シングルチャンネルビデオ	13分20秒	

※所蔵先の記載のないものは作家蔵

■図録 B5変形 (25.5×18.0cm) 71頁

内容：ごあいさつ

生命の記号／ボニー・マランカ

図版 (解説編集／田中龍也)

無限とコンタクトするドローイング／栗本高行

作家略歴

会場マップ

出品リスト

監修：群馬県立近代美術館

写真：陳信璋、神宮巨樹

執筆：ボニー・マランカ、栗本高行

翻訳：ベンジャー桂、木下哲夫

デザイン：須山悠里

編集：中村水絵 (HeHe)、田中龍也

発行：Drawing Tube

印刷・製本：株式会社八紘美術

■ポスター B2

■ちらし A3変形二つ折り

■出品リスト・作品解説 A4判 8ページ

■パネル

あいさつ・謝辞 (各75×60cm)

■主要関連記事

【新聞等】

- | | | |
|------|--------|-------------------------------|
| 上毛新聞 | 5.9.17 | 来場者前で「線」表現 鈴木ヒラクさん近美で個展 (長部遥) |
| | 10.2 | 遺跡からアート“発掘”ドローイングなど73点 |

【定期刊行物】

すばる 第45巻第12号

5.11.6 見えないものを引き出す線 (鷺田めるろ)〈プレイヤード | 美術〉

群馬県立近代美術館友の会会報 森からの便り

2023年9月 アーティスト 鈴木ヒラク
〈作家が語る〉

美術館ニュースNo.192

4.1 鈴木ヒラク スタジオ訪問記
(田中龍也)〈Topics〉

美術館ニュースNo.194

10.1 〈展覧会紹介〉

■放送

TOKYO MX TV 6.1.3、10、17 〈POST-FAKE〉

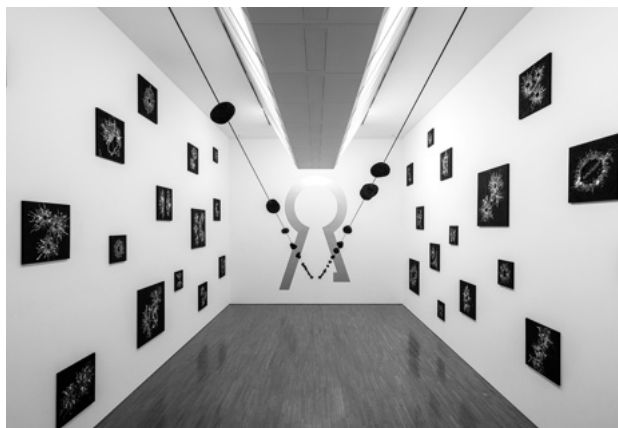
■関連事業

ライブドローイング+トーク 9.16

クロストーク 11.4 鷺田めるろ (十和田市現代美術館館長)×鈴木ヒラク

ライブドローイング 12.2 ゲスト:FUJI|||||||TA (サウンドアーティスト)

学芸員による作品解説会 10.8、11.8



撮影：神宮巨樹 (2点とも)

2 長谷川潔 銅版画の世界 自然をみつめるまなざし

会 期 令和6年3月2日(土)～4月7日(日)
会 場 展示室1
主 催 群馬県立近代美術館
観 覧 料 一般300(240)円／大高生150(120)円
()内は20名以上の団体料金

長谷川潔(1891-1980)は、20世紀の版画史にその名を刻む銅版画家である。青年時代を大正期に過ごし、日本の創作版画の草創を担った長谷川は1918年に銅版画技法習得のためフランスへと渡り、以後帰国することなく、さまざまな銅版画の技法で制作を続けた。とりわけ、19世紀の写真の登場以降廃れていた銅版画技法マニエール・ノワール(メゾチント)を再興した功績は国際的に高く評価されている。マニエール・ノワールは、油絵のモノクローム複製をつくるのに適した技法として18世紀から19世紀前半にかけて隆盛を見るが、写真が発明されると衰退し、長谷川が渡仏した頃には幻の技法となっていた。長谷川はこの技法を複製画ではなく、芸術的に独立した版画に用い、新たな表現を切り拓いた。自然の神秘をみつめる精緻な観察眼と、研ぎ澄まされた描写力が結実した長谷川の銅版画世界は、静謐で深遠な空気に満ちている。

本展は、鉛筆デッサンや制作段階の試し刷り、渡仏前の木版画などを含む長谷川潔の作品群が当館に一括して寄託されたことを機に開催したものである。この優れた個人コレクションの全貌を紹介する初めての展覧会となる本展では、当館所蔵作品を加えた115点を5章に分け、長谷川の画業の展開を辿った。

1章「版画家としての出発」では長谷川が1918年に渡仏する前に制作した木版画を取り上げた。2章「渡仏後の研鑽」では渡仏した直後の1920年代の銅版画作品、3章「フランス画壇への登場」では長谷川がフランス画壇でも高く評価されるようになった1930年代から40年代の作品、4章「大戦下の苦難と神秘への志向」では大戦下のパリで在外邦人として困難な生活を送るなかで制作された作品を紹介した。そして、最終章となる5章「長谷川潔芸術の到達点—マニエール・ノワール」では1958年以降、齢70歳を目前にした頃から10年余りの間に制作したマニエール・ノワール作品群を展示した。



長谷川 潔 銅版画の世界
自然をみつめるまなざし

2024年3月2日|土|—4月7日|日

開館時間：午退9時30分—午後3時(入館は午後4時30分まで)
休 日：毎週月曜日
観 覧 料：一般300円(240円)、大高生150円(120円)
●1)は20名以上の団体割引料金 ●中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方(お一人お一人)は無料
●オンライン展示(2階展示室)は別途工券の購入が必要となります。

主 催：群馬県立近代美術館

群馬県立近代美術館 〒370-1293 高崎市鏡野町990-1
Tel. 027-346-5560 Fax. 027-346-4054
THE MUSEUM OF MODERN ART, GUNMA <https://momag.pref.gunma.jp/>



ポスター

出品目録

No.	作品名	制作年	技法	サイズ (cm)	備考
1章 版画家としての出発					
1	運河 (試刷、未完成)	1914	板目木版	20.0×24.5	
2	丘上の牛 (大島)	1914	板目木版	29.0×34.5	
3	丘上の牛 (大島)	1914	板目木版	23.0×30.0	
4	海辺の小屋	1915	板目木版	23.5×28.0	
5	海岸の帆船 (小笠原島)	1916	板目木版	24.0×26.2	
6	洋人の庭	1916	板目木版	24.0×29.7	
7	僧院の畑	1916	板目木版	19.2×28.2	
8	若い女の顔	1916	板目木版 (紺紙金摺)	28.5×23.0	
9	イヴ	1918	板目木版	23.5×19.5	
2章 渡仏後の研鑽					
10	旅回りのサーカスの女	1922	エッチング	18.0×13.0	
11	小さな教会	1922	エッチング	14.2×18.0	
12	カーニュへの道	1923	エッチング	21.7×26.7	
13	シャイイの積藁	1923	エッチング	24.0×33.0	
14	モンティニイの教会	1923	エッチング、ドライポイント	38.0×46.0	
15	アルルのはね橋	1923	エッチング	18.0×34.5	
16	ヴァロリス風景	1923	エッチング、ドライポイント	20.0×26.0	
17	カーニュ 風景	1924	エッチング、ドライポイント	10.0×19.0	
18	コント風景	1924	ドライポイント	33.0×47.0	
19	家の群	1924	ドライポイント	47.5×65.0	
20	サン・メームの村	1924	ドライポイント	47.0×64.5	
21	丘上の教会 (サン・メーム)	1924	ドライポイント	47.0×65.0	
22	風景 (ペリュイ村)	1925	ドライポイント	47.0×65.0	
23	シャトー・アルヌーの村 (試刷)	1925	ドライポイント	47.0×64.5	
24	シャトー・アルヌーの村	1925	ドライポイント	46.5×64.5	
25	髪を結う女	1924	ドライポイント	64.0×46.8	
26	夢	1925	ドライポイント	21.9×28.0	
27	坐る水浴の女	1926	ドライポイント	29.2×21.7	
28	希望 (若い女の像, 星, 花)	1926	ドライポイント	18.0×13.0	
29	海の星 (ひとで)	1926	ドライポイント	64.5×46.5	
30	草花	1925	ドライポイント	24.7×21.7	
31	花	1926	ドライポイント	26.2×20.8	
32	花束	1926	ドライポイント	64.5×46.0	
33	金魚鉢の中の小鳥	1927	ドライポイント	27.9×20.5	
34	小さな金魚鉢	1928	ドライポイント	26.3×20.2	
35	バラ	1928	ドライポイント	27.8×20.0	
36	クリスマスの本靴	1929	ドライポイント	20.5×26.5	
37	風景 (グラス)	1925	メゾチント	16.0×25.7	
38	教会への道 (ロエの村) [ロエの村道]	1928	メゾチント	19.2×29.5	
39	バス・アルプスの風景 (アントルヴォー)	1928	ドライポイント	21.8×28.5	
40	農家と雲	1929	ドライポイント	15.5×29.5	
3章 フランス画壇への登場					
41	丘の上の古村 (サン・メーム)	1930	メゾチント	16.6×28.8	
42	林檎と葡萄	1931	メゾチント	16.4×28.2	
43	エッフェル塔と雲	1933	エングレーヴィング	17.5×30.3	
44	マルキシャンヌの村 (東ピレネーの村)	1934	ドライポイント	17.5×30.2	
45	伊太利アッシジのサンタ・キアラ古寺	1935	ドライポイント	18.0×29.6	
46	ヴォルクス風景	1935	ドライポイント	21.0×27.9	

No.	作品名	制作年	技法	サイズ (cm)	備考
47	ソリエスの村	1935	ドライポイント	21.4×27.9	
48	サン・ポール・ド・ヴァンスの風景	1936	ドライポイント	22.0×28.9	
49	サン・ジミニャーノ風景 (イタリア)	1937	ドライポイント	22.9×31.8	
50	ジゴンダ古村の礼拝堂	1938	ドライポイント	21.0×30.0	
51	丘	1939	ドライポイント	20.0×34.0	
52	村の教会 [村の礼拝堂]	1939	ドライポイント	21.0×30.9	
53	アネモネ	1930	ドライポイント	23.9×18.7	
54	野の花、小さなコクリコ	1930	ドライポイント	23.8×19.0	
55	野の枯草	1931	ドライポイント	25.0×19.6	
56	酒盃に挿した野花	1931	ドライポイント	25.3×20.3	
57	コクリコ、野花 [コップに挿した種子草]	1931	ドライポイント	23.8×18.6	
58	コクリコと野の花 (三つのコクリコ)	1932	ドライポイント	24.5×19.5	
59	ダリア (愛の天使の窓掛) (未完成)	1932	ドライポイント	24.7×20.5	
60	薔薇とハートの1 (試刷)	1932	アクアチント	25.3×19.5	
61	薔薇とハートの1 (未完成)	1932	アクアチント	25.3×19.5	
62	花瓶に挿した野花 (窓辺の草花)	1934	ドライポイント	25.7×20.3	
63	花 (ダリア) [コップのダリア]	1935	メゾチント	24.3×19.2	
64	アネモネ	制作年不詳	ブラシ	26.0×25.5	
65	二つのアネモネ	1934	アクアチント	24.2×19.0	
66	小さなアネモネ	1939	アクアチント、ソフト・グランド・エッチング	19.5×14.7	
67	花瓶に挿したコクリコと種草	1937	エングレーヴィング	25.5×20.0	*
68	花籠の四季の花 日本大使館、歌のプログラム	1935	エングレーヴィング	18.0×12.0	
69	藤、牡丹、アイリス 大統領招宴用メニュー	1938	エングレーヴィング	15.2×10.0	
70	縁側の舞妓 『マリアンヌからゾエまで』の梅子の挿絵	1930頃	リトグラフ	17.7×12.1	
71	聖体を受けたる少女	1938	ドライポイント	27.6×22.0	
4章 大戦下の苦難と神秘への志向					
72	一樹 (ニレの木)	1941	ドライポイント	29.0×21.5	
73	レ・ボウの風景	1941	ドライポイント	22.0×30.0	
74	ヴェヌヴェル風景	1941	ドライポイント	22.0×31.0	
75	ヴェヌヴェルの丘上の古い農家	1942	ドライポイント	22.5×31.5	
76	シャトー・ド・ヴェヌヴェル (試刷)	1941	ドライポイント、鉛筆	18.5×27.2	
77	シャトー・ド・ヴェヌヴェル	1941	ドライポイント	18.5×27.2	
78	コップに挿した野草	1940	エングレーヴィング、ドライポイント	26.3×20.8	
79	野花 (コクリコと矢車草)	1943	エングレーヴィング	27.5×22.0	
80	花 (切子ガラスに挿したアネモネと草花)	1944-45	アクアチント	25.5×18.8	
81	コップに挿した野花 (百日草と昼顔)	1946	エングレーヴィング	22.0×29.5	
82	コップに挿した草花	制作年不詳	鉛筆、水彩	31.0×21.0	
83	グラスの中の花	制作年不詳	鉛筆	36.0×26.7	
84	コップに挿した枯れた野花	1950	エングレーヴィング	28.1×22.8	
85	木の葉の上の魚 (鮎)	1950	エングレーヴィング	18.0×29.3	
86	くりとかたつむり	1950	エングレーヴィング	18.0×29.0	
87	コップに挿した野花 (春)	1951	エングレーヴィング	28.6×23.0	
88	コップに挿した野花 (秋)	1951	エングレーヴィング	28.5×23.2	
89	コップに挿した野草	1953	エングレーヴィング	30.4×23.0	
90	野薊	1953	エッチング	33.0×24.8	
91	林檎樹 [再生したる林檎樹]	1956	エッチング	35.7×25.8	
92	置き忘れられた人形 (人形とすぐり)	1953	エングレーヴィング	32.0×23.8	
93	窓上の人形	1954	エッチング、エングレーヴィング	33.7×27.3	
94	古代羅馬の燈台 (フレジュス村、アウグストゥスの角燈)	1952	メゾチント	20.5×30.5	

No.	作品名	制作年	技法	サイズ (cm)	備考
95	野辺小禽	1957	エンブレイ・ヴィンゲ	23.8×33.3	

5章 長谷川芸術の到達点—マニエール・ノワール

96	静物	1958	メゾチント	27.3×22.0	
97	瓶の秋草 (ピエ・ド・シェーヴル)	1958	メゾチント	35.4×25.7	
98	小鳥と落葉	1959	メゾチント	26.0×35.5	
99	木の根と小鳥 (コドフロア・アンゲルマン版)	1960	メゾチント	19.8×29.2	
100	小鳥と二つの枯葉	1964	メゾチント	26.5×36.0	
101	小鳥と胡蝶	1961	メゾチント	26.2×36.0	
102	飼い馴らされた小鳥 (西洋将棋など)	1962	メゾチント	35.4×26.3	
103	飼い馴らされた小鳥 (草花と種子)	1962	メゾチント	36.2×26.5	
104	チューリップと三蝶	1960	メゾチント	35.7×26.2	
105	飾り棚のオブジェ	1962	メゾチント	26.7×35.8	
106	砂漠の薔薇と海の星	1964	メゾチント	26.4×35.6	
107	薔薇と果実 [花と果実]	1963	メゾチント	26.6×36.0	
108	酒盃の草花	1963	メゾチント	26.7×35.7	
109	花	1963	メゾチント	25.0×19.6	
110	コップに挿したアンコリの花 (過去・現在・未来)	1965	メゾチント	35.6×26.5	
111	メキシコの種子草 静物画	1967	メゾチント	35.7×26.5	
112	時 静物画	1969	メゾチント	26.4×35.4	
113	アカリヨムの前の草花 (草花とアカリヨム)	1969	メゾチント	26.4×35.4	
114	水浴の少女と魚	制作年不詳	鉛筆、水彩	18.0×10.5	
115	水浴の少女と魚	1971	ドライポイント	20.8×13.9	*

*は群馬県立近代美術館蔵、それ以外は全て個人蔵 (群馬県立近代美術館寄託)

■ポスター B2

■ち ら し A4

■パ ネ ル

あいさつパネル (120×90cm) 1枚、章解説 (120×90cm) 5枚、
年表パネル (90×120cm) 1枚、技法解説パネル (90×120cm)
1枚、作品解説キャプション (13×22cm) 25枚

■主要関連記事

【新聞等】

朝日新聞	6.2.27	〈美術館博物館〉
	3.5	〈美術館博物館〉
上毛新聞TAKATAI		
	3.8	「銅版画など115点 長谷川潔を紹介」
上毛新聞	3.11	「近代美術館特別展 長谷川潔 銅版画の世界 線や濃淡 繊細な 表現」
桐生タイムス	2.9	「自然の神秘 銅版画で表現 県 立近美で長谷川潔の企画展」
タウンぐんま	3.15	〈Event Information〉

【定期刊行物】

美術館ニュースNo.194	5.10.1	〈次回展覧会案内〉
美術館ニュースNo.195	6.1.1	〈展覧会紹介〉
ぐんま広報	2.4、3.3	〈美術館・博物館などの催し〉
美術の窓	3.1	〈展覧会紹介〉

■放送

NHK	6.3.17	〈日曜美術館 アートシーン〉
群馬テレビ	3.14	〈県政インフォメーション〉
エフエム群馬	3.14	〈ワイグルブレフ〉
ラジオ高崎	3.6	〈群馬県からのお知らせ〉

■関連事業

記念講演会	1	6.3.3	「長谷川潔の芸術—日本とフランスの間で」 講師：猿渡紀代子 (美術史家・元 横浜美術館学芸員)
	2	3.23	「神秘と神智の謎と芸術—長谷川 潔のいる位置と世界」 講師：岡部昌幸 (当館特別館長・ 帝京大学名誉教授)
学芸員による作品解説会		6.3.16、3.27	



第1章



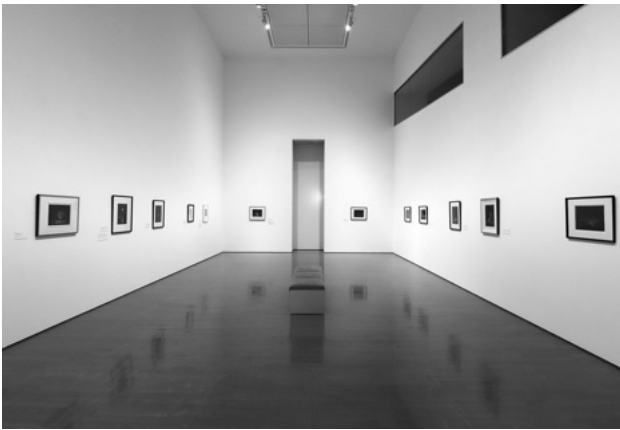
第2章



第3章



第4章



第5章

コレクション展示の記録

※令和5年12月20日から令和6年3月1日まで施設改修工事のため休館

展示室2

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	備考
第 I 期 日本と西洋の近代美術 I 令和5年4月22日(土)～6月18日(日)						
特集〈湯浅一郎滞欧期スケッチ〉						
1	湯浅一郎	リュクサンブール公園其一 (面を持つ銅像)	1909 (明42)頃	油彩・カンヴァスボード	14.0×21.9	
2		リュクサンブール公園其二 (鹿の彫刻)	1909 (明42)頃	油彩・板	13.7×22.0	
3		リュクサンブール公園其三 (泉水の辺)	1909 (明42)頃	油彩・板	13.7×22.0	
4		公園で語らう女性たち	1909 (明42)頃	油彩・板	13.8×22.0	
5		円形広場	1909 (明42)頃	油彩・板	14.0×21.0	
6		ヤシの木のある公園	1909 (明42)頃	油彩・板	14.0×22.0	
7		聖堂前の広場	1909 (明42)頃	油彩・板	22.0×13.8	
8		橋とノートルダム寺院	1909 (明42)頃	油彩・カンヴァスボード	14.0×21.8	
9		セーヌ河 (ノートルダムを望む)	1909 (明42)頃	油彩・板	14.0×21.1	
西洋近代〈絵画〉						
10	ピエール＝オーギュスト・ルノワール	読書するふたり	1877	油彩・カンヴァス	32.4×24.8	
11	カミーユ・ピサロ	エラニーの教会と農園	1884	油彩・カンヴァス	54.5×63.0	
12	クロード・モネ	ジュフォス、夕方の印象	1884	油彩・カンヴァス	59.5×81.0	群馬県企業局寄託作品
13		睡蓮	1914-17	油彩・カンヴァス	131.5×95.5	群馬県企業局寄託作品
14	オディロン・ルドン	ベガサスにのるミューズ	1907-10	油彩・カンヴァス	73.5×54.4	
15	エドヴァルト・ムンク	オースゴールストランの夏	1889頃	油彩・板	26.5×34.8	
16	モーリス・ド・ヴラマンク	わかれ道	1917	油彩・カンヴァス	26.8×35.5	
17	アルベール・マルケ	赤い背景の裸婦	1913	油彩・ボード	46.0×65.0	
18	ジョルジュ・ルオー	秋	1938	油彩・カンヴァス	65.5×102.5	
19	マルク・シャガール	世界の外のどこへでも	1915-19	油彩・カンヴァスに裏打ちされたカルトン	61.0×47.3	群馬県企業局寄託作品
20	マリー・ローランサン	ブルドッグを抱いた女	1914	油彩・カンヴァス	92.0×73.0	
21	レオナール・フジタ	人形を抱く少女	1923	油彩・カンヴァス	73.4×54.3	
22	ジュール・パスキン	丸椅子に座る長い髪の娘	1924	油彩・カンヴァス	81.0×65.0	
23	ラウル・デュフィ	ポール・ヴィヤール博士の家族	1927-33頃	油彩・カンヴァス	114.5×110.0	
24	パブロ・ピカソ	魚、瓶、コンポート皿 (小さなキッチン)	1922	油彩・カンヴァス	81.0×99.5	
西洋近代〈彫刻〉						
25	オーギュスト・ロダン	彫刻家とミューズ	1895-97 (1907鑄造)	ブロンズ	64.7×53.7×53.7	
26	アリスティード・マイヨール	ヴィーナスの誕生	1918 (1992鑄造)	ブロンズ	120.0×53.0×32.0	
日本近代〈絵画〉						
27	久米桂一郎	ブレハの海	1892(明25)	油彩・カンヴァス	44.0×60.2	
28	湯浅一郎	画室	1901-03 (明34-36)	油彩・カンヴァス	159.5×106.5	
29		徒然	1904(明37)	油彩・カンヴァス	133.0×68.5	
30	安井曾太郎	足を洗う女	1913(大2)	油彩・カンヴァス	116.0×88.7	
31	横堀角次郎	静物	1922(大11)	油彩・カンヴァス	41.0×31.9	

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	備考
32	岸田劉生	五月の砂道	1918(大7)	油彩・カンヴァス	31.0×40.9	
33	中川一政	監獄裏の落日	1919(大8)	油彩・カンヴァス	45.6×53.0	
34	高島達四郎	婦人像	1927(昭2)	油彩・カンヴァス	92.0×73.1	
35	前田寛治	姉妹	1927(昭2)	油彩・カンヴァス	145.7×97.4	
36	国吉康雄	乳母と子供	1924(大13)	油彩・カンヴァス	61.3×51.5	
37	長谷川利行	少女	1935(昭10)	油彩・カンヴァス	53.0×41.0	
38	福沢一郎	人間嫌い	1928(昭3)	油彩・カンヴァス	71.2×51.9	
39		無敵の力	1930(昭5)	油彩・カンヴァス	90.9×116.7	
40		他人の恋	1930(昭5)	油彩・カンヴァス	162.1×130.3	
41	山口 薫	地の星「娘と花」	1937-47 (昭12-22)	油彩・カンヴァス	38.0×45.6	
42		水	1941(昭16)	油彩・カンヴァス	79.8×99.8	
43		花子誕生	1951(昭26)	油彩・カンヴァス	100.0×80.0	
44	岡 鹿之助	段丘	1978(昭53)	油彩・カンヴァス	80.5×65.0	寄託作品
45	南城一夫	雨のまんじゅしやげ	1955(昭30)	油彩・カンヴァス	72.8×60.6	
46		仔山羊のくる部屋	1969(昭44)	油彩・カンヴァス	91.0×65.5	
47		奏人	1970(昭45)	油彩・カンヴァス	46.0×61.0	
48	牛島憲之	五月の水門	1950(昭25)	油彩・カンヴァス	72.5×91.0	
49	難波田龍起	五月の詩	1961(昭36)	エナメル・カンヴァス	91.1×116.8	
50	鶴岡政男	落下する人体	1954(昭29)	油彩・カンヴァス	91.0×72.5	
51		雨の夜	1959(昭34)	油彩・カンヴァス	261.3×162.4	
52		黒いベッド	1966(昭41)	油彩・カンヴァス	162.1×112.1	
53		クラゲ	1967(昭42)	油彩・カンヴァス	130.5×162.5	
54		涙	1968(昭43)	油彩・カンヴァス	193.9×130.3	
55	オノサト・トシノブ	無題	1959(昭34)	油彩・カンヴァス	116.8×90.8	
56		作品	1964(昭39)	油彩・カンヴァス	130.0×162.1	

第Ⅱ期 日本と西洋の近代美術Ⅱ 7月8日(土)～8月27日(日)

特集〈昭和初期の人と風景〉

1	湯浅一郎	室内婦人	1930(昭5)	油彩・カンヴァス	130.5×97.5	
2		黄色い花(つつじ)	1926-28 (大15-昭3)	油彩・板	45.5×38.3	
3		秋の土手	1930(昭5)	油彩・板	37.6×45.7	
4		桐の花咲く風景	1930 (昭5)頃	油彩・板	37.5×45.7	
5		奈良風景	1930(昭5)	油彩・板	37.9×45.2	
6	中村節也	泥舟	1927(昭2)	油彩・カンヴァス	60.6×72.8	
7	斎藤始雄	草上	1928(昭3)	油彩・カンヴァス	80.4×116.5	
8	鍋井克之	南紀風景	1933(昭8)	油彩・カンヴァス	21.2×27.2	
9	横堀角次郎	早春	1934(昭9)	油彩・カンヴァス	53.0×73.0	
10	塚本 茂	多喜像	1934(昭9)	油彩・カンヴァス	116.5×91.0	
11	山口 薫	風景	1927 (昭2)頃	油彩・カンヴァス	53.0×65.2	
12	山口 薫	半蔵門附近	1927 (昭2)頃	油彩・カンヴァス	53.0×65.2	
13	山口 薫	動物園の風景	1928 (昭3)頃	油彩・カンヴァス	50.0×61.0	
14	山口 薫	和服の女	1934(昭9)	油彩・カンヴァス	80.0×53.0	

西洋近代〈絵画〉

15	ピエール＝オーギュスト・ルノワール	読書するふたり	1877	油彩・カンヴァス	32.4×24.8	
16	カミーユ・ピサロ	エラニーの教会と農園	1884	油彩・カンヴァス	54.5×63.0	
17	クロード・モネ	ジュフォス、夕方の印象	1884	油彩・カンヴァス	59.5×81.0	群馬県企業局寄託作品
18		睡蓮	1914-17	油彩・カンヴァス	131.5×95.5	群馬県企業局寄託作品

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	備考
19	オディロン・ルドン	ベガサスにのるミューズ	190710	油彩・カンヴァス	73.5×54.4	
20	エドヴァルト・ムンク	オースゴールストランの夏	1889頃	油彩・板	26.5×34.8	
21	モーリス・ド・ヴラマンク	わかれ道	1917	油彩・カンヴァス	26.8×35.5	
22	アルベール・マルケ	赤い背景の裸婦	1913	油彩・ボード	46.0×65.0	
23	ジョルジュ・ルオー	秋	1938	油彩・カンヴァス	65.5×102.5	
24	マルク・シャガール	世界の外のどこへでも	1915-19	油彩・カンヴァスに裏打ちされたカルトン	61.0×47.3	群馬県企業局寄託作品
25	マリー・ローランサン	少女とエアデール=テリア	1937	油彩・カンヴァス	55.0×46.0	
26	レオナルド・フジタ	人形を抱く少女	1923	油彩・カンヴァス	73.4×54.3	
27	ジュール・パスキン	丸椅子に座る長い髪の娘	1924	油彩・カンヴァス	81.0×65.0	
28	ラウル・デュフィ	ポール・ヴィヤール博士の家族	1927-33頃	油彩・カンヴァス	114.5×110.0	
29	パブロ・ピカソ	魚、瓶、コンポート皿 (小さなキッチン)	1922	油彩・カンヴァス	81.0×99.5	

西洋近代〈彫刻〉

30	オーギュスト・ロダン	彫刻家とミューズ	1895-97 (1907鑄造)	ブロンズ	64.7×53.7× 53.7	
31	アリスティード・マイヨール	ヴィーナスの誕生	1918 (1992鑄造)	ブロンズ	120.0×53.0× 32.0	

特別公開〈ピカソ《ゲルニカ (タピスリ)》〉

32	パブロ・ピカソ (原画) ジャクリース・ド・ラ・ボーム =デュルバック (織り)	ゲルニカ (タピスリ)	1983 (原 画は1937)	タピスリ・ウール、綿	328.0×680.0	展示期間: 8/1 ~
----	--	-------------	--------------------	------------	-------------	-------------

日本近代〈絵画〉

33	久米桂一郎	ブレハの海	1892(明25)	油彩・カンヴァス	44.0×60.2	
34	湯浅一郎	徒然	1904(明37)	油彩・カンヴァス	133.0×68.5	
35	安井曾太郎	足を洗う女	1913(大2)	油彩・カンヴァス	116.0×88.7	
36	横堀角次郎	細き道	1917(大6)	油彩・板	30.2×30.7	
37	岸田劉生	五月の砂道	1918(大7)	油彩・カンヴァス	31.0×40.9	
38	中川一政	監獄裏の落日	1919(大8)	油彩・カンヴァス	45.6×53.0	
39	高島達四郎	婦人像	1927(昭2)	油彩・カンヴァス	92.0×73.1	
40	前田寛治	姉妹	1927(昭2)	油彩・カンヴァス	145.7×97.4	
41	長谷川利行	少女	1935(昭10)	油彩・カンヴァス	53.0×41.0	
42	南城一夫	蓮池の鯉	1956(昭31)	油彩・カンヴァス	72.8×61.0	
43		ひまわり	1965(昭40)	油彩・カンヴァス	53.0×46.0	
44		仔山羊のくる部屋	1969(昭44)	油彩・カンヴァス	91.0×65.5	
45	山口 薫	歳月の記録	1956(昭31)	油彩・カンヴァス	100.0×80.3	
46		しのぶ鎧	1967(昭42)	油彩・カンヴァス	91.0×72.5	
47		若い月の踊り	1968(昭43)	油彩・カンヴァス	100.0×80.2	
48	オノサト・トシノブ	黄色い二つの丸	1975(昭50)	油彩・カンヴァス	45.2×53.0	
49	福沢一郎	敗戦群像	1948(昭23)	油彩・カンヴァス	193.9×259.1	
50		滅びの民	1973(昭48)	アクリル・カンヴァス (3点組)	各181.8×228.4	展示期間: ~ 7/30
51	鶴岡政男	夜の群像	1949(昭24)	油彩・板	121.0×154.0	
52		落下する人体	1954(昭29)	油彩・カンヴァス	91.0×72.5	

第Ⅲ期 日本と西洋の近代美術Ⅲ 9月16日(土)~12月19日(火)

特集1 〈群馬の競創~旧制前橋中学出身の洋画家たち~〉

1	横堀角次郎	細き道	1917(大6)	油彩・板	30.2×30.7	展示期間: ~ 11/12
2		鶴沼風景	1921 (大10)頃	油彩・カンヴァス	38.2×45.5	展示期間: ~ 11/12
3	中村節也	女絵師	1931(昭6)	油彩・カンヴァス	130.3×97.0	展示期間: ~ 11/12
4	清水刀根	黒衣の女	1931(昭6)	油彩・カンヴァス	130.2×97.8	展示期間: ~ 11/12
5	小林真二	自画像	1939(昭14)	油彩・板	117.0×90.8	展示期間: ~ 11/12

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	備考
6	南城一夫	風景	1939(昭14)	油彩・カンヴァス	100.0×80.3	展示期間：～ 11/12
7		雨のまんじゅしゃげ	1955(昭30)	油彩・カンヴァス	72.8×60.6	展示期間：～ 11/12
8		奏人	1970(昭45)	油彩・カンヴァス	46.0×61.0	展示期間：～ 11/12
9	川口精六	オフェリア	1976(昭51)	油彩・板	182.2×181.7	展示期間：～ 11/12
10	塚本 茂	多喜像	1934(昭9)	油彩・カンヴァス	116.5×91.0	展示期間：～ 11/12
11		千人針を縫う	1943(昭18)	油彩・カンヴァス	117.0×90.0	展示期間：～ 11/12
12		桜 (ポルトガルの壺)		油彩・カンヴァス	41.0×27.3	展示期間：～ 11/12
13		読譜	1934(昭9)	油彩・カンヴァス	145.5×195.7	展示期間：～ 11/12

日本近代〈絵画〉

14	久米桂一郎	ブレハの海	1892(明25)	油彩・カンヴァス	44.0×60.2	
15	湯浅一郎	画室	1901-03 (明34-36)	油彩・カンヴァス	159.5×106.5	
16		パリのアトリエにて	1909(明42)	油彩・カンヴァス	61.0×61.0	
17	安井曾太郎	足を洗う女	1913(大2)	油彩・カンヴァス	116.0×88.7	
18	岸田劉生	五月の砂道	1918(大7)	油彩・カンヴァス	31.0×40.9	
19	中川一政	監獄裏の落日	1919(大8)	油彩・カンヴァス	45.6×53.0	
20	佐伯祐三	パリ郊外風景	1924 (大13)頃	油彩・カンヴァス	60.5×72.8	
21	高島達四郎	婦人像	1927(昭2)	油彩・カンヴァス	92.0×73.1	
22	前田寛治	姉妹	1927(昭2)	油彩・カンヴァス	145.7×97.4	
23	長谷川利行	少女	1935(昭10)	油彩・カンヴァス	53.0×41.0	
24	福沢一郎	嘘発見器	1930(昭5)	油彩・カンヴァス	72.7×100.0	
25		題不詳	1946 (昭21)頃	油彩・カンヴァス	100.6×73.3	
26		顔	1955(昭30)	油彩・カンヴァス	116.7×91.3	
27	オノサト・トシノブ	二つの円	1957(昭32)	油彩・カンヴァス	60.6×72.8	
28		雷	1976(昭51)	油彩・カンヴァス	100.0×100.0	

特集2〈夜と月〉

29	福沢一郎	メキシコの花火	1956(昭31)	油彩・カンヴァス	116.7×90.9	
30	近藤嘉男	月	1974(昭49)	油彩・カンヴァス	112.5×162.2	
31	仲田好江	夜の静物	1965(昭40)	油彩・カンヴァス	97.4×145.5	
32	南城一夫	仔山羊のくる部屋	1969(昭44)	油彩・カンヴァス	91.0×65.5	
33	塚田とほる	月の上を跳ぶ牛のママさん	1967(昭42)	油彩・カンヴァス	100.0×80.3	
34	山口 薫	月と道産子	1967(昭42)	油彩・カンヴァス	100.0×80.5	
35		若い月の踊り	1968(昭43)	油彩・カンヴァス	100.0×80.2	
36	鶴岡政男	夜の群像	1949(昭24)	油彩・板	121.0×154.0	
37		雨の夜	1959(昭34)	油彩・カンヴァス	261.3×162.4	

西洋近代〈絵画〉

38	ピエール＝オーギュスト・ルノワール	読書するふたり	1877	油彩・カンヴァス	32.4×24.8	
39	カミーユ・ピサロ	エラニーの教会と農園	1884	油彩・カンヴァス	54.5×63.0	
40	クロード・モネ	ジュフォス、夕方の印象	1884	油彩・カンヴァス	59.5×81.0	群馬県企業局寄託作品
41		睡蓮	1914-17	油彩・カンヴァス	131.5×95.5	群馬県企業局寄託作品
42	オディロン・ルドン	ベガサスにのるミューズ	1907-10	油彩・カンヴァス	73.5×54.4	
43	エドヴァルト・ムンク	オースゴールストランの夏	1889頃	油彩・板	26.5×34.8	
44	モーリス・ド・ヴラマンク	わかれ道	1917	油彩・カンヴァス	26.8×35.5	
45	アルベール・マルケ	赤い背景の裸婦	1913	油彩・ボード	46.0×65.0	
46	ジョルジュ・ルオー	秋	1938	油彩・カンヴァス	65.5×102.5	
47	マルク・シャガール	世界の外のどこへでも	1915-19	油彩・カンヴァスに裏打ちされたカルトン	61.0×47.3	群馬県企業局寄託作品
48	マリー・ローランサン	少女とエアデール＝テリア	1937	油彩・カンヴァス	55.0×46.0	
49	ジュール・パスキン	丸椅子に座る長い髪の娘		油彩・カンヴァス	81.0×65.0	
50	ラウル・デュフィ	ポール・ヴィヤール博士の家族	1927-33頃	油彩・カンヴァス	114.5×110.0	

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	備考
51	パブロ・ピカソ	魚、瓶、コンポート皿 (小さなキッチン)	1922	油彩・カンヴァス	81.0×99.5	

西洋近代〈彫刻〉

52	オーギュスト・ロダン	彫刻家とミュージ	1895-97 (1907鑄造)	ブロンズ	64.7×53.7×53.7	
53	アリスティード・マイヨール	ヴィーナスの誕生	1918 (1992鑄造)	ブロンズ	120.0×53.0×32.0	



展示室2 第Ⅱ期 日本と西洋の近代美術Ⅱ



展示室2 第Ⅲ期 日本と西洋の近代美術Ⅲ

展示室3

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	備考
第Ⅰ期 現代の美術Ⅰ 2023年4月22日(土)～6月18日(日)						
1	川俣 正	デストロイド・チャーチ・プロジェクト (カッセル、ドクメンタ8)、プラン・ドローイング	1986	アクリル、鉛筆、バルサ材、合板	243.0×366.0×10.0	寄託作品
2		デストロイド・チャーチ・プロジェクト (カッセル、ドクメンタ8)、プラン・モデル	1986	バルサ材、合板	91.8×221.7×130.0	寄託作品
3		デストロイド・チャーチ・プロジェクト (カッセル、ドクメンタ8) フォト・ドキュメント	1987	カラー写真・パネル	125.0×200.0	寄託作品
4		プロジェクト・ファヴェーラ・サンパウロ、プラン	1988	バルサ材、段ボール、ビニールシート・板	220.3×259.8×12.5	寄託作品
5	上田 薫	なま玉子	1975	油彩・カンヴァス	162.0×130.5	
6	福田美蘭	Still Life	1991	アクリル・パネル、額縁	19.1×110.7	
7		リングとオレンジ	2000	デジタルグラフィック印刷、油性マジック・布、額	94.3×113.3	
8		道頓堀	2001	アクリル・パネル、蝶番	227.2×181.8	
9	ダミアン・ハースト	政府への賛辞、居場所	2006	蝶、家庭用ペンキ・カンヴァス	213.4×182.9	寄託作品
10	草間彌生	オブジェ (ハイヒール)	1976	詰物入り縫製布、彩色、ラメ、靴	右： 21.0×23.0×8.0 左： 22.0×23.0×14.0	寄託作品
11		Pumpkins	1982	ペイント・木	57.5×30.3×26.3	寄託作品
12		レベティティブ・ヴィジョン―ファルス・ボート	2000	詰め物入り縫製布、ゴム、プラスチック	ボート： 70.0×330.0×145.0 オール： 200.0×20.0×20.0	寄託作品
13	加藤 泉	Untitled	2017	木、ソフトヴィニル、アクリル絵具	128.0×24.0×32.0	寄託作品

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	備考
14	菅井 汲	天	1960	油彩・カンヴァス	162.0×130.0	
15	李 禹煥	風より	1986	油彩、岩絵具・カンヴァス	218.0×291.0	
16	榎倉康二	干渉 (STORY- No.45)	1992	アクリル塗料、アクリル絵具、木材・綿布	197×290.9×7.5	寄託作品

第Ⅱ期 現代の美術Ⅱ 7月8日(土)～8月27日(日)

1	田淵安一	レ・モナド	1964	油彩・カンヴァス	145.0×300.0	寄託作品
2	堂本尚郎	作品 (1960-19)	1960	油彩・カンヴァス	100.0×100.0	寄託作品
3		無題	1961	油彩・カンヴァス	115.5×89.0	寄託作品
4	今井俊満	東方の光	1963	油彩・カンヴァス	194.5×259.5	
5	菅井 汲	紫の鬼	1962	油彩・カンヴァス	195.0×130.0	寄託作品
6		日蝕	1965	油彩・カンヴァス	200.0×160.0	寄託作品
7		オートルート911S	1967	油彩・カンヴァス	160.0×200.0	寄託作品
8		五月	1987	油彩、アクリル・カンヴァス	197.0×197.0	寄託作品
9	大竹伸朗	腐肉	1985	油彩、オイルスティック、木、タール、コンクリート用ボンド・木製パネル	194.0×186.0	寄託作品
10	中村一美	90717 60-C opened (紫烈風)	1990	油彩・綿布	182.6×364.5	寄託作品
11	白川昌生	Sからの光	1990	コンテ・紙、額装	192.0×193.0	寄託作品
12		Uからの光	1990	コンテ・紙、額装	192.0×194.0	寄託作品
13	丸山直文	joule	1991	アクリル・綿布	259.0×183.0	寄託作品
14	黒川弘毅	Spartoi No.45	1997	ブロンズ	38.5×17.5×9.0	寄託作品
15		Spartoi No.47	1999-2000	ブロンズ	29.0×82.0×28.0	寄託作品
16		Spartoi No.48	1999-2000	ブロンズ	21.0×82.0×35.5	寄託作品
17		Spartoi No.49	1999-2000	ブロンズ	59.5×22×20.5	寄託作品
18	浅井裕介	泥箱・天草の水脈	2011	阿蘇神社の土、熊本城周辺の土、幣立神社周辺の土、天草の土4種、秋吉台国際芸術村裏山の土、湧水、木箱、紙ほか	90.0×90.0×90.0	寄託作品
19		泥箱・阿蘇の熊	2011	阿蘇の土、阿蘇神社の土、秋吉台国際芸術村裏山の土、天草の土、幣立神社周辺の土、湧水、木箱、紙ほか	90.0×90.0×90.0	寄託作品
20	角田仁一	あ. ん.	1966	油彩・パネル	91.5×76.2	
21	砂盃富男	作品Ⅱ	1965	油彩・パネル	162.5×363.8×117.6	
22	加藤アキラ	REPORT EA 3-25	1966	油彩、アルミニウム、ワイヤーブラシ、塩化ビニル板・板	90.0×90.0×6.5	
23		Space Compression	1968	アルミニウム・板	75.0×131.8×1.4	
24	三好秀憲	ブラカードアート	1968	油彩・カンヴァス、パネル、アクリル板	122.0×120.0×28.0	
25	金子英彦	自画像	1968頃	シルクスクリーン、アクリル・カンヴァス	130.3×130.3	

第Ⅲ期 現代の美術Ⅲ 9月16日(土)～11月12日(日)

1	上田 薫	なま玉子	1975	油彩・カンヴァス	162.0×130.5	
2	江口 週	聖なる舟	1991	木 (樟)	72.0×203.0×70.0	
3	深井 隆	風景-悠久なる一日-	1980	木	125.0×170.0×85.0	

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	備考
4	青木世一	セザンヌ・キット	1997	アクリル・シナベニヤ合板	198.0×150.0×149.0	
5	奈良美智	Do you believe in Santa Claus?	1995	油彩・カンヴァス	72.7×60.6	寄託作品
6	小林孝亘	夏の記憶	1986-87	アクリル・綿布、パネル	60.0×60.0	寄託作品
7		夏の記憶	1986-87	アクリル・綿布、パネル	74.0×74.0	寄託作品
8		Sole	1997	油彩・カンヴァス	50.0×50.0	寄託作品
9		Cat	2000	油彩・カンヴァス	60.0×80.0	寄託作品
10		Small Death-小さな死	2001	油彩・カンヴァス	75.0×90.0	寄託作品
11		Bungalow (Night)	2003	油彩・カンヴァス	145.5×145.5	寄託作品
12		Camping Car	2008	油彩・カンヴァス	91.0×73.0	寄託作品
13	福田美蘭	Still life	1991	アクリル・パネル、額縁	19.1×110.7	
14		リンゴとオレンジ	2000	デジタルグラフィック印刷、油性マジック、布、額	94.3×113.3	
15		道頓堀	2001	アクリル・パネル、蝶番	227.2×181.8	
16	長谷川 繁	Untitled	2003	アクリル・カンヴァス	65.0×53.0	寄託作品
17		Untitled	2003	アクリル・カンヴァス	60.0×40.0	寄託作品
18		Untitled	2003	アクリル・カンヴァス	66.0×53.0	寄託作品
19		Untitled	2006-07	アクリル・カンヴァス	73.0×61.0	寄託作品
20		Untitled	2007	アクリル・カンヴァス	90.0×73.0	寄託作品
21	大岩オスカル	シャドウキャットとライトラビットの出会い2	1999	油彩・カンヴァス	227.0×222.0	寄託作品
22		ポストモダン建築（ブラックマーケット）	2005	油彩・カンヴァス	227.0×222.0	寄託作品
23		Loft	2006	油彩・カンヴァス	140.0×280.0	寄託作品
24	高橋信行	お座敷	1999	油彩・カンヴァス	130.3×97.0	寄託作品
25		品格	2000	油彩・カンヴァス	91.0×65.2	寄託作品
26		夕風呂	2002	油彩・カンヴァス	91.0×72.8	寄託作品

展示室4

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	備考
第I期 特集ジョルジュ・ルオー 2023年4月22日(土)～5月21日(日)						
	ジョルジュ・ルオー	『ミセレーレ』	1922～27			
1		I われを憐れみたまえ、おん身の 大いなる慈悲によって	1923	フォトグラヴェール、 シュガーアクアチント、 アクアチント、ドライポ イント、バーニッシャー・ 紙	57.8×42.1	
2		II 辱められたるキリスト……	1922	フォトグラヴェール、 シュガーアクアチン ト、アクアチント、ルー レット、ドライポイント、 バーニッシャー、磨き出 し・紙	54.9×40.0	
3		VII われら自ら王と置いて	1923	フォトグラヴェール、 シュガーアクアチン ト、アクアチント、ルー レット、ドライポイント、 バーニッシャー・紙	58.6×41.7	
4		VIII 愛することのいかに甘美しき	1923	フォトグラヴェール、 シュガーアクアチント、 アクアチント、ドライポ イント、バーニッシャー、 磨き出し・紙	57.3×40.9	

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	備考
5		XX 見捨てられた十字架のイエスの下に	1926	フォトグラヴェール、シュガーアクアチント、アクアチント、ルーレット、ドライポイント、バーニツシャー、磨き出し・紙	57.9×41.3	
6		XVIII 「孤独者」通り	1922	フォトグラヴェール、シュガーアクアチント、ルーレット、ドライポイント・紙	36.5×50.8	
7		XXVI 渇きと怖れの国で	1923	フォトグラヴェール、シュガーアクアチント、アクアチント、ルーレット、スクレイパー・紙	41.2×58.2	
8		XXX 《われら・・・彼の死において洗礼を受けたり》	1923	フォトグラヴェール、シュガーアクアチント、アクアチント、バーニツシャー・紙	54.8×42.1	
9		XL 顔つき合わせ	1926	フォトグラヴェール、シュガーアクアチント、アクアチント、エッチング、ルーレット、ドライポイント、スクレイパー、バーニツシャー、磨き出し・紙	57.4×43.5	
10		XLIV 我がうわしの国、今いずこ	1927	フォトグラヴェール、シュガーアクアチント、ルーレット、ドライポイント、スクレイパー、バーニツシャー・紙	42.2×59.5	
11		XLVI 《正しき人は白檀の木のごとく己を打つ斧に香を移す	1926	フォトグラヴェール、シュガーアクアチント、アクアチント、ルーレット、ドライポイント、スクレイパー、バーニツシャー・紙	58.3×42.0	
12		XLVII 深き淵より…	1927	フォトグラヴェール、シュガーアクアチント、アクアチント、ルーレット、ドライポイント、スクレイパー、バーニツシャー・紙	43.2×60.0	
13		XLIX 《心高貴なれば、首堅からず》	1926	フォトグラヴェール、シュガーアクアチント、アクアチント、ドライポイント、スクレイパー、バーニツシャー、磨き出し・紙	58.5×42.5	
14		LIV 《死者よ、起て！》	1927	フォトグラヴェール、シュガーアクアチント、アクアチント、ルーレット、ドライポイント・紙	58.8×44.4	
15		LVI 高慢と無信仰とこの暗き時、見守り続ける地の果ての聖母	1927	フォトグラヴェール、シュガーアクアチント、アクアチント、ルーレット、ドライポイント、スクレイパー、バーニツシャー・紙	58.9×43.3	
16		LVII 《死に至るまで、そして十字架上の死に至るまで従順なる》	1926	フォトグラヴェール、シュガーアクアチント、ルーレット、スクレイパー、バーニツシャー・紙	58.0×42.3	
	ジョルジュ・ルオー	『流れる星のサーカス』	1934-35 (1938年刊行)	シュガーアクアチント、アクアチント、ルーレット、ドライポイント、スクレイパー・紙		
17		I 扉絵-見世物小屋の呼び込み	1934		30.5×19.8	
18		II 黒いピエロ	1935		30.3×20.5	

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	備考
19		Ⅲ 苦いレモン	1935		30.8×21.0	
20		Ⅳ こびと	1934		30.5×20.7	
21		Ⅴ 曲芸師	1934		31.0×20.2	
22		Ⅵ 小さな女曲馬師	1935		30.3×20.7	
23		Ⅶ ルイゾン夫人	1935		30.5×21.0	
24		Ⅷ 悲しげな瘦っ骨	1934		31.0×20.2	
25		Ⅸ カルメンシータ夫人	1935		30.7×20.8	
26		X 親代々の旅芸人	1935		30.4×20.2	
27		XI アーサー親方	1934		30.2×20.3	
28		XII 苦い甘さ	1934		30.4×19.7	
29		XIII 気むずかし屋	1935		31.3×20.5	
30		XIV ビエロ	1935		30.7×20.8	
31		XV バレリーナたち	1934		30.7×19.9	
32		XVI オーギュスト	1935		30.9×21.3	
33		XVII 眠れ、よい子よ	1935		31.0×21.2	

第Ⅱ期 写真特集 5月23日(火)～6月18日(日)

1	杉本博司	Opticks 002	2018	タイプCプリント	119.4×119.4	寄託作品
2		Opticks 017	2018	タイプCプリント	119.4×119.4	寄託作品
3		Opticks 113	2018	タイプCプリント	119.4×119.4	寄託作品
4	春木麻衣子	25 seconds, from the series "view for a moment"	2011	タイプCプリント	58.4×139.4	寄託作品
5		58 seconds, from the series "view for a moment"	2011	タイプCプリント	58.4×139.4	寄託作品
6		112 seconds, from the series "view for a moment"	2011	タイプCプリント	58.4×139.4	寄託作品
7		144 seconds, from the series "view for a moment"	2011	タイプCプリント	58.4×139.4	寄託作品
8		285 seconds, from the series "view for a moment"	2011	タイプCプリント	58.4×139.4	寄託作品
9	石内 都	Mother's #7	2001	ゼラチンシルバープリント	107.5×74.0	寄託作品
10		Mother's #14	2002	ゼラチンシルバープリント	107.5×74.0	寄託作品
11		Mother's #15	2001	ゼラチンシルバープリント	150.0×100.0	寄託作品
12		Mother's #35	2002	タイプCプリント	32.5×22.0	寄託作品
13		Mother's #68	2003	タイプCプリント	22.0×32.5	寄託作品
14	片山真理	shell	2016	ラムダプリント、オリジナルフレーム	122.7×122.7	寄託作品
15		beast	2016	ラムダプリント、オリジナルフレーム	122.7×122.7	寄託作品
16	オノデラユキ	古着のポートレート No.13	1994	ゼラチンシルバープリント	115.0×115.0	
17		古着のポートレート No.28	1994	ゼラチンシルバープリント	115.0×115.0	
18		古着のポートレート No.30	1996	ゼラチンシルバープリント	115.0×115.0	
19		古着のポートレート No.44	1994	ゼラチンシルバープリント	115.0×115.0	
20		Transvest-Judie	2005	ゼラチンシルバープリント	195.0×126.0	寄託作品
21	大竹敦人	Emulsification・乳化 (1)	1997	球体写真・写真乳剤、ガラス球	直径40.0	
22		Emulsification・乳化 (2)	1997	球体写真・写真乳剤、ガラス球	直径40.0	
23		Emulsification・乳化 (3)	1997	球体写真・写真乳剤、ガラス球	直径40.0	
24		水面／拾集 草土水房・西浅川	2007	球体写真・写真乳剤、ガラス球	直径50.0	

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	備考
第Ⅲ期 砂皿コレクション 7月8日(土)～8月27日(日)						
1	ケーテ・コルヴィッツ	虐げられた人 (『農民戦争』第2巻)	1907	エッチング、アクアチント・紙	30.8×52.8	寄託作品
2	パブロ・ピカソ	フランコの夢と嘘I	1937	エッチング、シュガーアクアチント・紙	31.7×42.2	寄託作品
3		フランコの夢と嘘II	1937	エッチング、シュガーアクアチント・紙	31.7×42.2	寄託作品
4	ジョアン・ミロ	スペインを助けよ	1937	ステンシル・紙	32.0×24.5 (ペーパーサイズ)	寄託作品
5	ジャン・フォートリエ	小裸婦	1941	エッチング・紙	9.7×15.0	寄託作品
6		横たわる女 IV	1942	エッチング・紙	16.0×28.0	寄託作品
7		銃殺された人々	1943	エッチング・紙	35.3×29.5	寄託作品
8		黒い人質	1944	エッチング・紙	23.5×32.2	寄託作品
9	ラインハルト・サビエ	ある慢性病にかかった青年	1993	クレヨン、コンテ、グアッシュ・プレキシガラス、紙	117.0×92.0	寄託作品
10	松澤 宥	ブサイ (♀) の絵画	1963	水彩、クレヨン・紙	35.0×23.5	寄託作品
11		ブサイ (♀) の絵画	1963頃	水彩、クレパス・紙	78.0×68.5	寄託作品
12		ここは20002年前 (ウルム氷期) 海底だった	1986	シルクスクリーン・紙	90.5×90.0	寄託作品
13		ここは紀元2002年に再び海底となるだろう	1986	シルクスクリーン・紙	90.5×90.0	寄託作品
14		人類滅亡以後にこの辺を支配している動物の卵よ バイロファイルーファロス・ファロレスよ	1986頃	シルクスクリーン・紙	90.5×90.0	寄託作品
15		あなたの余命 あなたはこの16年以内に消滅する全人類とともに	1986	シルクスクリーン・紙	90.5×90.0	寄託作品
16		あなたの余命 あなたはこの16年以内に消滅する全人類とともに	1986	シルクスクリーン・紙	90.5×90.0	寄託作品
17		人類よ消滅しようギャティギャティ	1966頃	墨・紙、木	79.5×9.5×3.0	寄託作品
18		ブサイ函	1970	本 (作品40点入り)	22.0×16.5	寄託作品
19		1964年6月4日以前以後のオブジェよ	1993	鉄、ガラス、紙、木箱	18.8×25.5×6.5	寄託作品
20		1964年6月4日以前以後のオブジェよ	1993	煙草、木片、紙、木箱	18.8×25.5×6.5	寄託作品
21	高松次郎	日本語の文字	1970	オフセットリトグラフ・紙	61.0×26.0	寄託作品
22		英語の単語	1970	オフセットリトグラフ・紙	78.0×54.0	寄託作品
23	荒川修作	それを見よ	1968	シルクスクリーン・マイラー	82.0×103.0	寄託作品
24		意味されるもの、あるいは、もしも No.2	1975-76	エッチング、アクアチント・紙	60.5×90.5	寄託作品
25	李 禹煥	風より 3	1986	ドライポイント・紙	49.2×39.4	寄託作品
26		港より 1	1989	ドライポイント・紙	29.8×23.8	寄託作品
27		港より 3	1989	ドライポイント・紙	23.8×29.8	寄託作品
28	彦坂尚嘉	P.W.P.155 ユートピアの冒険V	1990	アクリル・木	43.5×43.5×7.5	寄託作品
29	村岡三郎	THE END	1959	アクリル、スポンジ、鉄	55.0×38.0×38.0	寄託作品
30		落下する熱	1992	鉄、硫黄、ガラス	41.0×12.0×12.0	寄託作品

展示室5

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	備考
第Ⅰ期 Plants 植物を描く 2023年4月22日(土)～6月18日(日)						
1	中村節也	花卉水庭	1935	油彩・カンヴァス	130.3×162.1	
2	湯浅一郎	立葵		油彩・カンヴァス	70.0×55.5	

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	備考
3	山口 薫	風景	1927頃	油彩・カンヴァス	53.0×65.2	
4		神話	1936	油彩・カンヴァス	91.0×65.0	
5		竹の林と娘の顔	1966	油彩・カンヴァス	130.3.0×162.3	
6		白樺林の馬と池	1967	油彩・カンヴァス	130.3.0×162.3	
7	南城一夫	赤い花	1946	油彩・カンヴァス	52.5×40.5	
8		花	1950	油彩・カンヴァス	72.5×60.6	
9		はず池の鯉	1956	油彩・カンヴァス	72.8×61.0	
10		ひまわり	1965	油彩・板	53.0×46.0	
11	仲田好江	追分風景	1941	油彩・カンヴァス	60.8×72.8	
12	川隅路之助	尾瀬A	1963	油彩・カンヴァス	97.0×130.3	
13	岡 鹿之助	花と廃墟	1966	油彩・カンヴァス	91.0×72.7	
14	福沢一郎	ダンテ暗闇の森へ	1971	アクリル・カンヴァス	181.8×227.3	
15		群馬県民会館第一緞帳下絵	1971	アクリル・カンヴァス	100.0×200.0	
16	秋岡美帆	木の葉をふるわせ	1985	アクリル・カンヴァス	200.0×200.0	
17	木村忠太	ポプラ	1987	油彩・カンヴァス	130.2×162.3	
18	押江千衣子	すずなり	1994	オイルパステル、油彩、 水彩、カンヴァスにモデ リングペースト	130.3×162.0	寄託作品
19		カシン	1998	油彩、オイルパステ ル・綿布	72.7×91.0	寄託作品
20		あまいにおい	1999	油彩、オイルパステル・ カンヴァス	227.0×324.0	
21		におい	1999	オイルパステル、油彩・ カンヴァス	72.7×91.0	寄託作品
22		アミノメ	2000	オイルパステル、油彩・ カンヴァス	53.0×53.0	寄託作品
23	ホセ・マリア・シシリア	赤い花々II	1998	油彩、蠟、蜜蠟・板	184.5×157.0	

第Ⅱ期 山口薫とゆかりの作家たち 2023年7月8日(土)～8月27日(日)

〈山口 薫〉

1	山口 薫	紐	1939	油彩・カンヴァス	100.0×80.0	
2		水	1941	油彩・カンヴァス	79.8×99.8	
3		林の幻影	1953	油彩・カンヴァス	130.2×162.3	
4		ノートルダム	1954	油彩・カンヴァス	99.5×90.8	
5		孤独者のすまい	1955	油彩・カンヴァス	130.3×162.3	
6		水田を飛ぶカーチス式軽飛行機	1964	油彩・カンヴァス	130.5×162.0	
7		林の中の小鳥のアパート	1966	油彩・カンヴァス	80.3×100.0	
8		月と道産子	1967	油彩・カンヴァス	100.0×80.5	
9		金環色(蝕)の若駒	1968	油彩・カンヴァス	100.0×80.5	

〈山口薫ゆかりの作家たち〉

10	松本忠義	曼荼羅風な静物	1951	油彩・カンヴァス	130.3×193.9	
11		梟の宿	1969	油彩・カンヴァス	162.0×131.0	
12	河辺保忠、松本忠義	山口薫作「残雪の木々」による 緞帳下絵	1971	アクリル・カンヴァス	100.0×200.0	
13	豊田一男	作品(地の痛み)	1963	油彩(ロー画)・カン ヴァス	130.6×194.0	
14		作品64-C	1964	水彩、蠟・カンヴァス	91.0×72.8	
15		地球儀とこうもり	1965	油彩(ロー画)・カン ヴァス	116.9×90.9	
16	小林良曹	信濃	1965	油彩・カンヴァス	130.3×162.1	
17	小倉ボオ	青の空間	1969	油彩・カンヴァス	130.0×193.8	
18	正田 壤	虫(青)	1965	油彩、石膏・板	141.5×183.0	
19		遊園地	1967	油彩、石膏・板	141.5×183.0	
20	田口安男	うねりのはじめ	1968	油彩・カンヴァス	145.5×145.5	

展示室6

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	備考
第Ⅰ期 令和5年4月22日(土)～6月18日(日)						
1	磯崎 新	空洞としての美術館I	1977	シルクスクリーン・カンヴァス、パネル、木	134×480×28.6	寄託作品
第Ⅱ期 7月8日(土)～8月27日(日)						
1	森村西三	苺模様銅花瓶	大正末頃	銅	18.0×19.0×19.0	
2		銅銀雄香炉	1929	銅銀	40.8×30.0×13.0	寄託作品
3		銅銅兎置物	1940	銅	13.0×40.3×5.0	寄託作品
4		瑞鳥置物香炉	1944	銅	19.8×50.0×29.2	寄託作品
5		銅鳳凰置物		銅	29.0×20.3×9.0	寄託作品
6		梅花透紋水盤		銅	15.5×24.0×18.0	
7		銅帯留金具 兎		銅	0.8×5.8×2.3	
第Ⅲ期 9月16日(土)～12月19日(火)						
1	岡本 健彦	「貼交図」習作	1995	アクリル、鉛筆、和紙、ステンレススチール、鉛、ワイヤー・紙	70.5×99.5	展示期間：～ 10/22
2		「水禽図」習作	1998	木炭、鉛筆、和紙、ステンレススチール、鉛、カンヴァス、ワイヤー・紙	77.4×109.1	展示期間：～ 10/22
3		「紅花図」習作	1998	アクリル、鉛筆、和紙、ステンレススチール、鉛、カンヴァス、ワイヤー・紙	77.8×109.1	展示期間：10/24～
4		「八つ橋図」習作	1998	アクリル、鉛筆、和紙、ステンレススチール、鉛、ワイヤー・紙	77.8×109.1	展示期間：10/24～
5		燕子花図	1996	油彩、鉛、ステンレススチール、和紙、天蚕糸・カンヴァス、合板	168.0×324.0	



展示室6 第Ⅰ期



展示室6 第Ⅲ期

展示室7

No.	作者名	作品名	制作年	技法材質・形状	寸法 (cm)	備考
第Ⅰ期 鳥づくし 令和5年4月22日(土)～5月21日(日)						
1	木村武山	孔雀	1917(大6)	絹本着色・軸装	151.5×70.4	
2	速水御舟	つぐみ	1929 (昭4)頃	紙本着色・額装	44.3×50.3	
3		ひたき	1931 (昭6)頃	紙本着色・額装	44.5×47.8	
4	小茂田青樹	ひよこ	昭和時代	墨、鉛筆、紙・額装	26.6×38.1	
5	山口華楊	麓	1977 (昭52)頃	紙本着色・額装	48.7×61.7	
6	小室翠雲	三枝禮	1936(昭11)	紙本着色・軸装	116.0×145.0	
7	岸浪百艸居	雨呼ぶ鳥晴呼ぶ鳥	1935(昭10)	絹本着色・軸装	64.8×71.8	
8	石原紫雲	群雀図	1975(昭50)	紙本墨画淡彩・軸装	137.1×68.8	
9		角鴟と雀図	1975(昭50)	紙本墨画淡彩・軸装	138.4×69.5	
10	磯部草丘	花鳥図屏風	1935(昭10)	紙本着色・幀装 (六曲一隻屏風)	155.0×335.0	
11		緑陰遊禽図	1934(昭9)	絹本着色・軸装	130.1×41.0	
12		鴛鴦	1956(昭31)	絹本着色・軸装	42.4×50.7	
13	福田元子	磯	1942(昭17)	絹本着色・額装	168.3×100.4	
14	成田一方	白夜	昭和時代	紙本着色・額装	227.0×181.1	
15	高橋光輝	黄粧	1966(昭41)	紙本着色・額装	119.0×179.0	
16	内海加寿子	雉子	1951(昭26)	紙本着色・額装	75.0×53.6	
第Ⅱ期 四方田草炎の素描 5月23日(火)～6月18日(日)						
1	四方田草炎	野猿	昭和時代	墨、鉛筆、淡彩・紙、 額装	70.2×55.3	
2		牡丹	昭和時代	墨、鉛筆・紙、額装	132.3×123.8	
3		鳥に楓	昭和時代	鉛筆、淡彩・紙、額装	59.7×90.5	
4		梅の枝に鳥	昭和時代	墨、鉛筆、淡彩・紙、 額装	54.3×84.1	
5		林檎	昭和時代	鉛筆・紙、額装	56.6×69.0	
6		あわび	昭和時代	墨、淡彩・紙、額装	41.2×60.3	
7		風景	昭和時代	墨、鉛筆・紙、額装	66.5×105.3	
8		山稜	昭和時代	鉛筆・紙、額装	84.3×132.8	
9		霧積	昭和時代	墨、鉛筆・紙、額装	54.3×76.7	
10		霧積	昭和時代	墨、鉛筆、淡彩・紙、 額装	76.6×54.0	
11		霧積	昭和時代	墨、淡彩・紙、額装	86.1×75.0	
12		霧積溪谷	昭和時代	墨、鉛筆・紙、額装	190.0×127.0	
13		春雪	昭和時代	墨、淡彩・紙、額装	74.2×108.5	
14		溪流	昭和時代	木炭・紙、額装	152.9×96.1	
15		鳥と溪流	昭和時代	墨、鉛筆、淡彩・紙、 額装	72.2×106.0	
16		橋	昭和時代	木炭、鉛筆・紙、額装	52.8×83.0	
17		枝に鳥	昭和時代	鉛筆、木炭、墨、淡彩・ 紙、額装	45.6×45.6	
第Ⅲ期 ファイバーワークの世界 7月8日(土)～8月27日(日)						
1	ジョアン・ミロ	スペインの踊り子	1981	パイル織・ウール	200.0×155.0	
2	パブロ・ピカソ	渦巻き	不詳	パイル織・ウール	190.0×250.0	
3	元永定正	タピストリー	1977(昭52)	ウール	122.0×148.0	
4	中川千早	サンライズ・サンセットNo.1	1979(昭54)	ウール、絹	93.5×93.5	
5		サンライズ・サンセットNo.2	1979(昭54)	ウール、絹	93.5×93.5	
6		サンライズ・サンセットNo.3	1979(昭54)	ウール、絹	93.5×93.5	
7	草間喆雄	Landscape Wall B	1982(昭57)	綿	120.0×212.0× 7.0	

No.	作者名	作品名	制作年	技法材質・形状	寸法 (cm)	備考
8	藤岡恵子 佐久間美智子	静けさの回帰	1981(昭56)	ウール、麻	サイズ可変	
9	佐久間美智子	大地への回帰	1988(昭63)	羊毛、シュロ	50.0×50.0×10.0	
10	小林尚美	Ito-wa-Ito	1981(昭56)	綿	15.0×220.0× 220.0	
11	磯辺晴美	いにしへの軌跡	1990(平2)	麻、ウール、銀糸、絹、 和紙	143.0×289.0	
12	橋本京子	タペストリー「ゴールドI」	1978(昭53)	金糸	200.0×240	*展示室6で展示

第Ⅳ期 群馬の日本画家Ⅰ 9月16日(土)～10月22日(日)

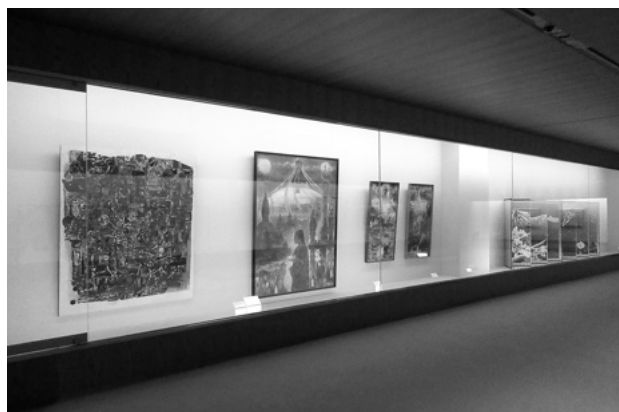
1	小室翠雲	山水図屏風	1923(大12)	絹本金地墨画淡彩・幀装 (六曲一隻屏風)	168.8×373.8	
2	町田玉穂	曲水の宴図	1903(明36)	紙本墨画淡彩・軸装	133.9×64.4	
3	新井洞巖	深巖濺瀑図	1939(昭14)	紙本着色・軸装	180.1×41.7	
4	磯部草丘	炭窯	1927 (昭2)頃	絹本着色・軸装	175.3×258.2	
5		春暁	1928(昭3)	紙本着色・軸装	104.5×36.1	
6		緑陰遊禽図	1934(昭9)	絹本着色・軸装	130.1×41.0	
7		豊秋村図・梅花村図	1931(昭6)	紙本着色・幀装 (六曲一双屏風)	各158.0×350.0	
8	岸浪百艸居	露葉霜條	1935(昭10)	紙本着色・幀装 (六曲一双屏風)	各196.7×345.6	
9	福田元子	つつじ (1)	1936(昭11)	紙本淡彩、墨・額装	67.5×135.8	福田元子資料
10		つつじ (2)	1936(昭11)	紙本淡彩、墨・額装	67.0×135.0	福田元子資料

第Ⅴ期 群馬の日本画家Ⅱ 10月24日(火)～12月19日(火)

1	岡田晴峰	源平一ノ谷合戦図	1949(昭24)	紙本着色・幀装 (六曲一双屏風)	各168.0×352.2	
2	田中青坪	春苑	1948(昭23)	紙本金地着色・幀装 (二曲一隻屏風)	163.7×165.8	
3	高橋光輝	麦実る丘	1949(昭24)	紙本着色・額装	184.0×152.0	
4	磯部草丘	山峡	1952(昭27)	絹本着色・額装	69.0×73.0	
5		空山瀑声	1962(昭37)	紙本着色・額装	79.0×67.0	
6		谷川岳	1966(昭41)	紙本着色・幀装 (六曲一双屏風)	各155.0×362.0	
7	高橋常雄	化現	1972(昭47)	紙本着色・額装	150.0×75.0	
8		宇	1973(昭48)	紙本着色・額装	145.7×70.5	
9		聖地追想	1980(昭55)	紙本着色・額装	217.0×162.0	
10	塩原友子	わがこころ	1994(平6)	墨、彩色、紙・パネル	194.0×162.1	
11	町田久美	話術	2005(平17)	青墨、顔料、岩絵具、 雲肌麻紙・額装	72.7×90.9	寄託作品
12		Sky	2008(平20)	青墨、茶墨、岩絵具、 顔料、色鉛筆、雲肌 麻紙・額装	80.5×130.3	寄託作品



展示室7 第Ⅰ期 鳥づくし



展示室7 第Ⅴ期 群馬の日本画家Ⅱ

令和5年度 入館者数等一覧

事業別入館者数等

事業名	会期	開催 日数	観覧・利用者数(人)													合計
			有料						無料							
			個人			団体			計	小中生	学校 団体	障害者	その他	計		
			一般	大高生	計	一般	大高生	計								
(前年度から継続)	4/1～9	8	291	37	328	17	0	17	345	49	0	29	301	379	724	
杉浦非水 時代をひらくデザイン	4/22～ 6/18	51	2,847	183	3,030	0	44	44	3,074	164	116	250	1,285	1,815	4,889	
ディーン・ポーエン展 オーストラリアの大地と空 とそこに生きる私たち	7/8～ 8/27	45	6,768	467	7,235	16	37	53	7,288	1,242	169	463	2,399	4,273	11,561	
企画展示・特別展示 創作において自由なる競創 -19、20世紀の芸術家とボ スター	9/16～ 11/12	50	3,086	196	3,282	66	16	82	3,364	183	310	282	2,790	3,565	6,929	
鈴木ヒラク 今日の発掘	9/16～ 12/19	70	3,868	274	4,142	74	0	74	4,216	248	523	266	2,705	3,742	7,958	
長谷川潔 銅版画の世界 自然をみつめるまなざし	3/2～4/7 (3/31まで)	26	1,988	156	2,144	0	0	0	2,144	109	78	127	639	953	3,097	
(参考：次年度へ継続)	(4/1～7)	6	540	35	575	0	0	0	575	51	0	41	292	384	959	
計(次年度またぎ分は除く)		250	18,848	1,313	20,161	173	97	270	20,431	1,995	1,196	1,417	10,119	14,727	35,158	
(前年度から継続)	4/1～9	8	354	39	393	16	118	134	527	52	0	27	262	341	868	
(春期)	4/22～ 6/18	51	2,652	175	2,827	20	60	80	2,907	142	116	187	835	1,320	4,187	
(夏期)	7/8～ 8/27	45	7,495	583	8,078	32	35	67	8,145	1,239	189	407	1,970	3,805	11,950	
(秋期)	9/16～ 12/19	70	3,868	274	4,142	74	0	74	4,216	248	523	266	2,705	3,742	7,958	
計		174	14,369	1,071	15,440	142	213	355	15,795	1,681	828	887	5,772	9,168	24,963	
公募展 県展(美術)	11/25～ 12/4	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,160	8,160	8,160	
県展(書道)	12/9～19	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,269	5,269	5,269	
計		20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13,429	13,429	13,429	
教育普及事業(参加者数)															9,121	

※コレクション展示の観覧者数は企画展示を合わせて観覧した人数も含む

月別入館者数等

月	開館 日数	観覧者数(人)									教育普及事業参加者数			館施設 使用者数	入館者数 合計
		有料			無料					合計	館内 開催	館外 開催	計		
		個人	団体	計	小中生	学校団体	障害者	その他	計						
4月	16	886	139	1,025	87	0	67	454	608	1,633	195	0	195	0	1,828
5月	27	1,860	0	1,860	107	47	125	583	862	2,722	150	31	181	0	2,872
6月	16	1,210	61	1,271	55	69	100	636	860	2,131	295	187	482	0	2,426
7月	20	1,744	20	1,764	246	135	127	584	1,092	2,856	976	176	1,152	0	3,832
8月	25	7,069	91	7,160	1,150	45	388	1,951	3,534	10,694	2,599	0	2,599	0	13,293
9月	13	1,104	0	1,104	83	0	92	306	481	1,585	98	0	98	0	1,683
10月	26	1,725	62	1,787	80	338	129	2,640	3,187	4,974	608	0	608	0	5,582
11月	18	977	66	1,043	61	30	67	6,043	6,201	7,244	405	28	433	0	7,649
12月	13	0	0	0	0	0	0	7,924	7,924	7,924	213	152	365	0	8,137
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42	42	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	247	247	0	0
3月	26	2,147	0	2,147	110	78	129	643	960	3,107	2,698	21	2,719	0	5,805
合計	200	18,722	439	19,161	1,979	742	1,224	21,764	25,709	44,870	8,237	884	9,121	0	53,107

※令和2年度から観覧者数の計上方法を変更し、延人数から実人数とした

※教育普及事業の館外参加者数は入館者数から除く

教育普及

アート・イベントの記録

※名称に*のついた事業は、群馬県立近代美術館友の会との共催事業

1 講演会、対談等

開催日	名称	講師	会場	参加者数
5. 5. 27	図案家・杉浦非水と日本の消費文化	神野由紀 (関東学院大学教授)	講堂	46
8. 12	ディーン・ボーエンの魅力	宮脇豊、友井伸一、太田佳鈴	講堂	43
10. 7	19世紀末から20世紀のポスターの流れ	河野泰久 (福井市美術館副館長)	講堂	51
10. 22	特別館長によるスペシャル・トーク「ポスターの黄金原理」	岡部昌幸	講堂	26
11. 4	クロストーク*	鷺田めろろ(十和田市現代美術館館長)、鈴木ヒラク	講堂	71
6. 3. 3	長谷川潔の芸術—日本とフランスの間で	猿渡紀代子(美術史家・元横浜美術館学芸員)	講堂	42
3. 23	神秘と神智の謎と芸術—長谷川潔のいる位置と世界	岡部昌幸	講堂	25

2 解説会

(1) 学芸員による作品解説会

開催日	名称	解説者	会場	参加者数
5. 5. 10	「杉浦非水 時代をひらくデザイン」作品解説会	神尾玲子	展示室1	20
6. 3	「杉浦非水 時代をひらくデザイン」作品解説会	神尾玲子	展示室1	35
7. 15	「ディーン・ボーエン展」作品解説会	太田佳鈴	展示室1	30
8. 2	「ディーン・ボーエン展」作品解説会	太田佳鈴	展示室1	43
9. 30	「創作において自由なる競創」作品解説会	佐藤聖子	展示室1	12
10. 18	「創作において自由なる競創」作品解説会	佐藤聖子	展示室1	13
10. 8	「鈴木ヒラク 今日の発掘」作品解説会	田中龍也	展示室4、5	19
11. 3	「創作において自由なる競創」作品解説会	佐藤聖子	展示室1	11
11. 8	「鈴木ヒラク 今日の発掘」作品解説会	田中龍也	展示室4、5	13
3. 16	「長谷川潔 銅版画の世界」作品解説会	中沢桃子	講堂	26
3. 27	「長谷川潔 銅版画の世界」作品解説会	中沢桃子	講堂	32

(2) サンデー・ギャラリートーク

毎月第2日曜日の午後2時から約40分間、当館学芸員がコレクション展示の作品を紹介する定例解説会

開催日	解説者	会場	参加者数
5. 5. 14	松下由里	展示室4	8
6. 11	田中龍也	展示室4	17
7. 9	佐藤聖子	展示室5	25
8. 13	神尾玲子	展示室2	22
11. 12	中沢桃子	展示室2	8
12. 10	太田佳鈴	展示室7	9

(3) こどもアートツアー

小中学生とその家族を対象に、ゲームや工作とコレクション展示の鑑賞を行う定例プログラム。今年度は4回開催した(各月第3土曜日、午後2時~3時)。

開催日	名称	参加者数
5. 5. 20	私の展覧会	8
6. 17	君は名探偵!	21
10. 21	絵とことば	5
12. 16	絵画は自由	18

(4) その他

開催日	名称	解説者	会場	参加者数
5. 8. 13	特別館長によるギャラリートーク*	岡部昌幸	展示室2	72

3 ワークショップ等

(1) 展覧会関連ワークショップ

開催日	名称	講師	会場	参加者数
5. 10. 14	ミニリトグラフ・ワークショップ	芳野(イラストレーター)	アトリエ	9

(2) こども+おとな+夏の美術館

夏休み期間中(7月22日～8月27日)、申込制のワークショップや自由に参加できる簡単な工作体験コーナーを実施した。また、当館建築の見どころをめぐるワークシートを用意し、参加者にはプレゼントを配布した。

開催日	名称	講師	会場	参加者数
5. 7. 22	ワークショップ「耳つき絵画をつくろう」	原游(アーティスト)※リモート参加	アトリエ	24
7. 29	夏のミュージアム・スクール「色・形・構図の基本を	館職員	アトリエ	48
8. 5/19	知れば、キミもアーティスト!」			
7. 23/30	ミニワークショップ「ばたばたバード」	館職員	アトリエ	593
8. 6/13/ 20/27				
7. 27	ミニワークショップ「おりがみお手玉」	館職員	アトリエ	320
8. 3/10/ 17/24				
7. 22～ 8. 27	ワークシート「美術館たんけんMAP」		館内	1,557

(3) 美術館アートまつり

造形体験や鑑賞プログラムなど、1日に館内の複数の会場で様々なイベントを同時開催する冬の時期恒例の事業。新型コロナウイルス感染症対策として令和2年度以降事前申し込み制としていたが、4年ぶりに申込不要として開催した。

開催日	名称	講師	会場	参加者数
6. 3. 10	①子どもアート回路 part 3	寺澤事務所・工房	ホール	455
	②アートなミッション(午前のみ)	館職員	展示室1	174
	③展覧会ポスタープレゼント	館職員	ギャラリー	490
	④ほわほわ♥春のブーケ作り(午前のみ)	群馬県立女子大学 奥西ゼミ	アトリエ	199
	⑤ダンシング紙コップ	館職員	ブラウジング	382
	⑥お面はアートだ!(午前のみ)	館職員	講堂	159
	⑦たんけん+お絵かき(午後のみ)	館職員	展示室1	210
	⑧コロコロ版画でいきものアート!(午後のみ)	群馬県立女子大学 奥西ゼミ	アトリエ	216
	⑨プラ板×もようアート(午後のみ)	館職員	講堂	140

(4) 高校生のための特別授業 at 群馬県立近代美術館

群馬県が進めるアーティストックGUNMA「美術作品を活用したアート教育」事業の一環として、当館で個展を開催した鈴木ヒラクを講師に迎え、群馬県内の高等学校・高等専修学校に在学中の生徒を対象に参加者を募集し、講義と綿貫観音山古墳の見学、ドローイングワークショップを行った。

開催日	名称	講師	会場	参加者数
6. 3. 9	「ドローイング」で世界をとらえなおす ～古墳から宇宙まで～	鈴木ヒラク(アーティスト/東京藝術大学大学院グローバルアートプラクティス准教授)	講堂、 展示室5	24

4 その他のイベント

(1) コンサート

開催日	名称	出演者	会場	参加者数
5. 8. 13	ミュージアム・コンサート*	アレクサンドラ・ホルプロヴァ、 トルマチョヴ・グリェブ、 福田美成子	エントランス ホール	230

(2) パフォーマンス等

「鈴木ヒラク 今日発掘」展会期中、展示室内においてパフォーマンスを行った。

開催日	名称	出演者	会場	参加者数
5. 9. 16	ライブドローイング+トーク	鈴木ヒラク、田中龍也 (トークのみ)	展示室5	76
12. 2	ライブドローイング	鈴木ヒラク、FUJI TA (サウンドアーティスト)	展示室5	148

学校教育・社会教育との連携の記録

1 学校教育との連携事業(スクールプログラム)

(1)アートツアー

団体見学で訪れた児童生徒を少人数のグループに分け、アートカードゲームを用いて作品の見方考え方を広げ、その後展示室にてスクールサポートボランティアが各グループを率いて行う対話型鑑賞を行った。来館校のうち、同事業を利用した学校は次のとおり。

期日	学校名・施設名	学年	参加者数
5. 5. 30	高崎市立滝川小学校	6年	51名
6. 9	沼田市立利根小学校	6年	18名
7. 25	藤岡市立西中学校	1～3年	15名
8. 1	高崎市立南八幡中学校	1～3年	11名
8. 3	みどり市立笠懸南中学校	1～3年	20名
10. 11	高崎市立東小学校	3年	52名
10. 24	富岡市立富岡小学校	4年	99名
10. 25	高崎市立桜山小学校	1年	132名
10. 26	高崎市立南小学校	3年	46名
11. 10	わせがく高等学校	1～3年	18名
6. 3. 12	玉村町立玉村小学校	2年	60名

(2)その他学校関係団体対応

概要解説、個別対応をおこなった学校関係団体は次のとおり。

期日	学校名・施設名	学年	参加者数
5. 4. 7	東京家政大学	1～3年	141名
6. 10	早稲田大学芸術学校	1～3年	72名
6. 14	前橋工科大学	4年・院生	5名
6. 16	本庄市立旭小学校	6年	54名
7. 11	藤岡市立神流小学校	6年	55名
7. 14	安中市教育支援センター「せせらぎの家」	小・中学	21名
7. 27	放課後デイサービスさぼてんきっず	小中高	15名
7. 27	高崎健康福祉大学	3・4年	12名
7. 28	つなぐ放課後デイサービス上大類すくーる	小・中学	13名
8. 8	みどり市立大間々東中学校	1～3年	20名
8. 8	東京家政大学家政学部	4年	25名
8. 9	東洋大学	大学生	20名
8. 11	NPO法人あんだんて放課後等デイサービス	小・中学	9名
8. 12	放課後等デイサービスカラフルまついだ	小・中学	7名
8. 17	放課後等デイサービスハッピーテラス前橋教室	小中高	18名
8. 22	佐野市集会所合同交流学習会	小・中学	16名
8. 22	生成AIイベント	小中高	22名
8. 24	つなぐ放課後デイサービス上大類すくーる	小・中学	12名
10. 7	県立女子大学	大学生	26名
10. 21	高崎経済大学	3年	6名
10. 29	日本大学芸術学部	2～4年	22名
11. 2	県立しろがね特別支援学校	高1	22名
11. 4	放課後デイサービスさぼてんきっず	小学	6名
11. 24	群馬日建工科専門学校	1～3年	165名
12. 2	桐生大学短期大学部	1～2年	18名
6. 3. 9	くらしまち財団たかさきS O.ラボ	1～6年	27名

(3)出張授業

期日	学校名	学年	参加者数
5. 6. 27	群馬県立渡良瀬特別支援学校	小中高	97名
6. 28	群馬県立渡良瀬特別支援学校	小中高	90名
7. 4	群馬朝鮮初中級学校	小1～6年	24名
7. 18	沼田市立沼田南中学校	2・3年	72名
7. 19	沼田市立沼田南中学校	1・2年	80名
11. 9	前橋市立わかば小学校	2年	28名
12. 5	群馬県立渡良瀬特別支援学校	小中高	75名
12. 6	群馬県立渡良瀬特別支援学校	小中高	77名
6. 1. 13	群馬朝鮮初中級学校	中学	19名
1. 18	甘楽町立小幡小学校	1年	23名
2. 19	前橋市立新田小学校	1年	73名
2. 21	前橋市立新田小学校	3・5年	125名
2. 29	高崎市立吉井西中学校	3年	49名
3. 4	くらしまち財団たかさきS.O.ラボ	小1～3年	7名
3. 12	中央中等教育学校	中2～高2年	14名

2 大学との連携事業

期日	学校・施設名	内容	会場
5. 5. 11	群馬県立女子大学美学・美術史学科2年生	教育普及事業、教材の紹介と体験	県立女子大学
7. 8	群馬大学共同教育学部2年生	美術館紹介、教材の体験、対話型鑑賞の体験	美術館

3 研修等の受入れ

(1)博物館実習

関係各大学の依頼により、学芸員資格取得希望者の学生を次のとおり受け入れた。

5. 8. 1～8. 5 [5日間]	
同志社大学 学芸学部メディア創造学科	1名
上智大学 文学部哲学科倫理学	1名
東北芸術工科大学 芸術学部 文化財保存修復学科	1名
群馬県立女子大学 美学美術史学科	1名
群馬大学共同教育学部 美術専攻	2名
秋田公立美術大学 アーツ&ルーツ専攻	1名

4 教材の貸出し

当館が作成した鑑賞サポートツールを次のとおり貸し出した。

期間	学校名	教材名
5. 6. 3～6. 17	高崎市立高崎特別支援学校	複製画ポスター2枚
6. 7～6. 21	前橋市立荒砥中学校	花子誕生鑑賞用セット1
6. 22～6. 28	群馬県立渡良瀬特別支援学校	複製画ポスター27枚
10. 6～10. 31	群馬県立中央中等教育学校	アートカード6セット
12. 1～12. 6	群馬県立渡良瀬特別支援学校	アートカード3セット、複製画ポスター4枚、サイコロパズル3セット、フリーアートパズル4セット、私の展示室12セット 素材の玉手箱1組、赤の触れるコレクション1組、アートカード(A3)19枚、アルバースキット1組

5 団体観覧者への解説

学校関係を除く団体解説の月別実施状況は次のとおりである。

4月	1団体	20人
5月	1団体	17人
6月	3団体	53人
7月	1団体	19人
8月	5団体	112人

9月	1団体	10人
10月	5団体	87人
11月	2団体	71人
12月	0団体	0人
1月	0団体	0人（休館）
2月	0団体	0人（休館）
3月	1団体	15人

6 社会教育との連携事業

当館にて連携事業を実施した団体は、以下の通り。

期日	団体名	参加者
5. 8. 17	岩鼻公民館	10名
6. 3. 12	岩鼻公民館	11名
6. 3. 15	洪川東部公民館	15名



大学との連携事業の様子



出張授業の様子



小学生アートツアーの様子



中学生アートツアーの様子

刊行物の記録

(展覧会関連のものは各展覧会の項に記載)

■群馬の森 美術館ニュース (A4、4頁、発行部数 各4,000部)

美術館ニュースは、展覧会や常設展示、作品収集、講演会などの館行事、美術に関する研究・評論などによって内容を構成している。館の事業の広報をはかるとともに、美術及び美術館に対する県民の理解を深めることを目的として、年4回発行している。

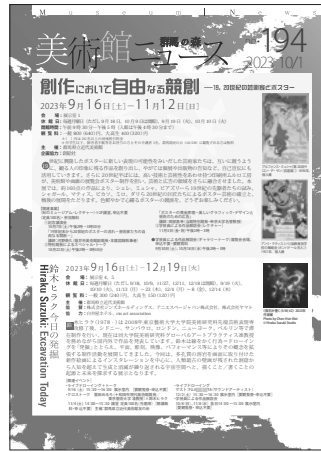
○第193号 令和5年7月1日発行

〈展覧会紹介〉ディーン・ボーエン展 オーストラリアの大地と空とそこに生きる私たち
〈Event〉こども+おとな+夏の美術館、〈友の会だより〉
〈コレクション展示案内〉、〈Topics〉令和4年度新収蔵作品紹介
〈作品ひとつ〉ジョルジュ・ルオー『流れる星のサーカス』よりXⅦ〈眠れ、よい子よ〉、〈次回展覧会案内〉創作において自由なる競創—19、20世紀の芸術家とポスター



○第194号 令和5年10月1日発行

〈展覧会紹介〉創作において自由なる競創—19、20世紀の芸術家とポスター、鈴木ヒラク 今日の発掘
〈Event〉こども+おとな+夏の美術館レポート、〈Topics〉公式Instagramアカウント開設のお知らせ
〈コレクション展示案内〉、〈友の会だより〉
〈作品ひとつ〉深井隆『風景—悠久なる一日—』、〈次回展覧会案内〉長谷川潔 銅版画の世界



○第195号 令和6年1月1日発行

〈展覧会紹介〉長谷川潔 銅版画の世界
〈Topics〉「創作において自由なる競創」展の関連事業 開催報告、〈友の会だより〉
改修工事による休館のお知らせ、美術館アートまつり2024
〈作品ひとつ〉長谷川潔『花瓶に挿したコクリコと種草』、
〈次回展覧会案内〉コレクションのつくりかた／つたえかた



○第196号 令和6年4月1日発行

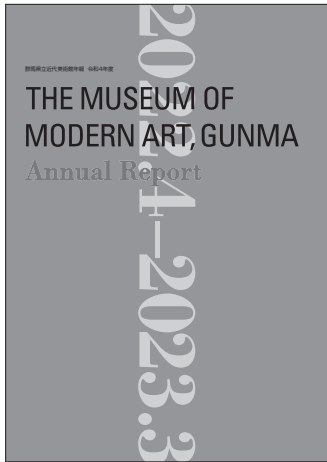
〈展覧会紹介〉コレクションのつくりかた／つたえかた 日本と西洋の近代美術
〈Topics〉開館50周年を迎えて—一思いが込められた美術館、群馬県立近代美術館50周年記念 近美×館美連携イベント、群馬AIRアートプロジェクト2023成果発表展
〈Topics〉改修工事の工期延長と2階展示室の休室について、



「群馬青年ビエンナーレ2025」の開催について、
〈友の会だより〉
〈作品ひとつ〉雪村周継『葛花、竹に蟹図』、
〈次回展覧会案内〉英国キュー王立植物園 おいしいボタニカル・アート食を彩る植物のものがたり

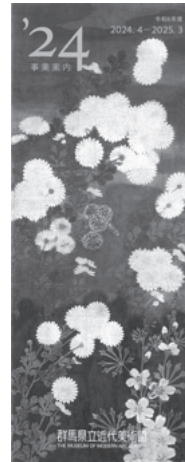
■令和4年度 群馬県立近代美術館年報

A4 72頁
令和6年1月発行
発行部数 200部



■令和6年度 群馬県立近代美術館事業案内

B4変形四つ折り(観音折り)
令和6年3月発行
発行部数 18,000部



■展覧会ガイド

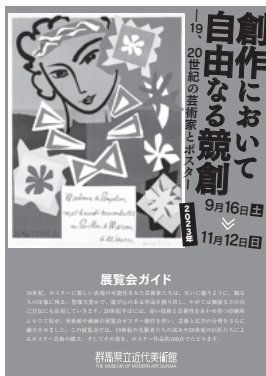
○杉浦非水 時代をひらくデザイン 展覧会ガイド
A3から四つ折りA5仕上げ
令和5年4月発行
発行部数 3,000部



○ディーン・ボーエン展
オーストラリアの大地と空とそこに生きる私たち 展覧会ガイド
A3から四つ折りA5仕上げ
令和5年7月発行
発行部数 3,000部



○創作において自由なる競創
—19、20世紀の芸術家とポスター— 展覧会ガイド
A3から四つ折りA5仕上げ
令和5年9月発行
発行部数 3,000部



○長谷川潔 銅版画の世界 展覧会ガイド
A3から四つ折りA5仕上げ
令和6年3月発行
発行部数 3,000部



ボランティアの記録

1 令和5年度活動者データ(令和5年4月1日時点)

登録者数 85人

活動者数 73人(休止者12人)

登録者の活動年数 10年以上 64人、5～9年 17人、5年未満 4人

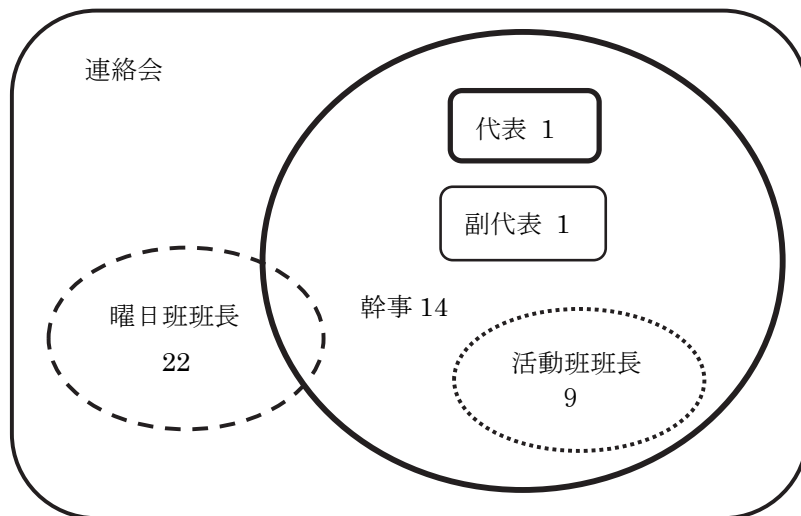
活動別登録者数(複数登録可)

インフォメーション85人、資料85人、解説15人、

イベントサポート14人、スクールサポート18人、茶席11人

2 令和5年度ボランティア連絡会組織図

※図中の数字は人数



3 会議等の記録

(1) 全体会(ボランティア総会) 5. 5. 21

出席者 ボランティア52名、美術館職員10名

(2) 班長会(曜日班班長、活動班班長により行う) 10. 21

(3) 幹事会(幹事により奇数月第3土曜日に行う) 5. 20 / 7. 15 / 9. 16 / 11. 11 / 12. 16 / 6. 3. 16

4 活動の種類および記録

(1) 2週間で1サイクルの曜日班で行う活動

①インフォメーション

基本活動: 来館者への館内案内、情報提供

夏休み宿題サポート: 5. 7. 22～8. 27 資料配付数: 367部

宿題のため来館した中学生などに資料を渡しながらか対面で行っていた活動を、インフォメーション・カウンターに置いた資料を自由に取ってもらう方式で実施した。

部会・研修会は実施しなかった。

②資料整理

基本活動: 美術に関する新聞記事のスクラップ

今年度から全国紙が6紙から2紙(朝日新聞、毎日新聞)となった。

研修会 5. 8. 19 / 31

6班、18班を対象に上毛新聞処理の研修を行った。

③作品解説

基本活動: コレクション展示作品の解説

部会および研修: 5. 5. 25 / 7. 20 / 9. 28 コレクション展示を担当した学芸員による解説を実施した。

(2) 曜日班外の指定日に行う活動

④ イベントサポート（ワークショップなどのサポート）

「こどもアートツアー」：5. 5. 20 / 6. 17 / 10. 21 / 12. 16

今年度実施の全4回でサポートを行った。

「こども+おとな+夏の美術館」：「ばたばたバード」：7. 23 / 30 / 8. 6 / 13 / 20 / 27

「おりがみお手玉」：7. 27 / 8. 3 / 10 / 17 / 24

ミニワークショップでサポートを行った。

「美術館アートまつり」：6. 3. 10

開催されたプログラムのうち、「子どもアート回路 part 3」、「アートなミッション」、「展覧会ポスタープレゼント」、「ダンシング紙コップ」、「お面はアートだ!」、「たんけん+お絵かき」、「プラ板×もようアート」のサポートを行った。

*上記3事業にはイベントサポート登録者以外のボランティアも参加した。

⑤ スクールサポート（学校団体の鑑賞サポート）

来館した学校団体にはカードゲームの補助や展示室での対話型鑑賞、出張授業ではカードゲームの補助や複製画ポスターを使った対話型鑑賞などを行った。

美術館見学（アートツアー等）：15回（5. 5. 30 / 6. 9 / 7. 8 / 7. 25 / 7. 27 / 8. 1 / 8. 3 / 8. 22 / 10. 11 / 10. 24 / 10. 25 / 10. 26 / 11. 10 / 6. 3. 12 / 3. 29）

出張授業：9回（7. 4 / 12. 5 / 12. 6 / 6. 1. 13 / 1. 18 / 2. 19 / 2. 21 / 3. 4 / 3. 12）

部会および研修：5. 17

新人研修会：5. 10

⑥ 茶席（館内の茶室での薄茶サービス）

ボランティアと来館者への新型コロナウイルス感染防止のため、令和3年度から活動を休止していたが、6月から感染症対策を行いながら定員を20名に限って再開した。友の会の協力のもと、当館の茶室で開館日の毎月第1土曜日に呈茶席を設けた。

開催日	参加者数
5. 6. 3	20
8. 5	20
10. 7	15
11. 4	20
12. 2	20
6. 3. 2	20

部会・研修会は実施しなかった。

(3) その他の活動

⑦ 『Cube』編集・発行

手刷りのボランティアニュース『Cube』を編集、4、6、8、10、12月の5回発行した。活動者のエッセイや活動報告、連絡事項などを掲載。

⑧ ボランティア研修の企画・実施

平成30年度を最後に感染症拡大防止のため実施していなかったが、今年度は県内研修として実施した。

6. 2. 4 館外研修（大川美術館、群馬県立館林美術館）参加者数：27名（うち美術館職員3名）

⑨ ボランティア向け講演会の企画・実施

スクールサポート自主勉強会の主催で、外部講師を招きボランティア向けに講演会を行った。

5. 7. 12 「みえなくなっから見えてきたこと」講師：三輪途道、立木寛子（聞き手）参加者数：38名



全体会 (5.21)



作品の解説研修 (5.25)



ボランティア向け講演会 (7.12)



茶席 (11.4)

友の会の記録

1 会議の記録

- (1) 総会 令和5年5月28日(日)
令和4年度事業及び決算を報告し、令和5年度事業計画及び予算案等を審議し、全案承認された。
- (2) 理事会 令和5年5月28日(日)
令和4年度の会員の状況及び総会提出議案(令和4年度事業並びに一般会計及びショップ会計決算、令和5年度事業計画・予算編成方針・ショップ予算)等を審議した。
- (3) 運営委員会 ①令和5年7月14日(金) ②令和6年3月12日(火)
令和5年度における各委員の担当を確認。事業の企画立案及び令和5年度事業方針、ショップの新規販売商品について協議した。
- (4) ショップ会議
特にショップ会議は開催しなかったが、運営委員会の中で、新規契約案件等について協議した。
- (5) 会報編集会議
運営委員会の中で協議。記事内容・発行時期・回数も含め検討した結果、本年度は年1回、9月に発行することとした。

2 美術館協力支援事業

- (1) 講演会の開催
日 時：令和5年11月4日(土) 14:00～15:30
テーマ：「(この人に聞きたい15)クロストーク 鷺田めるろ(十和田市現代美術館館長/東京藝術大学准教授)×鈴木ヒラク(アーティスト)」
会 場：当館講堂
参加者：71名
- (2) ミュージアム・コンサートの開催
日 時：令和5年8月13日(日) 17:00～18:00
テーマ：「ミュージアム・コンサート～平和と愛～」
当館所蔵のパブロ・ピカソ《ゲルニカ(タピスリ)》の特別公開にあわせ、ウクライナから日本に避難している演奏家による平和を考えるコンサート。
演奏者：アレクサンドラ・ホルプロヴァ(ヴァイオリン)、トルマチョヴ・グリュブ(チェロ)、福田美成子(ピアノ)
会 場：エントランスホール
参加者：230名
- (3) 会報「森からの便り」No41の発行(9月)
特別展示「鈴木ヒラク 今日が発掘」にあわせた作家へのインタビュー記事、ミュージアム・ツアー報告、運営委員による随想記事などを掲載した。
- (4) 美術館事業への協力と支援
①美術館の各種事業に資金援助などの支援を行った。
②美術館の事業や活動についての広報に協力した。
③ボランティア茶席事業が円滑に実施されるよう協力した。
④年間を通じて、近代美術館とともに館林美術館、高崎市美術館、高崎市タワー美術館及び高崎市山田かまち美術館と提携し、各館の展覧会情報の提供と会員の観覧料割引を実施することにより、来館を促し観覧者数の増加に協力した。
- (5) ミュージアムショップの運営
来館者サービスの一環として、館内ミュージアムショップを運営するとともに、展覧会の図録や関連品、所蔵作品や過去に開催した展覧会の参考書籍、関連グッズなどの情報をホームページに掲載し、通信販売も行った。

3 会員対象事業

- (1) 美術館情報の提供
「美術館ニュース」や会報「森からの便り」をはじめ、近代美術館及び近隣美術館の展覧会や関連事業などの美術情報を会員へ随時ダイレクトメールで送付し、美術鑑賞と広報普及活動の推進を図った。
- (2) ミュージアム・ツアー(会員限定)
各地の美術館等を訪問して美術鑑賞をするとともに、会員相互の親睦を図った。
①初夏のミュージアム・ツアー
実施日：令和5年6月11日(日)
参加者：会員41名、添乗係2名
訪問先：長野県立美術館、軽井沢安東美術館

②秋のミュージアム・ツアー

実施日：令和5年10月15日(日)

参加者：会員41名、添乗係3名

訪問先：那須芦野・石の美術館 STONE PLAZA、N's YARD、旧青木家那須別邸、アートビオトープ那須

(3) 会員証による展覧会観覧料減免の実施(通年)

①群馬県立近代美術館・群馬県立館林美術館の観覧：あわせて年2回無料、ほか半額

②高崎市美術館・高崎市タワー美術館・高崎市山田かまち美術館の観覧：団体割引相当額

(4) 賛助会員対象事業

群馬県立近代美術館内、会報及びホームページで賛助会員名を紹介(紹介辞退者を除く)

4 会員数(令和6年3月31日現在)

一般会員 123名(うち半期会員9名)

家族会員 56名(27組)

学生会員 1名

賛助会員 49社・名(うち法人40社、個人9名)、なお口数は計50口



ミュージアム・コンサート風景



秋のミュージアム・ツアー アートビオトープ那須



秋のミュージアム・ツアー アートビオトープ那須にて

所蔵資料

美術作品

1 作品収蔵状況

令和6年3月31日現在

部 門	作家区分 収蔵方法	県内作家			国内作家			外国作家			総 計
		購 入	寄 贈	小 計	購 入	寄 贈	小 計	購 入	寄 贈	小 計	
日本画		19	120	139	15	55	70				209
中国画								0	6	6	6
書		2	52	54	3	18	21	0	1	1	76
油彩その他		118	345	463	40	46	86	21	8	29	578
パステル		24	1	25	0	0	0	2	0	2	27
水彩・素描		182	26	208	4	74	78	6	1	7	293
版画		83	50	133	59	76	135	225	40	265	533
写真		0	0	0	1	15	16	0	2	2	18
立体その他		15	32	47	17	12	29	6	3	9	85
工芸		0	7	7	35	16	51	3	17	20	78
映像		1	0	1	0	2	2	0	0	0	3
小 計		444	633	1077	174	314	488	263	78	341	1,906
戸方庵井上 コレクション	日本画	0	7	7	0	149	149	0	0	0	156
	中国画	0	0	0	0	0	0	0	17	17	17
	書	0	1	1	0	50	50	0	5	5	56
	小 計	0	8	8	0	199	199	0	22	22	229
計		444	641	1085	174	513	687	263	100	363	2,135

2 令和5年度 収蔵作品

令和5年度においては、日本画1点(寄贈1点)、油彩その他29点(寄贈29点)、版画1点(寄贈1点)、写真1点(寄贈1点)、彫刻・立体1点(寄贈1点)、工芸2点(寄贈2点)の計35点を新たに収蔵した。以下、各区分ごとに作者名の50音順に配列している。

各作品データは以下の順に記載した。

- ・ 作者名(生没年)
- ・ 作品名
- ・ 制作年(日本人作家の場合は元号も付した)
- ・ 技法・材質
- ・ 寸法(平面作品は縦×横、立体作品は高さ×幅×奥行き、単位はcm)
- ・ サイン、年記、その他の記載事項
- ・ 発表展覧会および受賞記録
- ・ 収蔵方法(寄贈の場合は寄贈者名を併記)
- ・ 受入番号

〈日本画〉

磯部草丘 (1897-1967)

ISOBE Sōkyū

籙の豊秋村

1928 (昭和3)

紙本着色・軸装

265.1×175.4

画面右上に款記「戊辰九月寫于尺山丈艸居 草丘郭」、白文方印「艸」・朱文方印「丘」(連印)、左下に白文方印「遺形」(遊印)

第9回帝展

萩原順子氏寄贈

2105



〈油彩その他〉

鬼頭健吾 (1977-)

KITŌ Kengo

ex-utopia

2014 (平成26)

油彩・カンヴァス、木

177.0×104.0

パネル裏面左上にタイトル、年記、サイン: ex utopia

2014 / kengo kito

個展 (ケンジタキギャラリー、東京、2015年)

牧 寛之氏寄贈

2120



鬼頭健吾 (1977-)

KITŌ Kengo

ex-utopia

2014 (平成26)

油彩・カンヴァス、木

175.2×107.3

パネル裏面左上にタイトル、年記、サイン: ex utopia

2014 / kengo kito

個展 (ケンジタキギャラリー、東京、2015年)

牧 寛之氏寄贈

2121



鬼頭健吾 (1977-)

KITŌ Kengo

cartwheel galaxy

2023 (令和5)

アクリル、グリッター、ガラス、スプレー・カンヴァス

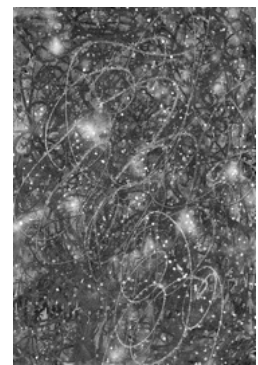
190.0×130.0

裏面上辺カンヴァス耳にサイン、タイトル、年記: kengo kito

cartwheel galaxy 2023

牧 寛之氏寄贈

2122



小谷くるみ (1994-)

KOTANI Kurumi

対岸

2023 (令和5)

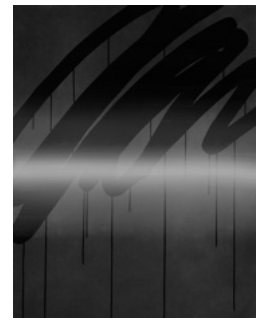
アクリル、混合技法・カンヴァス

116.7×91.0

作品裏面パネル右上に年記とサイン: 2023 kurumi kotani

牧 寛之氏寄贈

2131



鬼頭健吾 (1977-)

KITŌ Kengo

ex-utopia

2014 (平成26)

油彩・カンヴァス、木

177.0×104.0

パネル裏面左上にタイトル、年記、サイン: ex utopia

2014 / kengo kito

個展 (ケンジタキギャラリー、東京、2015年)

牧 寛之氏寄贈

2120

鈴木ヒラク (1978-)

SUZUKI Hiraku

Constellation #23

2018 (平成30)

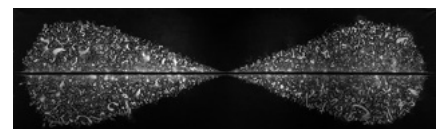
シルバーインク、土、アクリル、墨汁・カンヴァス

264.0×862.0

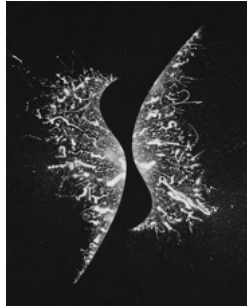
個展 (アートフロントギャラリー、東京)

遠藤祐里氏寄贈

2123



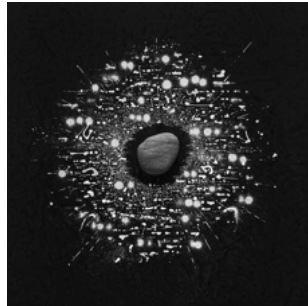
鈴木ヒラク (1978-)
SUZUKI Hiraku
Constellation #54
2021 (令和 3)
シルバーインク、土、アクリル、
墨汁・カンヴァス
227.3×181.8×4.0
Drawings-Plurality (PARCO
MUSEUM TOKYO, 2022年)
牧 寛之氏寄贈
2124



竹村 京 (1975-)
TAKEMURA Kei
Between Tree, Ghost has come
2011 (平成23)
布にインクジェットプリント、日
本製釜糸、イタリア製合成織
維、ドイツ製染め粉、ドイツ製
パーマネントペン、アメリカ製
パーマネントペン
328.0×408.0
個展 (タカ・イシイギャラリー、
東京、2012年)
牧 寛之氏寄贈
2119



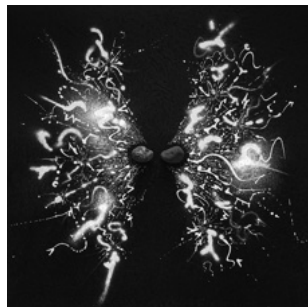
鈴木ヒラク (1978-)
SUZUKI Hiraku
隕石が書く (S/S) #5
2023 (令和 5)
溶岩 (ボルト止め)、シルバー
インク、土、アクリル・カンヴァス
73.0×73.0×9.0
パネル裏にサインと年記:
hiraku / 2023
個展 (群馬県立近代美術館)
牧 寛之氏寄贈
2125



長 重之 (1935-2019)
CHŌ Shigeyuki
ピックポケット
〈閉じ込められないもの〉 A
1997-98 (平成 9-10)
木、透明ビニール、ロープ、
写真ほか
82.5×70.0×5.0
個展 (ギャラリー檜、東京、1999年)
笈沼愛子氏、津布久幸子氏寄贈
2112



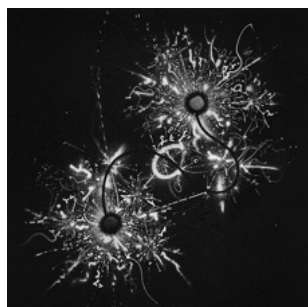
鈴木ヒラク (1978-)
SUZUKI Hiraku
隕石が書く (S/M) #21
2023 (令和 5)
溶岩 (ボルト止め)、シルバー
インク、土、アクリル・カンヴァス
117.0×117.0×9.0
パネル裏にサインと年記:
hiraku / 2023
個展 (群馬県立近代美術館)
牧 寛之氏寄贈
2126



長 重之 (1935-2019)
CHŌ Shigeyuki
ピックポケット
〈閉じ込められないもの〉 B
1997-98 (平成 9-10)
木、透明ビニール、ロープ、
写真ほか
82.5×70.0×5.0
個展 (ギャラリー檜、東京、1999年)
笈沼愛子氏、津布久幸子氏寄贈
2113



鈴木ヒラク (1978-)
SUZUKI Hiraku
隕石が書く (S/L) #1
2023 (令和 5)
溶岩 (ボルト止め)、シルバー
インク、土、アクリル・カンヴァス
175.0×175.0×9.0
パネル裏にサインと年記:
hiraku / 2023
個展 (群馬県立近代美術館)
牧 寛之氏寄贈
2127



長 重之 (1935-2019)
CHŌ Shigeyuki
ピックポケット
〈閉じ込められないもの〉 C
1997-98 (平成 9-10)
木、透明ビニール、ロープ、
写真ほか
82.5×70.0×5.0
個展 (ギャラリー檜、東京、1999年)
笈沼愛子氏、津布久幸子氏寄贈
2114



長 重之(1935-2019)
CHŌ Shigeyuki
ピックポケット
〈閉じ込められないもの〉 E
1997-98 (平成 9-10)
木、透明ビニール、ロープ、
写真ほか
82.5×70.0×5.0
個展(ギャラリー檜、東京、1999年)
笈沼愛子氏、津布久幸子氏寄贈
2115



南城一夫(1900-1986)
NANJŌ Kazuo
ひまわり
1963 (昭和38)
油彩・カンヴァス
72.8×60.6
画面右下にサイン:Nanjoh
第41回春陽展(1964年)
秋山光司氏遺贈
2110



長 重之(1935-2019)
CHŌ Shigeyuki
ピックポケット
〈閉じ込められないもの〉 F
1997-98 (平成 9-10)
木、透明ビニール、ロープ、
写真ほか
82.5×70.0×5.0
個展(ギャラリー檜、東京、1999年)
笈沼愛子氏、津布久幸子氏寄贈
2116



南 依岐(1995-)
MINAMI Ibuki
ALAB-CL-FKARKCH-P-F1
2023 (令和 5)
マーカー、油彩・カンヴァス
130.3×162.0
カンヴァス裏面右上にタイトル、
年記、サイン:ALAB-CL-
FKARKCH-P-F1 / 4.23. 2023
南依岐
牧 寛之氏寄贈
2132



長島伊織(1997-)
NAGASHIMA Iori
untitled
2023 (令和 5)
油彩・カンヴァス
162.0×130.3
カンヴァス裏面左下にタイトル、
サイン、年記:"Untitled" /
Iori Nagashima / 2023
牧 寛之氏寄贈
2133



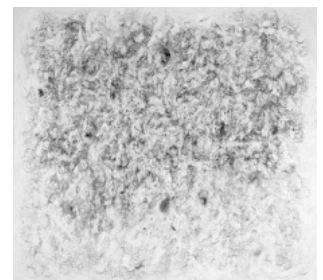
村井正誠(1905-1999)
MURAI Masanari
二人
1973 (昭和48)
油彩・カンヴァス
80.3×65.2
画面左下にサイン:
MAÇANARI
秋山光司氏遺贈
2111



南城一夫(1900-1986)
NANJŌ Kazuo
オルガン
1962 (昭和37)
油彩・カンヴァス
90.9×72.7
画面左下にサイン:Nanjoh
秋山光司氏遺贈
2109



村田峰紀(1979-)
MURATA Mineki
drawing 10.11.2017
2017 (平成29)
ボールペン、インク、ペンキ・
ベニヤ板
300.0×332.0×5.0
個展(ya-gins、前橋)
牧 寛之氏寄贈
2128



山口 歴 (1980-)
YAMAGUCHI Meguru
OUT OF BOUNDS No. 155
2023 (令和 5)
アクリル・合板
108.0 × 129.0 × 2.0
作品裏にタイトル、サイン、年記
牧 寛之氏寄贈
2129



山田英雄 (1939-2013)
YAMADA Hideo
4°のスペース
1974-75 (昭和49-50) 頃
アクリル・カンヴァス
130.3 × 130.3
個展 (ぐんまアートセンター
ギャラリー、1975年)
中嶋恵子氏寄贈
2118



山崎雅未 (1987-)
YAMASAKI Mami
City #3
2023 (令和 5)
アクリル・カンヴァス
91.0 × 116.7
カンヴァス裏面右下にタイトル、
年記、サイン: City #3 / 2023
/ 山崎雅未
牧 寛之氏寄贈
2130



横堀角次郎 (1897-1978)
YOKOBORI Kakujiro
代々木風景
1920 (大正9) 頃
油彩・カンヴァス
45.2 × 33.5
秋山光司氏遺贈
2106



山田康平 (1997-)
YAMADA Kōhei
untitled
2023 (令和 5)
油彩・カンヴァス
145.7 x 112.0
カンヴァス裏面右下にタイトル、
年記、サイン: Untitled 2023
KOHEI
個展 (タカ・イシイギャラリー、
東京)
牧 寛之氏寄贈
2134



横堀角次郎 (1897-1978)
YOKOBORI Kakujiro
セーヌの橋
1956 (昭和31)
油彩・カンヴァス
39.5 × 51.5
画面右下にサイン: YOKO.
横堀角次郎滞欧作品展
(東京・大丸、1958年)
秋山光司氏遺贈
2107



山田英雄 (1939-2013)
YAMADA Hideo
4°のスペース
1974-75 (昭和49-50) 頃
アクリル・カンヴァス
130.3 × 130.3
個展 (ぐんまアートセンター
ギャラリー、1975年)
中嶋恵子氏寄贈
2117

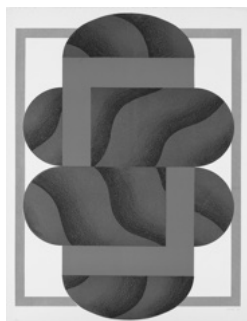


横堀角次郎 (1897-1978)
YOKOBORI Kakujiro
東大三四郎池
1967 (昭和42)
油彩・カンヴァス
72.7 × 91.0
画面右下にサイン: YOKO.
第44回春陽展
秋山光司氏遺贈
2108



〈版画〉

菅井 汲 (1919-1996)
SUGAI Kumi
Foret (森)
1971 (昭和46)
リトグラフ・紙
65.0×50.0
右下にサインと年記：SUGAI 71.
左下にエディション：56 / 100
河内世紀一氏寄贈
2135



〈彫刻・立体〉

鬼頭健吾 (1977-)
KITŌ Kengo
active galaxy
2014-15 (平成26-27)
ポストカードスタンド、アクリル板、鏡、モーター、チェーン (5台)
178×52×52 / 175×35×35 / 156×40×42 / 152×42×42 / 130×34×34
個展 (ガトーフェスタ ハラダ
本社ギャラリー、高崎、2014年)
個展 (群馬県立近代美術館、
2015年)
牧 寛之氏寄贈
2137



〈写真〉

大越円香 (1997-)
ŌKOSHI Madoka
Surface drawing 20230321-03
2023 (令和5)
インクジェットプリント・アルミ複合板
91.0×72.7
裏面右下にタイトル、サイン、
エディション：Surface drawing
/20230321-03/Okoshi Madoka /
AP
牧 寛之氏寄贈
2136



〈工芸〉

田中寿々 (1903-2001)
TANAKA Suzu
青銅うさぎ両耳花瓶
1977 (昭和52)
銅
27.0×10.0×8.0
裏にサイン：寿々
第28回群馬県美術展
群馬県立近代美術館奨励賞
高橋武雄氏寄贈
2138



田中寿々 (1903-2001)

TANAKA Suzu

朱銅片手付花瓶

1987 (昭和62)

鑄銅

27.0×10.0×8.0

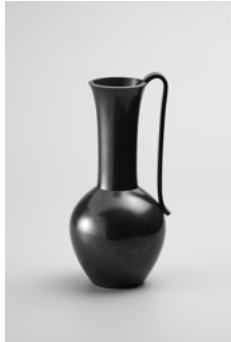
裏にサイン: 寿々 赤マジックで

「人間国宝 齊藤明鑄」

第38回群馬県美術展

高橋武雄氏寄贈

2139



3 寄託作品収蔵状況

令和6年3月31日現在

部門	合計
絵画	214
水彩・素描	84
版画	188
彫刻	33
工芸	9
その他	51
合計	579

4 令和5年度 寄託作品

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	備考
杉本博司	Opticks 002	2018	タイプCプリント	119.4×119.4	新規
	Opticks 017	2018	タイプCプリント	119.4×119.4	新規
	Opticks 113	2018	タイプCプリント	119.4×119.4	新規
江上 越	達磨-5	2022	油彩・カンヴァス	53×46	新規
長谷川潔	《小鳥と胡蝶》ほか 版画全121点 《水浴の少女と魚》ほか 水彩・素描全4点				新規 新規
岡 鹿之助	段丘	1978	油彩・カンヴァス	80.5×65.0	
小野竹喬	風景	1920頃	絹本着色・額	38.7×116.0	
森田曠平	大原女	1961	紙本着色・額	170.0×220.0	
大岩オスカール	シャドウキャットとライトラビットの出会い2	1999	油彩・カンヴァス	227.0×222.0	
町田久美	Sky	2008	青墨、茶墨、岩絵具、顔料、色鉛筆・雲 肌麻紙	80.5×130.3	
大岩オスカール	Loft	2006	油彩・カンヴァス	140.0×280.0	
山口 薫	箕輪城址 崖	1949	油彩・カンヴァス	45.5×53.0	
	馬と鎧と矢	1968	油彩・カンヴァス	91.0×73.5	
	スケッチブック53冊		スケッチブック		
石内 都	《Mother's #5》ほか 全31点				
新井洞巖	山水梅林図	1929	紙本墨画淡彩・軸	137.0×34.5	
	青緑山水図	1936	絹本着色・額	143.5×43.2	
	秋景山水図	1940	紙本着色・軸	61.8×68.6	
	山水図	1945	紙本墨画・額	29.8×68.8	
	菊花図	1945	紙本墨画・軸	33.4×41.2	
酒井抱一	宝井其角図	江戸時代	紙本墨画・一幅	37.9×26.6	
浮田一蕙	山水図	江戸時代	紙本墨画淡彩・一幅	66.4×19.5	
立原杏所	雪中帰樵図	江戸時代	絹本墨画淡彩・一幅	141.2×34.2	
狩野探淵	紙雛図	江戸時代	絹本着色・一幅	97.3×32.2	
田能村直入	花鳥図	明治35 (1902)	紙本着色・一幅	137.3×27.0	
吉川霊華	賀茂競馬図	明治～ 大正時代	紙本着色・一幅	23.0×32.8	
伊東深水	角兵衛獅子図	昭和時代	絹本着色・一幅	27.6×53.4	

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	備考
田崎草雲	東天鵝鳴図	明治17 (1884)	絹本着色・一幅	136.4×53.6	
奥原晴湖	秀石千竿図	明治26 (1893)	絹本着色・一幅	118.9×42.1	
山川秀峰	美人図	昭和時代	紙本着色・一幅	124.8×31.0	
大岩オスカー	ポストモダン建築 (ブラックマーケット)	2005	油彩・カンヴァス	227.0×222.0	
狩野興以	山水図	江戸時代	紙本墨画・一幅	101.7×36.0	
狩野養信	昇龍図	江戸時代	紙本墨画・一幅	81.0×25.5	
白髪一雄	作品	1962	油彩・カンヴァス	72.8×91.0	
大沢雅休	壹行参昧	昭和時代	紙本墨書・軸装	32.8×32.3	
奈良美智	Cool or Suck (「Drawings for THE STAR CLUB」より)	1998	色鉛筆・紙	29.7×21.1	
町田久美	話術	2005	青墨、顔料、岩絵具・雲肌和紙	72.7×90.9	
名和晃平	Direction #152	2015	ペンキ・カンヴァス	180×360×7.5	
鶴岡政男	獲物	1948	油彩・カンヴァス	65.2×80.3	
榎倉康二	干渉 (STORY- No.45)	1992	アクリル塗料、アクリル絵具、木材・綿布	197.0×290.9	
片山真理	shell	2016	ラムダプリント、オリジナルフレーム	132.7×132.7	
	beast	2016	ラムダプリント、オリジナルフレーム	132.7×132.7	
元永定正	(題不詳)	1961	油彩・カンヴァス	117×90.5	
堂本尚郎	連続の溶解	1964	油彩・カンヴァス	91×73	
オノサト・トシノブ	二つのべた丸	1956	油彩・カンヴァス	24.3×33.3	
新井洞巖	春景図	1944	紙本墨画淡彩・軸	48.3×54.2	
湯浅一郎	ベラスケス作「メニッポス」模写	1906-07	油彩・カンヴァス	174.7×90.0	
	ベラスケス作「イソップ」模写	1906-07	油彩・カンヴァス	177.5×90.0	
	ベラスケス作「織女たち」模写	1906-07	油彩・カンヴァス	221.5×289.5	
加藤 泉	Untitled	2017	木、ソフトヴィニル、アクリル絵具	128×24×32	
山口 薫	ベニス風景		油彩・カンヴァス		
	青葉の笛	1967	鉛筆・紙		
	しばられたあいつ	1963	鉛筆、水彩・紙		
	雪にすわるクマ		鉛筆・紙		
	奥日光丸沼の白根火山弾		油彩・カンヴァス		
	青葉の笛	1967	油彩・カンヴァス		
	アネモネ	1945-46	油彩・カンヴァス		
	クマ「冬枯の野にゆかむ クマと共に」		鉛筆・紙		
オノデラユキ	Transvest-Judie	2005	ゼラチンシルバークラフト・バライタ紙	195×128	
村上 早	息もできない	2015	リフトグラウンドエッチング、アクアチント・ 雁皮紙、紙	89×97	
	まわる	2015	リフトグラウンドエッチング、アクアチント・ 雁皮紙、紙	123×155	
	かくす	2016	リフトグラウンドエッチング、アクアチント、 スピットバイト、エッチング・雁皮紙、紙	118×150	
	ふうせん 2	2018	リフトグラウンドエッチング、アクアチント、 スピットバイト・雁皮紙、紙	118×150	
	どく	2018	リフトグラウンドエッチング、アクアチント、 スピットバイト・雁皮紙、紙	118×150	

※備考欄に新規と記したものの以外はすべて継続。

5 令和5年度 作品貸出状況

*印を付けた作品は寄託作品

作者名	作品名	貸出先	展覧会名	会場・会期
シャルル・メリヨン オディロン・ルドン オスカー・ココシュカ ロベルト・マッタ ジョアン・ミロ ドロテア・タニング カミーユ・ブリアン 福沢一郎 鶴岡政男 岡本太郎 今井俊満 サム・フランシス 大岩オスカル 鴻池朋子	時計塔 ノートル=ダムの揚水機 吸血鬼 海軍省 『陪審員』(7点組、書籍) 『聖アントワースの誘惑』第1集(10点組) 『夢みる少年たち』(8点組) 拷問* 解放された右腕* 解放された右腕* 解放された右腕* ホメロスⅠ(カオスモス)* ホメロスⅠ(カオスモス)* ホメロスⅢ(エルゴノート)* ホメロスⅣ(ボワン・ダビュイ)* 『ユビュ王』(13点組) 『マルセル・デュシャンへのオマージュ』より 『マルセル・デュシャンへのオマージュ』より 怖るべき子供 科学美を盲目にする 朝のみづうみ(磐梯山風景)* 鳥と人* 晩秋 インディゴ・ウッド 無題(『ミシェル・ヴァルドベルグ:空の詩』より) シャドウキャットとライトラビットの出会い* あたらしいほね* 『ミノール』復刻版	群馬県立館林美術館	夢と自然の探求者たち —19世紀幻想版画、シュルレアリスム、現代日本の作家まで	群馬県立館林美術館 令和5年4月22日～6月25日
中村節也	裸婦と鳥かご 裸婦 花卉水庭 雷 アブシンベル はがき4点	太田市美術館・図書館	中村節也展—リングは 卓上に、魚は水中に、 家は地上に	太田市美術館・図書館 7月1日～9月10日
野又 穫	Perspective-22* Points of View-12*	東京オペラシティ アートギャラリー	野又 穫 Continuum 想像の語彙	東京オペラシティアートギャラ リー 7月6日～9月24日
雪村周継	葛花、竹に蟹図	サントリー美術館	虫めぐる日本の人々	サントリー美術館 7月22日～9月18日
横堀角次郎 南城一夫 岡鹿之助	静物 川べり 鯛の静物 段丘*	東京ステーションギ ャラリー、栃木県立 美術館、長野県立美 術館、碧南市藤井達 吉現代美術館	春陽会誕生100年 それ ぞれの闘い 岸田劉生、 中川一政から岡鹿之助 へ	東京ステーションギャラリー 9月16日～11月12日 栃木県立美術館 令和6年1月13日～3月3日 長野県立美術館 3月16日～5月12日 碧南市藤井達吉現代美術館 5月25日～7月7日
マリー・ローランサン	ブルドッグを抱いた女	福井県立美術館	パリに行きたい! ～ Bonjour !モネ、ミュ シャ、シニャック、ユト リロ、フジタ!～	福井県立美術館 9月15日～10月15日
谷 文晁	隅田川兩岸図	栃木県立美術館	文晁と北斎—このふた り、ただものにあらず	栃木県立美術館 10月21日～12月24日
李 禹煥	風景Ⅰ* 風景Ⅲ*	ハンブルガー・バーンホフ	李禹煥展	ハンブルガー・バーンホフ 10月27日～令和6年4月28日
マリー・ローランサン 藤田嗣治	ブルドッグを抱いた女 人形を抱く少女	アーティゾン美術館	マリー・ローランサン —時代をうつす眼	アーティゾン美術館 12月9日～令和6年3月3日
福沢一郎 鶴岡政男	他人の恋 鼻の会談	京都府京都文化博物 館、板橋区立美術館、 三重県立美術館	『シュルレアリスム宣言』 100年 シュルレアリスム と日本	京都府京都文化博物館 12月16日～令和6年2月4日 板橋区立美術館 3月2日～4月14日 三重県立美術館 4月27日～6月30日
小林正和 小林尚美	Hanaoto-P3'91 Ito-wa-Ito	京都国立近代美術館、 岡山県立美術館	小林正和とその時代 —ファイバー・アート、 その向こうへ	京都国立近代美術館 1月6日～3月10日 岡山県立美術館 4月19日～5月26日

作者名	作品名	貸出先	展覧会名	会場・会期
魏嘸 上田 薫	ミスター&ミセス・レインボー XX なま玉子	高崎市美術館	視覚の冒険者たち 越境する絵画—その瞬間を見逃すな—	高崎市美術館 1月27日 - 3月17日
クロード・モネ	睡蓮*	大阪中之島美術館	モネ 連作の情景	大阪中之島美術館 2月10日 - 5月6日

6 保存・修復

(1) 令和5年度 修復作品等

No	作者名	作品名	技法・材質	種別	処置内容	処置者	期間
1	岡 鹿之助	観測所	リトグラフ・紙	版画	乾式洗浄、湿式洗浄、しみ抜き	(有)修復研究所 二十一	令和5年7月26日～ 令和6年3月29日
2	司 修	魔術の手帖	油彩、アクリル、水彩、 エッチング・紙、カンヴァ ァス、パネル	絵画、 版画	浮き上がり接着・ 固着強化、変形修 正、乾式洗浄	(有)修復研究所 二十一	令和5年7月26日～ 令和6年3月29日
3		草虫図	絹本着色・軸装	絵画	すべての裏打紙除 去、絵具剥落止め、 クリーニング、肌裏 紙除去、新肌裏打、 折れ伏	(株)墨仁堂	令和5年5月13日～ 令和6年3月26日

(2) 令和5年度 額装作品等

No	作者名	作品名	技法・材質	種別	処置内容	処置者	期間
1	ジャック・カロ	座る二人の人物	エッチング・紙	版画	マット装	(有)トップアート 鎌倉	令和6年3月12日
2	ジャック・カロ	ピストルの戦い	エッチング・紙	版画			
3	ジャック・カロ	剣の戦い	エッチング・紙	版画			
4	ジャック・カロ	戦闘	エッチング・紙	版画			
5	ジャック・カロ	車裂きの刑	エッチング・紙	版画			
6	藤牧義夫	小品A	木版・紙	版画			
7	藤牧義夫	小品D	木版・紙	版画			
8	藤牧義夫	水辺	エッチング・紙	版画			

図書資料その他

令和5年度 収蔵図書

区 分	購 入	寄 贈	計
一 般 図 書	23	92	115
定 期 刊 行 物	81	57	138
展 覧 会 カ タ ロ グ	10	563	573
年 報 ・ 蔵 書 目 録	0	145	145
調 査 研 究 報 告	0	214	214
そ の 他	0	71	71
計	114	1,142	1,256

職員名簿

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

特別館長(特別職)	岡部 昌幸
館長	石川 学
次長	吉山 幸子
次長(学芸係長)(学芸員)	神尾 玲子
総務係長	福島 義明
主幹(係長)	諸田 寿子
主任	山田 慎也
主任(学芸員)	中田 宏明
主幹専門員	武井 俊彦
電気機械設備管理員	櫻井 保
〃	中澤 弘
〃	小此木 由行
総務事務補助員	佐藤 美香
教育普及係長(学芸員)	田中 龍也
主事(学芸員)	中沢 桃子
主幹専門員	松下 由里
副主幹専門員	原澤 和彦
教育普及員	徳江 庸行
〃	山口 伊豆子
〃	鈴木 朋子
〃	見城 久美子
〃	黒田 隆之
〃	櫻井 一美
〃	清水 洋子 (～R5.6.30)
〃	神宮 由美子 (R5.7.1～)
主幹(学芸員)	佐藤 聖子
主任(学芸員)	太田 佳鈴
資料整理員	櫻井 萌 (～R5.9.30)
	岩村 桃実 (R6.1.1～)

群馬県立近代美術館年報 令和5年度

編集・発行 群馬県立近代美術館
〒370-1293
群馬県高崎市綿貫町992-1
TEL 027(346)5560
印刷 上毎印刷工業株式会社
発行日 令和7年3月12日